

南江堂

看護学テキスト2026

看護学テキスト



NiCEシリーズ



- 看護学原論 改訂第3版 [p.04]
- 基礎看護技術 改訂第3版 [p.05]
- ヘルスアセスメント 改訂第2版 [p.06]
- 看護倫理 改訂第3版 [p.07]
- 看護理論 改訂第3版 [p.08]
- 地域・在宅看護論 I 総論 改訂第3版 [p.09]
- 地域・在宅看護論 II 支援論 改訂第3版 [p.10]
- 成人看護学 成人看護学概論 改訂第5版 [p.11]
- 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護 改訂第4版 [p.12]
- 成人看護学 急性期看護 II クリティカルケア 改訂第4版 [p.13]
- 成人看護学 慢性期看護 改訂第4版 [p.14]
- 成人看護学 成人看護技術 改訂第3版 [p.15]
- リハビリテーション看護 改訂第3版 [p.16]
- エンドオブライフケア [p.17]
- がん看護 改訂第2版 [p.18]
- 緩和ケア 改訂第3版 [p.19]
- 老年看護学概論 改訂第4版 [p.20]
- 老年看護学技術 改訂第4版 [p.21]
- 新刊 ■ 小児看護学 I 小児看護学概論 改訂第5版 [p.22]
- 新刊 ■ 小児看護学 II 小児看護支援論 改訂第5版 [p.23]
- 新刊 ■ 小児看護学 III 小児看護技術 改訂第5版 [p.24]
- 新刊 ■ 母性看護学 I 概論・ライフサイクル 改訂第4版 [p.25]
- 新刊 ■ 母性看護学 II マタニティサイクル 改訂第4版 [p.26]

- 精神看護学 I こころの健康と地域包括ケア 改訂第3版 [p.27]
- 精神看護学 II 地域・臨床で活かすケア 改訂第3版 [p.28]
- 災害看護 改訂第4版 [p.29]
- 新刊 ■ 国際看護 改訂第2版 [p.30]
- 新刊 ■ 新版 看護管理学 [p.31]
- 医療安全 改訂第2版 [p.32]
- 感染看護学 [p.33]
- 家族看護学 改訂第3版 [p.34]
- 看護教育学 改訂第3版 [p.35]
- 新刊 ■ 看護関係法規 改訂第3版 [p.36]
- 看護と研究 根拠に基づいた実践 [p.37]

病態・治療論シリーズ [p.39]

- | | |
|-------------|--|
| 【1】病態・治療総論 | 【8】脳・神経疾患 新刊 |
| 【2】呼吸器疾患 | 【9】運動器疾患 |
| 【3】循環器疾患 | 【10】感染症/アレルギー/膠原病 新刊 |
| 【4】消化器疾患 | 【11】皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯/口腔疾患 |
| 【5】内分泌・代謝疾患 | 【12】精神疾患 |
| 【6】血液・造血器疾患 | 【13】産科婦人科疾患 |
| 【7】腎・泌尿器疾患 | 【14】小児疾患 |

- 生化学 [p.40]
- 新刊 ■ 薬理学 改訂第2版 [p.41]
- 病理学 [p.42]
- 微生物学・感染症学 [p.43]

看護過程シリーズ

- 根拠がわかる疾患別看護過程 [p.44]
- 根拠がわかる症状別看護過程 [p.44]
- 根拠がわかる母性看護過程, 母性看護技術 [p.45]
- 近刊 ■ 根拠がわかる小児看護過程 [p.46]

看護テキスト

- 新刊 ■ 基礎から学ぶ医療関連感染対策 [p.47]
- 基礎看護学テキスト [p.48]

教科書データサービスのご案内




このマークが対応教科書の目印です。

- ご採用教科書の図表データをダウンロードしてお使いいただけるサービスを行っております。詳細は本カタログ裏表紙をご覧ください。
- 本誌掲載テキストの目次、サンプルページは、www.nankodo.co.jpにてご覧いただけます。



電子版のご案内

- 教科書電子版の取扱いもございます。詳細につきましては弊社営業部までお問い合わせください。
( の記載がない銘柄は、電子版の取扱いがない場合もございます。)



専門知識を深く学ぶ

南江堂の 電子教科書 シリーズ



未来の医療を 担う学生に

携帯性・検索性に優れた電子教科書で
効果的な学習を促します



使いやすい
電子教科書

大好評の南江堂テキスト
シリーズが電子教科書と
してご覧いただけます。



複数のビューアに
対応

医書.jpをはじめとする
複数のビューアに対応。



お得なセット版を
ご用意

1銘柄からご採用いただ
ける他、お得なセット版
もご用意しました。



おかげさまでシリーズ発行から18年

シリーズ全52巻がラインナップ

NiCEシリーズはこれからも進化し続けます

看護学テキストシリーズとしては後発ながら、『看護倫理』『看護理論』『家族看護学』『看護教育学』といった従来のテキストシリーズにはない看護の基盤となるテキストをシリーズの基幹と位置づけ発行してきました。

経過別で学ぶ成人看護学シリーズでは『成人看護学急性期看護Ⅰ・Ⅱ』『成人看護学慢性期看護』『成人看護学成人看護技術』はこの分野をリードするまでに成長しました。

さらに近年、『エンドオブライフケア』『感染看護学』など新しい分野にも挑戦しています。

看護学テキストNiCEシリーズは、
高度化する医療や社会のニーズに応え、
これからの時代を切り拓く看護職の育成に
寄与することを目指した、
新しい看護学テキストシリーズです。

【NiCEコンセプト】

New
新しい

看護の視点を重視し、最新の考えを取り入れる

時代の先を見越し、新しい視点を取り入れ、最新の考えや看護を学ぶことができます。

Integrated
学びと実践の統合

学んだ知識を看護実践に結び付ける

学んだ知識がどのように看護実践につながるのかを学ぶことができるよう、事例と看護過程の例を提示します。

Creative
創造性のある

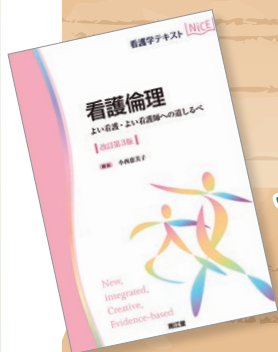
学びを深め創造性ある看護実践へ

各項目に掲載した学習課題や演習課題などを通して、学びの振り返りや思考を促すことで、より深い学びとなり、創造性の基盤が育まれます。

Evidence-based
根拠に基づいた

根拠に基づいた看護実践を

看護実践・看護技術を、応用可能な実践・技術として習得できるよう、根拠を重視して記載しています。



看護学原論

改訂第3版

看護の本質的理解と創造性を育むために



編集 高橋照子 愛知医科大学

B5判・258頁 2020.3. ISBN978-4-524-24992-3 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 必要要素をやさしくコンパクトにまとめた読みやすい看護入門テキスト

- ▶ 各章・各節の冒頭に、その章・節の学びの意図を示す導入文を新たに挿入しました。
- ▶ 経過別看護(健康の維持・増進期、急性期、慢性期、リハビリテーション期、終末期における看護)の考え方を学べるよう、「看護実践の展開」の節を設けました。
- ▶ 看護師国家試験出題基準平成30年版に対応しました。

本書の特長

- ✓ 看護入門テキストとして、「看護」「看護学」についての確かな基盤を培うことができます。
- ✓ 国際看護、災害看護、医療安全の項目も充実し、カリキュラムの「看護の統合と実践」の基本も学べます。
- ✓ 看護職に就いてからも、「看護とは何か」について見つけ直すときに有用な一冊となっています。

執筆

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 高橋 照子 愛知医科大学 | 白鳥さつき 一宮研伸大学 |
| 唐田 順子 山口県立大学 | 高谷 嘉枝 姫路大学 |
| 鈴木はるみ 前西武文理大学 | 小西恵美子 長野県看護大学名誉教授／鹿児島大学 |
| 菅野 夏子 姫路大学 | 友納 理緒 土肥法律事務所 |
| 小田 正枝 徳島文理大学名誉教授 | 伊勢田暁子 前日本看護協会 |
| 中山美由紀 大阪府立大学 | 野村 陽子 新見公立大学 |
| 高見 千恵 兵庫大学 | 香春 知永 武蔵野大学 |
| 藤井 可苗 関西福祉大学 | 黒澤 昌洋 愛知医科大学 |
| 渡邊美千代 前愛知医科大学 | 斉藤 早苗 梅花女子大学 |
| 倉田 節子 鈴鹿医療科学大学 | |
| 富岡 美佳 姫路大学 | |

主要目次

第1章 看護とは

1. 看護の本質
2. 看護の歴史
3. 変化している看護
4. 地域基盤の看護と看護の継続性

第2章 人間・家族・集団・地域の理解

1. 全体の人間
2. 生活者としての人間
3. 健康とウェルネス
4. 家族と看護
5. 集団・地域と健康
6. 災害と看護
7. 国際社会と健康

第3章 人間の心理・社会的理解

1. 自己と他者
2. ストレス、コーピング
3. セクシュアリティ
4. スピリチュアリティ

第4章 看護実践の基盤

1. 看護実践における技術
2. 医療安全
3. 看護実践と倫理
4. 看護と法
5. 看護と経済
6. 看護と政策

第5章 看護の展開

1. 看護実践とクリティカルシンキング
2. 看護過程
3. 看護実践の展開
4. 看護情報管理

第6章 チーム医療と看護

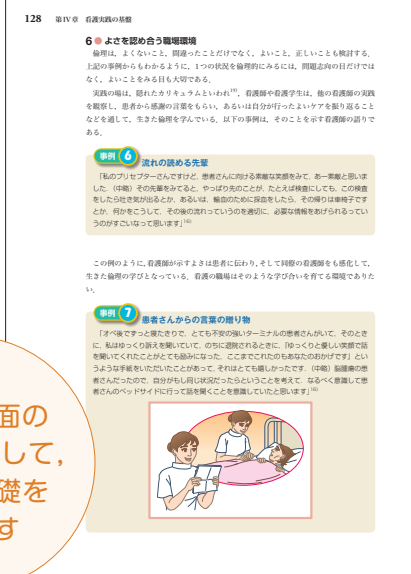
1. チーム医療とは
2. 保健・医療・福祉における看護
3. 多職種連携・協働と看護職の役割

第7章 看護の専門性の探求

1. 専門性への道程
2. 看護の専門職性
3. 専門領域の確立と展望

第8章 看護・看護学の展望

1. 看護における実践・研究・理論
2. 看護実践と研究
3. 看護実践と理論
4. 看護・看護学の展望と課題



身近な場面の『事例』を通して、看護の基礎を培います

先生のこえ

- ➡ 看護「学」の基本理念をしっかりおさえていて、学生がこれから歩むべきの道筋を示したよい「入門書」である。
- ➡ 初学者にもわかりやすく書かれているので、自習させレポートの課題としても活用している。

基礎看護技術

改訂第3版

看護過程のなかで技術を理解する



編集 香春知永 武蔵野大学 齋藤やよい 秀明大学

B5判・528頁 2018.3. ISBN978-4-524-25608-2 定価4,620円(本体4,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 技術の意義・根拠が豊富で看護実践能力向上をはかるテキスト

- ▶ Skill表の体裁を刷新。「根拠」や「注意」を一目で把握できるようになりました。
- ▶ 動画をDVDではなくQRコードから読み取る形式に変更。自己学習に活用しやすくなりました。

🔍 本書の特長

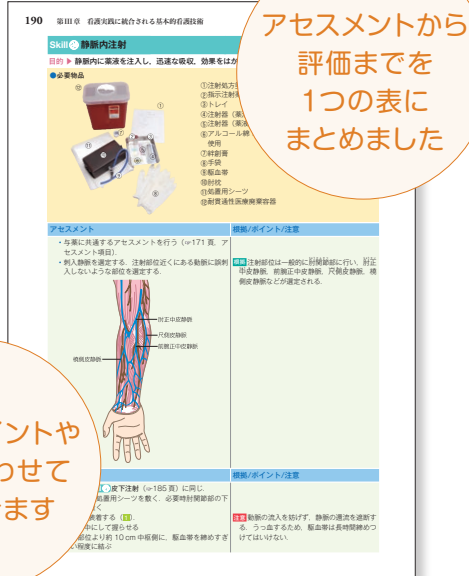
- ✓ 看護技術を単なる手順としてではなく、「看護」を実践する技術として理解できるように、アセスメントから診断、計画、実施、評価までの看護過程の展開のなかに位置づけて学習する構成としました。看護の受け手となる人々に応じた、個別の“生きた看護技術”を提供するための基盤を培うことができます。
- ✓ 具体的な事例と設問を通して、看護技術の理解を促し臨機応変な思考力(クリティカルシンキング)を培うことができます。

✍️ 執筆

香春 知永 武蔵野大学	角濱 春美 青森県立保健大学
林 智子 三重大学	縄 秀志 聖路加国際大学
松谷美和子 聖路加国際大学名誉教授	大河原知嘉子 東京医療保健大学
南川 雅子 帝京大学	齋藤やよい 秀明大学
佐藤 淑子 大阪府立大学	石田 陽子 山形大学
大久保暢子 聖路加国際大学	安ヶ平伸枝 前聖路加看護大学
菊池 和子 岩手県立大学名誉教授	安島 幹子 日本赤十字看護大学
野崎真奈美 順天堂大学	只浦 寛子 国際医療福祉大学
真砂 涼子 前群馬パース大学	徳永 恵子 前宮城大学
水戸 優子 神奈川県立保健福祉大学	野村 美香 神奈川県立保健福祉大学
塚越みどり 東海大学	射場 典子 聖路加国際大学

📖 主要目次

- 第Ⅰ章 看護技術とは
- 第Ⅱ章 看護ケアのプロセスにかかわる看護技術
 - 1. クリティカル・シンキング
 - 2. 看護過程
 - 3. 記録
 - 4. コミュニケーション
 - 5. 教育・相談
- 第Ⅲ章 看護実践に統合される基本的看護技術
 - 1. 安全
 - 2. 感染予防
 - 3. バイタルサイン
 - 4. ヘルスアセスメント
 - 5. 与薬にかかわる技術
 - 6. 治療・検査にかかわる技術
- 第Ⅳ章 基本的ニーズ充足に向けた看護技術
 - 1. 環境・衛生
 - 2. 活動・運動
 - 3. 清潔
 - 4. 呼吸
 - 5. 体温調節
 - 6. 睡眠
 - 7. 安楽
 - 8. 食事・栄養
 - 9. 体液バランス
 - 10. 排尿
 - 11. 排便
- 第Ⅴ章 特殊なニーズ充足に向けた看護技術
 - 1. 皮膚・粘膜の障害
 - 2. 生命の危機状態
 - 3. 悲嘆(グリーフ)



🔊 先生のおこえ

- ➡ サブタイトルの通り、看護過程の展開のなかで看護技術がどう位置づけられているかをおさえていて、より実践的な技術を学ぶことができるテキストである。
- ➡ 各技術にカラー写真やその根拠となる解説があり、基礎をしっかりと学習でき、看護実践能力の向上をはかりやすい構成になっている。

📺 動画収録技術 (収録時間約36分)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| Skill 01 手洗い | Skill 08 持続的導尿 |
| Skill 02 リネン交換 | Skill 09 グリセリン浣腸 |
| Skill 03 体位変換
(仰臥位から側臥位へ) | Skill 10 口腔内吸引 |
| Skill 04 注射 | Skill 11 車椅子移乗 |
| Skill 05 点滴静脈内注射 | Skill 12 口腔ケア
(意識障害のある患者) |
| Skill 06 採血 | Skill 13 包帯法 |
| Skill 07 排泄介助(便器の当て方) | |

ヘルスアセスメント

改訂第2版

臨床実践能力を高める



編集 三上れつ 慶應義塾大学名誉教授 小松万喜子 中部大学
B5判・270頁 2017.10. ISBN978-4-524-25748-5 定価3,960円(本体3,600円+税10%)

！ 改訂のポイント

ヘルスアセスメントの基本を、豊富な図表や動画を通して解説したテキスト

- ▶ 心理社会的側面のアセスメントをより充実させ、考え方の背景にある理論についても初学者にわかりやすいように整理しました。
- ▶ 前版ではDVDに収録していた動画を、紙面に掲載したQRコードを読み取りWebで再生するかたちに変更。アセスメントの重要ポイントを明確に記載し、動画を閲覧しながらさらに理解を深める内容としました。

本書の特長

- ✓ 人体の構造と機能の基礎知識やフィジカルアセスメントの技術の確かな理解を図るために、人体構造のイラストや診査時の写真を数多く掲載しました。
- ✓ フィジカルアセスメント熟達者による実演動画を付録。本文と動画を併用して、身体診査技法が確実に身につきます。
- ✓ フィジカルアセスメントだけでなく心理社会的側面からのアセスメントについても解説。対象を全人的にとらえ、看護過程をふまえたアセスメントを身につけられるように構成しました。

執筆

三上 れつ 慶應義塾大学名誉教授
 小松万喜子 中部大学
 熊谷たまき 国際医療福祉大学
 片岡 純 愛知県立大学
 山口 直己 豊橋創造大学
 曾田 陽子 愛知県立大学
 早瀬 良 中部大学
 福井 里佳 慶應義塾大学
 服部 淳子 愛知県立大学
 千村智香子 前千葉県立保健医療大学

広瀬 会里 愛知県立大学
 籠 玲子 愛知県立大学
 高植 幸子 椋山女子大学
 佐藤 美紀 愛知県立大学
 石田 陽子 山形大学
 土井 由美 慶應義塾大学病院
 高田 幸江 武蔵野大学

◎動画実演
 山口 貴子 人間環境大学

主要目次

第1章 ヘルスアセスメントの概要

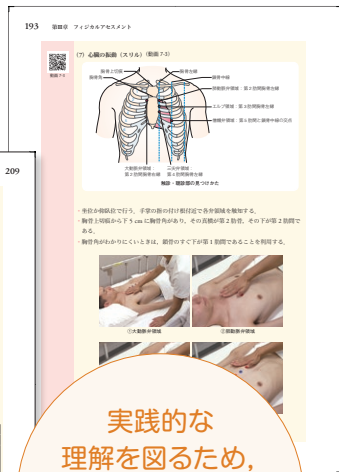
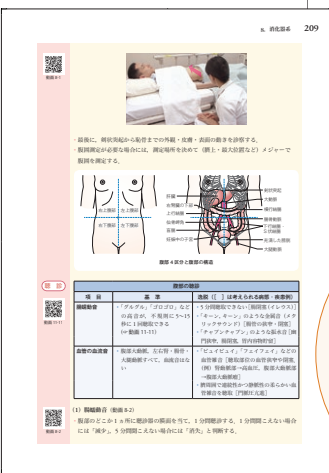
1. 看護過程とヘルスアセスメント
2. ヘルスアセスメントの基本技術
3. アセスメントの具体的な進め方

第2章 対象を理解するための系統的アセスメント ——ゴードンの機能的健康パターンに沿って

1. 身体的側面のアセスメント
2. 心理社会的側面のアセスメント
3. 背景となる理論
 - 3-1. 健康信念モデル, 計画的行動理論
 - 3-2. 病みの軌跡
 - 3-3. 自己効力感
 - 3-4. 自己概念
 - 3-5. 自尊感情(自尊心)
 - 3-6. 役割理論
 - 3-7. 発達理論
 - 3-8. 家族看護学で用いられる諸理論
 - 3-9. 悲嘆過程
 - 3-10. ストレス・コーピング理論, 危機理論
 - 3-11. レジリエンス
4. 対象を理解するための系統的アセスメント——事例

第3章 フィジカルアセスメント

1. フィジカルアセスメント総論
2. 外皮系
3. 特殊感覚(眼, 耳, 鼻, 舌)
4. 筋・骨格系
5. 神経系
6. 呼吸器系
7. 循環器系
8. 消化器系
9. 腎・泌尿器系, 男性生殖器
10. 女性生殖器
11. 乳房



実践的な理解を図るため、人体構造のイラストや診査時の写真を数多く掲載

先生のこえ

- ➡ 動画がわかりやすい! 学生が自分で繰り返し学習できるように工夫されている。
- ➡ 写真やイラストに診査技術の留意点が添えられており、学生の自己学習へも配慮されている。

動画収録内容 (動画数69, 収録時間約44分)

1. フィジカルアセスメント総論
2. 外皮系
3. 特殊感覚
4. 筋・骨格系
5. 神経系
6. 呼吸器系
7. 循環器系
8. 消化器系
9. 腎・泌尿器系
10. 乳房
11. 聴診音

看護倫理

よい看護・よい看護師への道しるべ

改訂第3版



編集 小西恵美子 鹿児島大学

B5判・292頁 2021.1. ISBN978-4-524-22508-8 定価2,530円(本体2,300円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護倫理を身近な事例から読み解く好評テキスト

- ▶ 「ケアの倫理」「尊厳」「道徳的感受性」「共感」など、近年、注目が高まっている概念について項目を新設しました。
- ▶ 社会的要配慮者（認知症、難病、貧困等）、性と生殖、身体拘束、ハラスメントなどの問題を取り上げ、社会の変化を反映しました。
- ▶ 「4ステップ事例検討シート」にケアの倫理の視点を取り入れ、リニューアルしました。

本書の特長

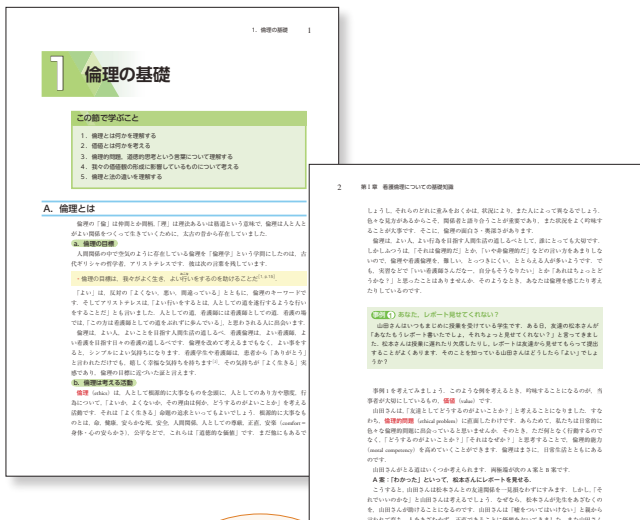
- ✓ 学生にとって一見難解な倫理問題を学習しやすいように、日常生活で感じる「よい」「わるい」の価値判断を手がかりに、事例を多用し、倫理の学びを進めます。
- ✓ 「和」「礼」「徳」など、日頃の看護で意識しない伝統的な価値観についても解説。
- ✓ 看護師が直面する倫理的問題を分析し意思決定をしていく過程を助ける「4ステップモデル」を提案。「4ステップ事例検討シート」を道案内に考えていきます。

執筆

- | | |
|---|---------------------|
| 小西恵美子 鹿児島大学 | 高橋 梢子 鳥取県立大学 |
| 八尋 道子 佐久大学 | 麻原きよみ 大分県立看護科学大学 |
| 彭 美慈 元香港理工大学 | 山下 早苗 静岡県立大学 |
| 蔡 小瑛 園田学園大学 | 大西香代子 名古屋市立大学 |
| 中村 充浩 東京有明医療大学 | 小笹 由香 東京科学大学 |
| 太田 勝正 東都大学 | 杉浦 絹子 西南女学院大学 |
| 石本 傳江 元聖カトリナ大学 | 河原 宣子 京都橋大学 |
| 鈴木真理子 長野保健医療大学 | 船山 健二 新潟県立看護大学 |
| 山本八千代 安田女子大学 | 勝原裕美子 オフィスKATSUHARA |
| 平野 亙 元大分県立看護科学大学 | 阿部 洋子 元水戸赤十字病院 |
| 小野 美喜 大分県立看護科学大学 | |
| 前田 樹海 東京有明医療大学 | |
| Anne J.Davis カリフォルニア大学サンフランシスコ校名誉教授／長野県看護大学名誉教授 | |

主要目次

- 第1章 看護倫理についての基礎知識
 - 1. 倫理の基礎
 - 2. 看護倫理の基礎
 - 3. 看護倫理の歴史的推移
- 第2章 看護倫理のアプローチ
 - 1. 徳の倫理
 - 2. 原則の倫理
 - 3. ケアの倫理
- 第3章 看護倫理に関する重要な言葉
 - 1. 和
 - 2. 共同体、家、親孝行、礼、面子、和-東アジアの文化と倫理
 - 3. コンパッション-思いやりの心
 - 4. 共感
 - 5. 道徳的感受性と道徳的レジリエンス
 - 6. 専門職
 - 7. 対象者を中心とした看護
 - 8. 患者の尊厳
 - 9. 看護アドボカシー
 - 10. 協力と協働
 - 11. パターナリズム
 - 12. 個人の権利
 - 13. 看護職の責任-倫理的責任と法的責任
 - 14. インフォームド・コンセント
 - 15. 情報プライバシーと守秘義務
 - 16. 災害におけるトリアージ
- 第4章 倫理的意思決定のステップと事例検討
- 第5章 ささまざまな看護活動と倫理
 - 1. 人生の最後を生きる人々への看護と倫理
 - 2. 地域看護と倫理
 - 3. 小児看護と倫理
 - 4. 精神科看護と倫理
 - 5. 性と生殖をめぐる看護と倫理
 - 6. 遺伝看護と倫理
 - 7. 異文化間の看護と倫理
 - A. 文化と倫理:
 - B. 在日外国人の看護と倫理
 - C. 途上国における看護支援と倫理
 - D. 文化背景の異なる看護師との協働
- 第6章 社会的要配慮者の看護と倫理
 - 1. 認知症
 - 2. 難病-筋萎縮性側索硬化症(ALS)を中心に
 - 3. 貧困
 - 4. 家庭内で起こる虐待
 - 5. 受刑者
 - 6. 障害者
- 第7章 その他の看護活動と倫理
 - 1. 看護管理者の役割と倫理
 - 2. 看護部倫理委員会
- 第8章 看護研究における倫理



身近な場面設定が多く、学生にとって難解な倫理の学習がはかどります

看護理論

改訂第3版



看護理論21の理解と実践への応用

編集 筒井真優美 日本赤十字看護大学名誉教授

B5判・306頁 2019.7. ISBN978-4-524-24948-0 定価2,530円(本体2,300円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護実践の支えとなる代表的な21の理論を読み解くテキスト

- ▶ 初学者へ配慮してないいな記述を徹底し、情報もアップデートしました。
- ▶ 新たにキャサリン・コルカバ(コンフォート理論)を追加しました。

本書の特長

- ✓ 第一線で活躍している研究者が最新の知見をもとに代表的な21の理論を解説。看護実践の支えとなる理論を、具体場面を織り交ぜながら読み解くことで、臨床現場での応用に結びつける思考力を培うことができます。
- ✓ 「看護」から「看護科学」に至るまでの歴史がつながりをもって発展してきたことを理解できるように構成しました。

執筆

筒井真優美	日本赤十字看護大学名誉教授	岡谷 恵子	NPO法人日本横心療護ケアマネジメント協会
川原由佳里	日本赤十字看護大学	草柳 浩子	上智大学
川嶋みどり	日本赤十字看護大学名誉教授	坂口 千鶴	リサーチ・オフィスわほう/ 日本赤十字看護大学名誉教授
守田美奈子	日本赤十字看護大学	江本 愛子	元三育学院短期大学
池田 明子	北里大学名誉教授	江本 リナ	日本赤十字看護大学
宇佐美しおり	訪問看護ステーションlight /セルブケア実践教育研究所	鈴木真知子	京都大学名誉教授
田中 真琴	東京医科歯科大学	山口 未久	京都府立医科大学
数間 恵子	元東京大学	高橋 照子	愛知医科大学
兼松百合子	岩手県立大学名誉教授	小西恵美子	長野県看護大学名誉教授
宮脇美保子	慶應義塾大学名誉教授	佐藤 紀子	東京慈恵会医科大学
矢野 正子	聖マリア学院大学名誉学長	川名 るり	神奈川県立保健福祉大学
舟島なをみ	清泉女学院大学	西田 志穂	共立女子大学

主要目次

第1章 総論

1. 看護とは
2. 看護理論とは
3. 看護理論を実践にいかす
4. 看護理論の歴史と動向

第2章 各論：看護理論21の理解と実践への応用

1. フロレンス・ナイチンゲール
2. ヴァージニア A.ヘンダーソン
3. アーネステイン・ウィーデンバック
4. ヒルデガード E.ペプロウ
5. マーサ E.ロジャーズ
6. ドロセア E.オレム
7. ドロシー E.ジョンソン
8. マイラ E.レヴァイン
9. フェイ G.アブデラ
10. アイモジン M.キング
11. アイダ J.オーランド
12. ジョイス・トラベルビー
13. マドレーヌ M.レイニンガー
14. マーガレット・ニューマン
15. シスター・カリスト・ロイ
16. マール H.ミッシェル
17. ローズマリー・リゾ・パースィ
18. ジーン・ワトソン
19. ノラ J.ベンダー
20. パトリシア・ベナー
21. キャサリン・コルカバ

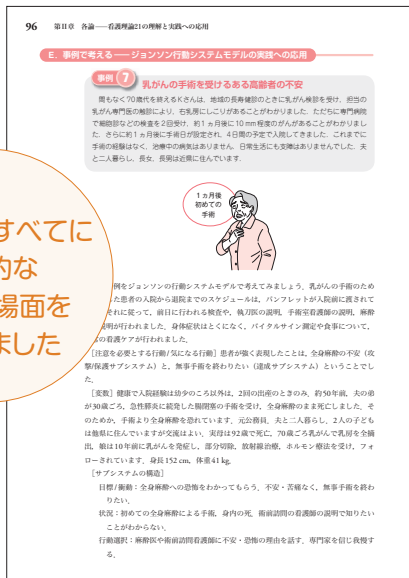
注：上記1～21は以下の項目で構成

A. 理論家の紹介	D. 理論のクリティーク
B. 理論の源泉	E. 事例で考える
C. 理論の概要	

付録

本書における看護理論家一覧／看護の歴史

21の理論すべてに
具体的な
『事例』場面を
設定しました



先生のこえ

- ➡ それぞれの理論にある『E. 事例で考える』は具体的なかつ日常的な場面設定が多く、学生の主体的な思考活動を促す工夫がされている。
- ➡ 看護に携わる者として、どのように社会の要請や看護の課題に応じていくか。その基礎となる考えを身につけるために、学生に読んでほしい一冊である。

地域・在宅看護論 I 総論

改訂第3版



地域における暮らしと健康の理解を深める

編集 石垣和子 石川県立看護大学名誉教授
上野まり 日本在宅ケア教育研究センター

徳田真由美 公立小松大学
辻村真由子 滋賀医科大学

B5判・340頁
2024.1. ISBN978-4-524-23127-0
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

改訂のポイント 地域・在宅看護の実践の土台となる知識を網羅的に学べるテキスト

- ▶ 新カリキュラムの「地域・在宅看護論」に対応し、前版『NiCE在宅看護論 改訂第2版』から全面リニューアル。
- ▶ 地域で生活する人々の理解や、地域包括ケアシステムの下で多様化する療養の場における看護の理解をめざし、基盤となる考え方や仕組みを学ぶ『NiCE地域・在宅看護論 I』と、在宅での看護の実践を学ぶ『同 II』の2分冊としました。

本書の特長

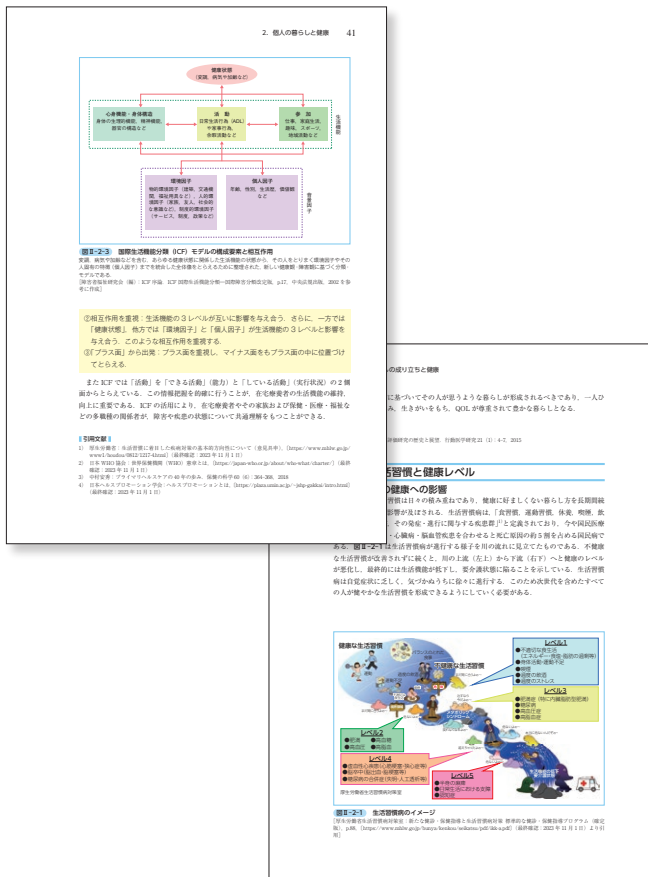
- ✓ 療養者の自分らしい生活の継続を支える看護をめざし、地域・在宅看護が必要とされる社会的背景やシステム、実践の場において求められる看護師の姿勢や考え方を初学者向けに解説しています。
- ✓ 療養の場の移行支援や、地域での療養を支えるうえで重要となる家族の理解、地域・在宅での看取りなどの解説も充実。
- ✓ 在宅看護に必要なリスクマネジメントとして、事故防止、情報管理、感染対策、災害への備え・対応等をまとめました。

執筆

上野 まり 日本在宅ケア教育研究センター
石垣 和子 石川県立看護大学名誉教授
小林 宏光 石川県立看護大学
米澤 洋美 石川県立看護大学
金子 紀子 金沢医科大学
山崎 智可 富山県立大学
阿川 啓子 島根県立大学
菱田 一恵 順天堂大学
藤田 淳子 国立看護大学校
室野奈緒子 石川県立看護大学
千原 裕香 石川県立看護大学
桜井志保美 石川県立看護大学
辻村真由子 滋賀医科大学
徳田真由美 公立小松大学
山崎 潤子 緑が丘訪問看護ステーション
池崎 澄江 千葉大学
飯田真貴子 千葉大学
伊藤 隆子 順天堂大学
津田 知子 滋賀医科大学
岡田 忍 千葉大学

主要目次

- 序章 地域・在宅看護とは
- 第1部 地域で暮らす人々の理解と支援
- 第1章 人々の営みの移り変わりや医療・看護の現在
- 1 自然界におけるヒトという存在
 - 2 暮らしの知恵と専門職の誕生
 - 3 在宅医療・在宅看護・地域保健活動の発展
- 第2章 人々の暮らしの成り立ちと健康
- 1 人々の暮らしをとりまく社会
 - 2 個人の暮らしと健康
 - 3 社会集団が暮らしに与える影響
 - 4 地域の環境が暮らしに与える影響
 - 5 社会経済が暮らしに与える影響
- 第3章 地域の暮らしを支える保健・医療・福祉と専門職
- 1 日本の保健・医療・福祉制度の変遷
 - 2 日本の保健・医療・福祉制度の現状
 - 3 地域包括ケアシステムと地域包括支援センター
 - 4 在宅医療
 - 5 保健・医療・福祉の専門職
- 第4章 生命(いのち)と暮らしを地域で見守る看護
- 1 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割
 - 2 地域共生社会における看護職の役割
- 第2部 生活の場における看護の基盤となる知識
- 第5章 日本の訪問看護の現状と諸外国の在宅看護
- 1 訪問看護制度のしくみ
 - 2 訪問看護を提供する施設や利用者の状況
 - 3 訪問看護ステーションの運営と管理
 - 4 居宅等における医行為の特徴と課題
 - 5 諸外国の在宅医療・訪問看護制度
- 第6章 在宅看護の姿勢・考え方
- 1 在宅という場の特徴
 - 2 対象者との支援関係の構築
 - 3 病状・病態変化の予測と予防
 - 4 自立支援(セルフケア)
 - 5 活動・参加の促進
 - 6 人々の尊厳と権利の擁護
 - 7 意思決定の支援
 - 8 多職種連携・協働
- 第7章 地域・在宅看護における家族の理解と支援
- 1 家族の概念・家族規範
 - 2 家族を理解する
 - 3 家族への支援
- 第8章 療養の場の移行支援
- 1 療養の場の移行とその支援
 - 2 入退院支援
- 第9章 地域・在宅でのエンドオブライフケアと看取り
- 1 さまざまな死生観と死の迎え方
 - 2 人生の最終段階にある人々へのケア
 - 3 地域・在宅における看取り
- 第10章 在宅看護におけるリスクマネジメント
- 1 リスクマネジメント
 - 2 情報管理
 - 3 感染対策
 - 4 地域・在宅における災害対策と備え



成人看護学 急性期看護Ⅰ

改訂第4版

概論・周手術期看護



編集 林 直子 聖路加国際大学 佐藤まゆみ 順天堂大学
B5判・468頁 2023.3. ISBN978-4-524-23231-4 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 周手術期看護を事例から学べる実践的テキスト

- ▶ 第1部 急性期看護概論に「急性期看護における臨床判断」の項を追加しました。
- ▶ 第IV章「手術後期の看護」に「栄養状態のアセスメントと看護」を追加しました。
- ▶ 第VI章として「内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護」を新設しました。

本書の特長

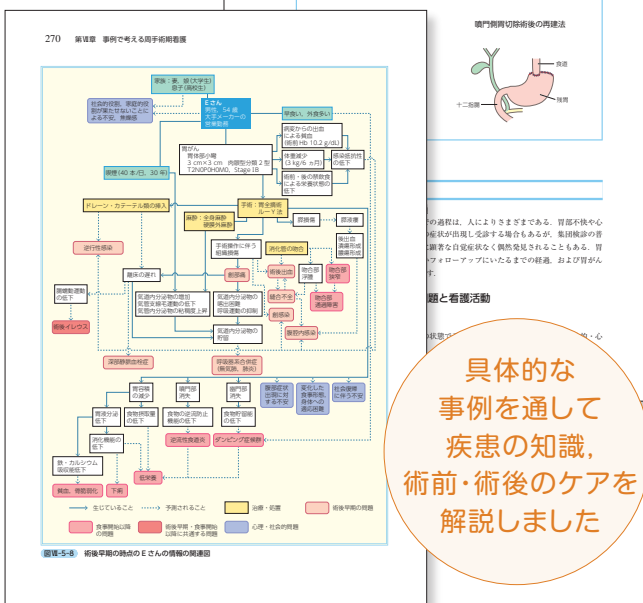
- ✓ 「急性期看護概論」では、患者の身体的・心理的反応を、初学者にも配慮してわかりやすく解説しました。
- ✓ 「周手術期看護」では、周手術期看護を具体的な13の事例により解説。具体的な事例をもとに、患者の個性を考慮した看護を実践する視点を養います。

執筆

林 直子	聖路加国際大学	高井今日子	町田市民病院
田中 裕二	令和健康科学大学	山田 緑	共立女子大学
水野 道代	筑波大学	樺澤三奈子	新潟県立看護大学
佐藤 正美	東京慈恵会医科大学	神津 三佳	前千葉大学医学部附属病院
奥 裕美	聖路加国際大学	網島ひづる	兵庫医科大学名誉教授
佐藤まゆみ	順天堂大学	小元まき子	順天堂大学
後藤 紀久	岐阜大学医学部附属病院	井関 千裕	大阪暁明館病院
手島 朋子	前岐阜大学医学部附属病院	奥 朋子	合同会社ウェルネスアトリウム
藤野 秀美	東邦大学	松本 文奈	武蔵野大学
佐藤 理佳	聖路加国際大学	塩原由美子	前千葉県立保健医療大学
牧野 晃子	聖路加国際大学	谷 宏子	千葉県がんセンター
田口智恵美	千葉県立保健医療大学	高田 幸江	駒沢女子大学
渡邊亜津子	岡山大学病院		

主要目次

- 第1部 急性期看護概論**
- 急性期看護とは
 - 急性の状態にある患者の身体的・心理的反応
 - 急性の状態にある患者と家族に対する看護
- 第2部 周手術期看護**
- 第1章 周手術期看護とは**
- 周手術期にある患者の特徴
 - 周手術期にある患者の家族の特徴
 - 周手術期看護とは
- 第2章 手術前期の看護**
- 手術前期の看護とは
 - 手術前期の看護の実際
- 第3章 手術期の看護**
- 手術期の看護とは
 - 手術期の看護の実際
- 第4章 手術後期の看護**
- 手術後期の看護とは
 - 意識レベルのアセスメントと看護
 - 呼吸状態のアセスメントと看護
 - 循環動態のアセスメントと看護
 - 疼痛のアセスメントと看護
 - 術後感染のアセスメントと看護
 - 栄養状態のアセスメントと看護
 - 消化管機能のアセスメントと看護
 - 術後精神状態(術後せん妄)のアセスメントと看護
 - 早期離床の促進
 - 日常生活の援助と心理的援助
- 第5章 退院に向けた指導・支援**
- 退院に向けた指導・支援とは
 - 退院に向けた指導・支援の実際
- 第6章 内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護**
- 内視鏡治療の術前・術後の看護
 - 鏡視下手術の術前・術後の看護
- 第7章 事例で考える周手術期看護**
- 統制機能(脳神経機能)の再確立—開頭腫瘍摘出術
 - 呼吸機能の再確立—胸腔鏡下肺葉切除術
 - 循環機能の再確立—冠動脈バイパス術
 - 摂食機能の再確立①—食道切除術
 - 摂食機能の再確立②—胃切除術
 - 消化機能の再確立①—肝切除術
 - 消化機能の再確立②—腹腔鏡下胆嚢摘出術
 - 運動機能の再確立—人工股関節全置換術
 - 生殖機能の再確立①—乳房部分切除術
 - 生殖機能の再確立②—子宮摘出術
 - 排泄機能の再確立①—低位前方切除術
 - 排泄機能の再確立②—経尿道的前立腺切除術
 - 排泄機能の再確立③—腎移植



先生のこえ

- ➡ 経時的な関連図が示されているので、学生は看護過程の流れをイメージしながらポイントをおさえた学習が進められる。

成人看護学 急性期看護Ⅱ

改訂第4版

クリティカルケア



編集 佐藤まゆみ 順天堂大学 林 直子 聖路加国際大学
B5判・408頁 2023.3. ISBN978-4-524-23288-8 定価3,300円(本体3,000円+税10%)

改訂のポイント クリティカルケアを事例から学べる実践的テキスト

- ▶ 集中治療室(ICU)や救急外来における急性状態にある患者の看護をクリティカルケアとしてとらえ直し、「第1部 クリティカルケアとは」「第2部 クリティカルケアの実際」の2部構成で内容を再編しました。
- ▶ 集中治療室、救急外来でのアセスメントの方法や、思考の流れ・判断方法について解説を充実させました。
- ▶ 新たに「急変した入院患者への看護」について章を設け、対応のプロセスや報告の仕方について解説を強化しました。

本書の特長

- ✓ すべての看護師が身につけておくべきクリティカルケアに関する基礎知識を解説しました。
- ✓ 第11章では緊急性の高い11の病態について事例により解説。事例の展開を通して、救急搬送受け入れの準備、搬送受け入れ時の看護、診察後のICU移送までの看護、ICUでの治療時の看護が、実際の看護の流れに沿って理解できます。

執筆

佐藤まゆみ 順天堂大学	比田井理恵 千葉県総合救急災害医療センター
中田 諭 聖路加国際大学	菅沢 直美 千葉県総合救急災害医療センター
伊藤 真理 大阪医科薬科大学	小安 麻子 千葉県立佐原病院
森山 幹夫 聖マリア学院大学	藤野 秀美 東邦大学
林 直子 聖路加国際大学	齊藤伊都子 順天堂大学医学部附属浦安病院
高梨奈保子 船橋市立医療センター	後藤 順一 河北総合病院
淵本 雅昭 東邦大学医療センター大森病院	苑田 裕樹 令和健康科学大学
吉田 澄恵 東京医療保健大学	増山 純二 令和健康科学大学
井上 昌子 東北大学病院	奥田 晃子 総合上飯田第一病院
澤田 美和 名古屋市立大学	角 由美子 日本赤十字社救急医療センター名古屋第二病院
丸谷 幸子 名古屋市立大学病院	平野美佐子 千葉県病院局
北村 直子 岐阜県立看護大学	三木佳奈子 千葉県総合救急災害医療センター
西塔依久美 SBC東京医療大学	工藤 利香 千葉県総合救急災害医療センター
緒方久美子 福岡大学	今関加奈子 千葉県立佐原病院

主要目次

第1部 クリティカルケアとは

第1章 クリティカルケアとは何か

1. クリティカルケア/クリティカルケア看護の歴史
2. クリティカルケア看護とは

第2章 集中治療の現状

1. 集中治療の歴史と動向
2. 集中治療の種類と場の特徴
3. 多職種連携によるチーム医療

第3章 救急医療の現状

1. 救急医療の歴史と動向
2. 救急医療体制
3. プレホスピタルケア
4. 救急医療と関連法令

第4章 集中治療・救急医療における倫理

1. 集中治療・救急医療における倫理

第2部 クリティカルケアの実際

第5章 ICU・救急外来で治療を受ける患者と家族の特徴

1. ICU入室患者と家族の特徴
2. 救急外来受診患者と家族の特徴

第6章 ICUにおける看護

1. ICU入室患者に対するアセスメント
2. ICU入室患者に対する看護の実際
3. ICU入室患者の家族に対する看護

第7章 救急外来における看護

1. 救急患者に対するアセスメント
2. 救急患者に対する看護の実際
3. 救急患者の家族に対する看護

第8章 急変した入院患者への看護

1. 急変した入院患者への看護対応

第9章 救命救急処置—心肺蘇生と生命維持

1. 救命救急処置—心肺蘇生と生命維持

第10章 クリティカルケアにおけるターミナルケア/エンドオブライフケア

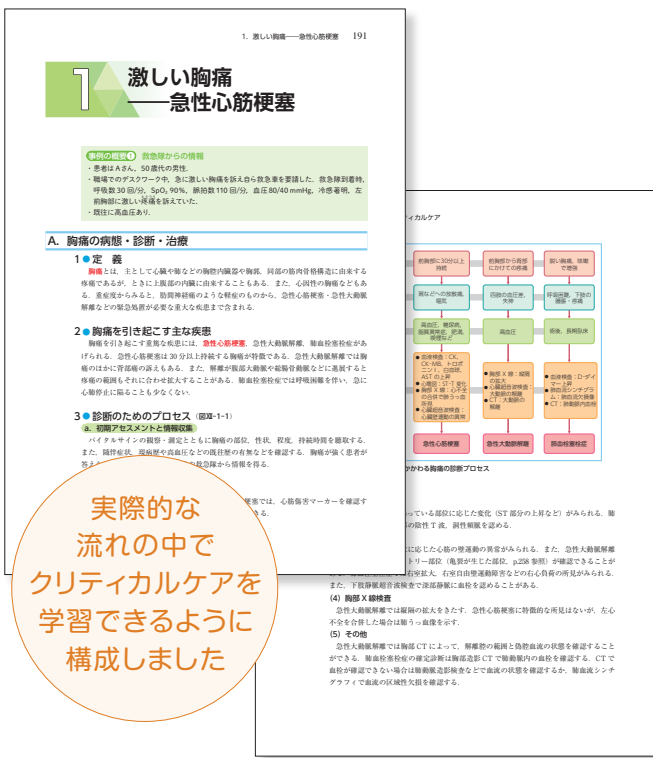
1. クリティカルケアにおけるターミナルケア/エンドオブライフケア

第11章 脳死状態に陥った患者と臓器移植

1. 脳死状態に陥った患者と臓器移植

第12章 事例で考えるクリティカルケア

1. 激しい胸痛—急性心筋梗塞
2. 激しい頭痛—くも膜下出血
3. 呼吸困難—気管支喘息
4. 急性腹痛①—急性大動脈解離
5. 急性腹痛②—尿路結石
6. 意識障害—低血糖
7. ショック—アナフィラキシー
8. 体温異常—熱中症
9. 外傷—胸部外傷
10. 熱傷—広範囲熱傷
11. 中毒—睡眠薬中毒



先生のこえ

具体的な事例が既習の知識を実践につなげるようにポイントをしばって展開されており、限られた時間で学習することに配慮されています。

成人看護学 慢性期看護

改訂第4版



病気とともに生活する人を支える

編集 鈴木久美 大阪医科薬科大学

旗持知恵子 大阪公立大学

B5判・552頁

2023.2. ISBN978-4-524-23436-3

定価3,740円(本体3,400円+税10%)

佐藤直美 浜松医科大学

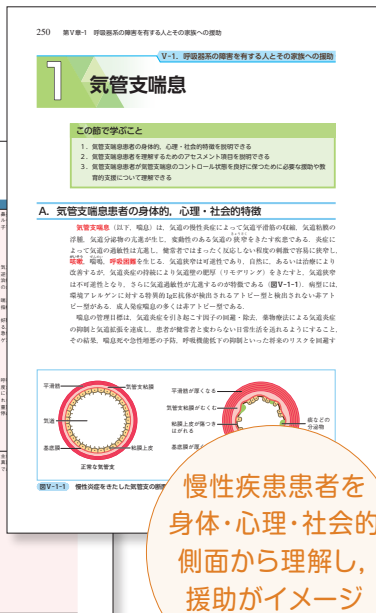
！ 改訂のポイント 慢性疾患を有する人への治療法別・疾患別の援助の方法を1冊で学べるテキスト

- ▶ 近年の療養移行支援や継続看護の必要性の高まりを受け、第1章3節に「療養移行・継続看護の実際」の項目を新設しました。
- ▶ 災害発生時の慢性疾患を有する人への支援が社会的な課題となっていることから、第1章の最後に「災害時における慢性疾患を有する人の看護」の節を新設しました。
- ▶ 概念・理論を理解しやすいよう、第III章1節の「C.自己効力感」「D.健康信念」「E.トランスセオレティカルモデル」に事例を追加しました。
- ▶ 利用者に変大好評な第V章の「アセスメント表」について、項目および表記の統一を図り、いっそう使いやすくなりました。

本書の特長

- 慢性疾患を有する患者の身体的特徴だけでなく、患者と家族がおかれた心理・社会的な問題を理解し、その理解に基づいた看護実践の習得を目指しています。
- アセスメントの要点が明確にわかる表を多く使い、また臨床事例を通してクリティカルシンキングをうながす章を設け、実践的な知識が身につく内容としました。

アセスメントの要点を治療・疾患ごとに表形式でまとめました



執筆

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 鈴木 久美 大阪医科薬科大学 | 片岡 純 愛知県立大学 |
| 片岡 優実 株式会社MRSリハビリ
デイサービスみどり | 松本 麻里 公益社団法人福岡医療団体
問看護ステーションわかば |
| 今戸美奈子 高槻赤十字病院 | 高山 京子 順天堂大学 |
| 旗持知恵子 大阪公立大学 | 池亀 俊美 榊原記念病院 |
| 木下 幸代 聖隷クリストファー大学名誉教授 | 眞茅みゆき 北里大学 |
| 佐藤 直美 浜松医科大学 | 利木佐起子 佛教大学 |
| 府川 晃子 兵庫医科大学 | 山中 政子 天理医療大学 |
| 巽 あさみ 藤田医科大学 | 森 一恵 兵庫医科大学 |
| 藪下 八重 佛教大学 | 清水 玲子 金沢医科大学 |
| 鈴木智津子 浜松医科大学医学部附属病院 | 田中 登美 奈良県立医科大学 |
| 小江奈美子 元京都大学医学部附属病院 | 鶴田 理恵 大阪公立大学医学部附属病院 |
| 齊藤 奈緒 宮城大学 | 杉野 祐子 国立健康危機管理研究機構
国立国際医療研究センター |
| 高橋 正子 兵庫医科大学病院 | 飯岡由紀子 埼玉県立大学 |
| 川地香奈子 ファミリー・ホスピス株式会社 | 岡本 知子 北里大学 |
| 森本 悦子 甲南女子大学 | 長崎ひとみ 杏林大学 |
| 近藤 美紀 国立がん研究センター東病院 | 植木 博子 公立福生病院 |
| 阿部 恭子 東京医療保健大学 | |

主要目次

- 第1章 慢性期看護とは
- 慢性疾患の特徴
 - 慢性疾患における治療の特徴
 - 慢性疾患を有する人をとりまく療養環境の特徴
 - 慢性疾患を有する人に対する看護の役割
 - 慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム医療
 - 災害時における慢性疾患を有する人の看護
- 第2章 慢性疾患を有する人とその家族の理解
- 慢性疾患を有する人の身体的特徴
 - 慢性疾患を有する人の心理的特徴
 - 慢性疾患を有する人の生活および社会的特徴
 - 慢性疾患を有する人を支える家族の特徴
- 第3章 慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本
- 治療・療養行動にかかわる主な概念・理論
 - 治療・療養を促進する支援
 - 社会資源の活用
- 第4章 慢性疾患の主な治療法と治療を受ける患者の看護
- インスリン療法を受ける患者の援助
 - 人工透析を受ける患者の援助
 - ペースメーカーを装着している患者の援助
 - ステロイド療法を受ける患者の援助
 - 放射線療法を受ける患者の援助
 - 同種造血幹細胞移植を受ける患者の援助
 - 内分泌療法を受ける患者の援助
 - 肝動脈塞栓療法を受ける患者の援助
 - 化学療法を受ける患者の援助
- 第5章 慢性疾患を有する人とその家族への看護
- V-1 呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-2 循環器系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-3 消化器系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-4 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-5 腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-6 血液・免疫系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-7 脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助
 - V-8 感覚器系の障害を有する人とその家族への援助
- 第6章 事例で考える

先生のこえ

- 各疾患ごとに患者の身体的、心理的、社会的特徴、また患者の家族への援助について示されている点が良い。
- 治療の目的・方法および治療時の看護について、身体的・心理的・社会的特徴から対象および家族への援助について具体的にイメージできるよう編集されており、学内での学習だけでなく、臨地実習で学生が自主的に活用できる内容に構成されている。

成人看護学

成人看護技術

改訂第3版

生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める



編集 野崎真奈美 順天堂大学
佐藤まゆみ 順天堂大学

林 直子 聖路加国際大学
鈴木 久美 大阪医科薬科大学

B5判・420頁
2022.3. ISBN978-4-524-22954-3
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 生きた看護技術をビジュアルに解説したテキスト

- ▶ 先生方から多くのご要望をいただいた「動画」を掲載しました。QRコードからいつでも視聴できます。
- ▶ 臨床判断能力を養えるよう、看護技術の手順(Skill表)の説明において「(患者状態の)評価・記録を行う際の視点」を追加しました。
- ▶ 第III章に「集中治療」の視点を加え、新規項目として「大動脈バルーンパンピング(IABP)」「体外式模型人工肺(ECMO)/経皮的な心肺補助法(PCPS)」「挿管患者の口腔ケア」を追加しました。

本書の特長

- ✓ 基礎看護技術からステップアップし、成人看護学における看護技術の中で、とくに具体的手順を解説する必要があるものを集めました。
- ✓ 経過別看護の考え方を軸とし、「検査」「周手術期」「救急・ICU」「慢性期」で構成しています。
- ✓ 臨床と教育のギャップを解消し、生きた看護技術を習得することができるよう、看護技術の具体的手順を2列の表形式(Skill表)としました。
 - 通常の看護技術:「手順」と「根拠/ポイント/注意」
 - 検査、手術など、介助を行う技術:「医師の手順」と「看護師の手順」
 - 慢性疾患をもつ患者のセルフケアを促す技術:「患者・家族の行動」と「看護師の指導上のポイント」

執筆

野崎真奈美 順天堂大学	三枝香代子 千葉県立保健医療大学
横山 美樹 東京医療保健大学名誉教授	北村 直子 岐阜県立看護大学
新田 汐里 宮崎大学	東田かずえ 千葉大学医学部附属病院
高橋 綾 埼玉県立大学	田口智恵美 千葉県立保健医療大学
高梨あさき 順天堂大学	工藤 孝子 順天堂大学医学部附属順天堂医院
山田 緑 共立女子大学	齊藤伊都子 順天堂大学医学部附属浦安病院
仁藤 美穂 公益財団法人ライフ・エクステンション 研究所付属永寿総合病院	鈴木 久美 大阪医科薬科大学
南 由起子 サンシティ横浜南	池亀 俊美 神原記念病院
池口 佳子 聖徳大学	藤原 由子 神戸女子大学
小川真由美 聖路加国際病院	松本 麻里 公益社団法人福岡医療訪問看護ステーションわかば
大友 裕子 元聖路加国際病院	竹川 幸恵 大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター
西澤 和子 聖路加国際病院	齊藤 奈緒 宮城大学
卯野木 健 札幌市立大学	清水 玲子 金沢医科大学
四本 竜一 霧島市立医師会医療センター	井上 智恵 社会福祉法人恩賜財団東京済生会病院
林 直子 聖路加国際大学	田島 純子 長崎大学病院
芹田 晃道 隠岐広域連立隠岐病院	片岡 優美 株式会社MRSリハビリ デイサービスみどり
藤野 秀美 東邦大学	小西美ゆき 植草学園大学
逢阪 美里 聖路加国際病院	窪岡由佑子 勝野内科クリニック
佐藤まゆみ 順天堂大学	
緒方久美子 福岡大学	

主要目次

第I章 検査の介助
1. 生体機能検査 2. 画像診断 3. 内視鏡検査 4. 検体検査

第II章 周手術期の看護技術
1. 術前の看護技術 2. 術中の看護技術 3. 術後の看護技術

第III章 救急・集中治療時の看護技術
1. 一次救命処置(BLS) 2. 二次救命処置(ALS)
3. 救急外来・ICUにおける看護技術

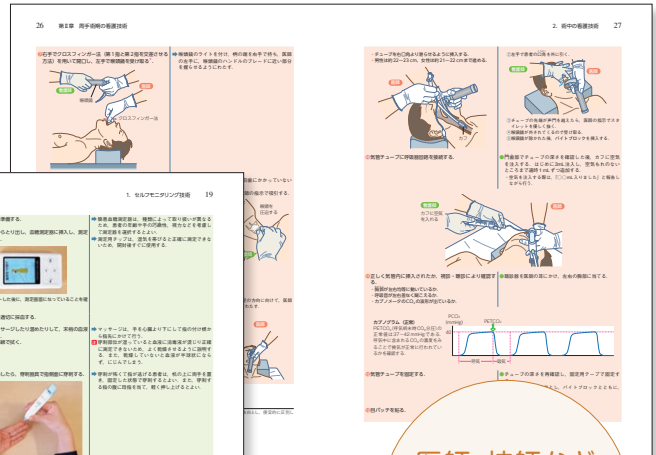
第IV章 慢性疾患を有する患者のセルフマネジメントを促す技術
1. 患者教育が必要なセルフモニタリング技術 2. 患者教育が必要なセルフケア技術



イラスト、写真が豊富です
看護技術の根拠が理解できます



患者さんへのセルフケアの指導のポイントが理解できます



医師・技師などの協働方法が具体的に理解できます

リハビリテーション看護

改訂第3版

障害のある人の可能性とともに歩む



編集 酒井郁子 千葉大学 金城利雄 名桜大学 深堀浩樹 慶應義塾大学
B5判・416頁 2021.1. ISBN978-4-524-24629-8 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

！ 改訂のポイント 理論と実践、どちらも充実していると大好評のテキスト

- ▶ オールカラー化し、写真を撮り直し・追加することで、視覚的により理解しやすくなりました。
- ▶ 看護の専門性と専門職連携の方法および共通の考え方となる国際生活機能分類(ICF)の項目が新たに入り、チームアプローチの実践に役立ちます。

本書の特長

- リハビリテーション看護の“専門性”を意識して実践できるように編集しています。国内外の研究者と豊かな経験を有する実践者が、これからの「リハビリテーション看護」をわかりやすく解説しました。
- 障害を持つ人の身体的な面からだけでなく心理的側面や社会的側面からアセスメントし、看護が展開できるように、具体的な事例を設定しています。

執筆

酒井 郁子	千葉大学	高岡 徹	横浜市総合リハビリテーションセンター
金城 利雄	名桜大学	大久保暢子	聖路加国際大学
中島八十一	長野保健医療大学	塩田美佐代	湘南医療大学
山崎千寿子	東京医療保健大学	佐藤多美子	横浜市総合リハビリテーションセンター
大塚真理子	長野県看護大学	飯田 直子	千葉県千葉リハビリテーションセンター
細田満和子	星城大学	石川ふみよ	上智大学
岩隈 美穂	京都大学	千葉 由美	横浜市立大学
鈴嶋よしみ	東北大学	菅井亜由美	独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
出江 紳一	医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院	尾上 望	千葉県千葉リハビリテーションセンター
末永 由理	東京医療保健大学	西垣 昌和	国際医療福祉大学
黒田久美子	千葉大学	荒木 暁子	東邦大学
鳥田美紀代	東邦大学	佐瀬真粧美	東邦大学
遠藤 淑美	鳥取看護大学	深堀 浩樹	慶應義塾大学
Nancy Feeley	Ingram School of Nursing	藤井 博之	社会福祉法人すこやか福祉会
周 宇形	北京大学护理学院	織井優貴子	常磐大学/東京立大学名誉教授
黒河内仙奈	神奈川県立保健福祉大学	大館 千歳	国立障害者リハビリテーションセンター
田中 康之	千葉県千葉リハビリテーションセンター	◎医学監修	
宮下 智	帝京科学大学	高岡 徹	横浜市総合リハビリテーションセンター
伊藤 靖代	元帝京科学大学		
泉 キヨ子	帝京科学大学		

主要目次

第1章 リハビリテーションとは

1. リハビリテーションの理念
2. リハビリテーションの歴史
3. リハビリテーションにかかわる法律
4. 生活機能分類と生活機能障害の構造

第2章 リハビリテーション医療に必要なチームアプローチ

1. リハビリテーションに必要なチームアプローチ
2. リハビリテーション医療に携わる専門職の役割・機能
3. リハビリテーション看護の専門性

第3章 生活機能障害のある人とその家族の理解

1. 障害と共に生きる技法
2. 患者と家族が体験する障害の世界
3. 障害とともに年をとる

第4章 リハビリテーション看護の展開に必要な概念と理論

1. リハビリテーションを必要とする人への看護の目的を定めるために
2. リハビリテーションを必要とする人との関係を構築するために
3. リハビリテーションを必要とする人への看護を展開するために

第5章 リハビリテーション看護の目的と方法

1. 不働・低活動の予防(生命レベル)
2. 活動の促進(生活レベル)
3. 参加の促進(人生レベル)

第6章 回復過程とリハビリテーション看護

1. 急性期におけるリハビリテーション看護
2. 回復期におけるリハビリテーション看護
3. 生活期におけるリハビリテーション看護

第7章 生活機能障害とリハビリテーション看護

1. 運動機能障害のある人への看護—脳卒中の場合
2. 高次脳機能障害のある人への看護
3. 運動機能障害のある人への看護—脊髄損傷の場合
4. 運動機能障害のある人への看護—大腿骨近位部骨折の場合
5. 摂食嚥下障害のある人への看護
6. 排泄機能障害のある人への看護
7. 心身障害を有して生まれ成人した人への看護

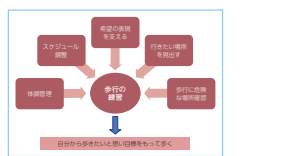
第8章 リハビリテーション看護における倫理的諸問題

1. リハビリテーション看護における倫理的諸問題

第9章 リハビリテーション看護のシステム化と発展を目指して

1. 療養の場の移行に伴う看護の継続
2. リハビリテーション看護の質改善
3. 地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション
4. 地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護
5. リハビリテーション看護の現状と課題

技術のポイントは写真とあわせて理解できます



図表3-1 回復期の多職種連携と看護の役割

体調管理に繋げるために血圧を管理したり痛みをとったりという体調管理は看護主導の介入により可能になる。また多歩の際に気をつけるべき危険な場所を一緒に確認するのは、サクセスフルリビングの促進である。スケジュール調整や体調管理には専門職連携によるケアが欠かせない。これらのことを患者に説明して患者をエンパワーすることは看護職のリーダーシップの発揮にかかっている。

2 第2章 リハビリテーション医療に必要なチームアプローチ

きなくてはならない。

以上から、リハビリテーションにかかわる看護は、さまざまな専門職に自分の看護としての専門的な判断を説明し、患者が生活機能改善を改善するために取り組む方向性を明確にすることに対して、看護職として適切な判断と具体的な役割を担う必要がある。

B. リハビリテーション看護の機能と役割

1 ● リハビリテーション看護の定義から

日本リハビリテーション看護学会は、リハビリテーション看護を「リハビリテーション看護とは、疾患・障害・加齢等による生活上の問題を抱える個人や集団に対し、障害の経過や生活の場にかかわらず、可能な限り日常生活活動（ADL）の自立とQOL（生命・生活・人生の質）の向上を図る専門性の高い看護である」と定義している。

この定義から、生活上の問題（困難）という言葉で生活機能障害を表現し、そのような生活機能障害のある個人と家族が対象となる看護であること、また障害の経過や生活の場にかかわらずという表現から、急性期、回復期、生活期と障害の経過全般を対象とすること、そして職がかわらずという表現からは、リハビリテーション施設だけでなく自宅、長期ケア施設などもリハビリテーション看護活動の場に含まれることがわかる。

そして、リハビリテーション看護とは、**日常生活の自立とQOLの向上が目的**となつた看護であり、疾患からの回復だけでなく**生活機能の改善、とくに活動と参加**に焦点を当てた看護であることがわかる。

2 ● リハビリテーション看護の4つの役割と具体例

アメリカリハビリテーション看護学会は、リハビリテーション看護の専門的な役割について、①看護主導の介入、②サクセスフルリビング（生活がうまくいくこと）の促進、③リーダーシップの発揮、④専門職連携によるケア、の4つを示している。

この4つのリハビリテーション看護機能が発揮されているリハビリテーション看護職の役割について、回復期の多職種連携のある人への看護を中心に考えてみよう。

回復期にある患者が多歩者という生活機能障害のためにリハビリテーションが必要となったとき、この患者にはリハビリテーションチームがかわかる。看護職はリハビリテーションのメンバーとして、多歩者の改善のために何が出来るだろうか。

多歩者の練習へのアドバイスは理学療法士が行うかもしれない。基礎疾患に対して治療計画を立てて薬を処方するの医師である。たまたま担当は多歩者担当でない。つまり患者が「うまく多歩する（successful walking）」ためには、その患者が歩きたいのか、歩けるようになるのか、歩いていきたいのかは、多歩者本人の意向を表現し、歩けるようになるように場所を患者が見出すように情報を提供したり、多歩の際に気をつけるべき危険な場所を一緒に確認し学習を支援したり、リハビリテーションのためにさまざまな職種がかかわる患者の目標や課題を患者と1日の患者の生活の中に入れていくスケジュールを調整したり、治療や生活にあわせて担当を管理したり職を転々とするという体調管理をしたりしなければ、多歩者の練習そのものができない可能性がある（図表3-1）。

具体的な「事例」を適宜設定、知識の定着を図ります

エンドオブライフケア

その人にとっての最善をめざして



編集 谷本真理子 東京医療保健大学 増島麻里子 千葉大学
B5判・260頁 2022.12. ISBN978-4-524-23202-4 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- ✓ エンドオブライフの時期にある対象者を理解するための6つの視点を用いた新しいエンドオブライフケアの教科書。
- ✓ 死生観やその社会的・文化的・宗教的背景、終末期医療・ケアや看取りに関する倫理的課題から、エンドオブライフケアの時期にある人やその家族への支援方法まで、すべてがこの1冊で学べます。
- ✓ 最終章では、臨床で出会うことの多い場面や倫理的な課題を抱えやすい場面を含んだ8つの事例をとりあげ、対象者を6つの視点からとらえ、理解を深めながら“その人にとって最善のケア”を探っていきます。

執筆

谷本真理子 東京医療保健大学	大城 京子 快護相談所和び咲び
川瀬 貴之 千葉大学	増島麻里子 千葉大学
佐々木恵雲 藍野大学	藤澤 陽子 千葉大学医学部附属病院
黒田寿美恵 県立広島大学	武見 綾子 川崎市立川崎病院
村瀬樹太郎 東京慈恵会医科大学附属第三病院	宇佐美利佳 岐阜県立看護大学
富岡 晶子 千葉大学	片岡 純 愛知県立大学
奥村美奈子 岐阜県立看護大学	小野 年弘 千葉大学
山崎由利亜 千葉大学	平原佐斗司 東京ひれい医療生活協同組合 梶原診療所
池崎 澄江 千葉大学	松山 直美 京都大学医学部附属病院
石橋ゆき 千葉大学	橋爪 由樹 東京医療保健大学
依田 智未 千葉大学	渡邊 美和 前東都大学
西田 佳世 聖カタリナ大学	山崎 智子 前東京医科歯科大学
渡辺 悠 東北大学病院	小林 成光 聖路加国際大学
酒井 菜法 臨床宗教師・日蓮宗僧侶	佐々木ちひろ 千葉大学
箕岡 真子 箕岡医院	古川 直美 岐阜県立看護大学
櫻井智穂子 東京医療保健大学	金澤麻衣子 東北大学病院
会田 薫子 東京大学	横江由理子 いきいき在宅クリニック
竹川 幸恵 大阪はびきの医療センター	渡邊 朋 千葉大学医学部附属病院
山崎千寿子 東京医療保健大学	佐藤 奈保 千葉大学
西川 満則 国立長寿医療研究センター	湯本 晶代 千葉大学

3 対象理解の視点

対象者が望むエンドオブライフケアを認識するためには、エンドオブライフの時期にある人の最善を最大限に考慮し、家族や関係者などの考えと対象者の意向の相違点をすり合わせる、いかに実現できるかを検討することが重要である。

この中で、エンドオブライフの時期にある人の意向を理解する手がかりとして、6つの視点を活用（図表3-1）し、いづれも、エンドオブライフの時期にある人が人生を振り返り、その人が思い強く自問したい人生を、最期までよりよく生きることを支援するための視点である。この6つの視点を活用して、医療や介護は、エンドオブライフの時期にある人の生きるための「これまで」【図表3-1】（以下参照）を踏まえて、現場でできる最善の「最期の望ましい状態」を、その人の心身の状態の変化に応じて実践し、共に考え続ける。

対象理解の視点	実践の視点
1. 生活状況（生活・環境・社会背景） 生活環境や生活状況が、その人の意向や価値観に与える影響を把握し、その人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。	2. 本人の現状（生活・環境・社会背景） 本人の現状や意向を把握し、その人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。
3. 関係者の意向 関係者の意向や価値観を把握し、その人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。	4. 倫理的課題 倫理的課題を把握し、その人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。
5. 本人の意向 本人の意向や価値観を把握し、その人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。	6. 医療や介護の現状 医療や介護の現状を把握し、その人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。

主要目次

序章 エンドオブライフケアを学ぶにあたって

第1章 人が生きるとは、死ぬとは

- 1 人が生きること、死ぬこと
- 2 発達段階からみた死

第2章 死をとりまく社会状況

- 1 日本における終末期医療・ケア
- 2 死を迎える場所とかかわる人たち
- 3 看取りに関する倫理的課題

第3章 エンドオブライフケアとは

- 1 エンドオブライフケアの定義および基盤となる概念
- 2 意思決定
- 3 エンドオブライフケアにおけるチームアプローチ

第4章 最期までよりよく生きることを支えるエンドオブライフケアの考え方

- 1 最期までよりよく生きることを支えることとは
- 2 その人にとっての「望ましい状態」と状態把握の視点
- 3 対象理解の視点

第5章 エンドオブライフの時期にある人への援助

- 1 症状マネジメント
- 2 日常生活支援
- 3 意思決定支援

第6章 臨死期の看護

- 1 死が近づいた人の身体徴候のとりえ方
- 2 看取り時の看護

第7章 エンドオブライフに関わる人への支援—家族、親近者

- 1 家族および親近者の心理・心理的過程
- 2 家族や親近者の力を引き出す支援
- 3 遺族や残された親近者およびケアにあたった医療者への支援

第8章 事例で学ぶエンドオブライフケア

- 1 病院で死を迎えるまでの意思決定と調整
- 2 療養場所の移行における調整と連携
- 3 人工呼吸器装着に関する意思決定支援
- 4 不安、悲嘆が強い家族の看護
- 5 介護施設で暮らし認知症患者の医療介入と終の棲家の選択の支援
- 6 エンドオブライフの時期にある子どもへの理解と看護
- 7 独居高齢者の在宅での看取りに向けたシステムづくりと看護
- 8 関係構築が難しい脆弱な長期療養患者の意向理解と支援

8 関係構築が難しい脆弱な長期療養患者の意向理解と支援

【症例】急性虚脱で入院。ECM（呼吸補助療法）1週間続

●本人・家族の事情
 79歳、男性。41歳時、虚脱症による緊急手術を受け、通院32年。二次性脳性運動失調、認知症、不安を合併。約1ヵ月に自宅で転倒し、胸骨骨折と肋骨骨折で入院。Heart-PHは1,000。妻と同居し、妻は認知症で在宅介護を要している。

●介護者の意向と状況
 41歳で虚脱症を発症。近所の通リクリニックで通院の提供を申し込まれ、約1ヵ月前に自宅で転倒。胸骨12番と肋骨1-2番の骨折を併発し、心不全が顕著化して入院となった。

●本人の身体状況と治療の受け止め
 認知症、虚脱症と合併を伴っており、本人の意向や価値観を最大限に考慮し、実践する。本人が希望する意向を最大限に考慮し、実践する。本人が希望する意向を最大限に考慮し、実践する。

●家族の意向と治療の受け止め
 妻は「認知症がひどいから、いろいろ（治療法）出てくるのは仕方ないが、それに従うのが行かぬ」と希望している。

●関係構築の支援
 関係構築の支援、外見統一化活動制導入により、週に1回の外来診察、本人の人間性から理解がかけられている。

がん看護

様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える

改訂第2版



編集 鈴木久美 大阪医科薬科大学 林 直子 聖路加国際大学 佐藤まゆみ 順天堂大学
B5判・364頁 2025.1 ISBN978-4-524-21072-5 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 考え方から看護の実際まで、「がん看護」を体系的に学習できる好評テキスト

- ▶ 「がん対策」の項目では、「第4期 がん対策推進基本計画」の内容を反映しました。
- ▶ 症状マネジメントの項目の一つとして「末梢神経障害」を追加。また、がん患者の療養の場のバリエーションとして「災害時の看護」の節を新設しました。
- ▶ 「免疫チェックポイント阻害薬」や「CAR-T細胞療法」など治療における最新情報のほか、統計数値等も最新のものにアップデートしました。

本書の特長

- ✓ 患者の年齢や社会的役割、臨床経過の違いによってがん患者や家族が感じる苦痛や生活上の困難が異なることから、それらの特徴をふまえた看護について学べるよう編集しています。
- ✓ 事例の章(第VIII章)では、多様な発達段階・臨床経過を例に、情報関連図で情報を整理し、看護問題を挙げ、看護の考え方と実践例を示しています。
- ✓ 療養の場の移行支援や、地域で支えるための連携、アドバンス・ケア・プランニングなど、近年重視されている事柄も、事例を通して学ぶことができます。

執筆

鈴木直子	久美直子	大阪医科薬科大学	小塚拓洋	虎の門病院
高山千春	善伸	聖路加国際大学	神田善伸	自治医科大学附属病院
廣瀬善信	晴泰	神奈川県立保健福祉大学	村上桂子	静岡県立静岡がんセンター
西野善一	恭子	大阪医科薬科大学	阿部恭子	国立がん研究センター
山中照夫	志保	金沢医科大学	後藤志保	東京医療保健大学
美智司	美紀	ハワイ大学	近藤美紀	がん研究会有明病院
平冢勇	和子	聖路加国際病院	中島和子	国立がん研究センター東病院
重岡靖	晴恵	元聖路加国際病院	荒尾晴恵	静岡県立静岡がんセンター
保坂隆	美千代	淀川キリスト教病院	向井美千代	大阪大学
辻哲也	三奈子	保坂サイコソロジー・クリニック	梅澤三奈子	神戸掖済会病院
大野智	登子	慶應義塾大学	千嶋美登子	新潟県立看護大学
佐藤まゆみ	志衣	島根大学医学部附属病院	細田志衣	北里大学病院
高山京子	真紀子	順天堂大学	八巻真紀子	聖路加国際病院
高山麻理	知子	聖路加国際大学	井沢知子	前聖路加国際大学
鶴若理	晶子	聖路加国際大学	本田晶子	神戸市看護大学
小山富美子	多加子	近畿大学	岩田多加子	慶應義塾大学
府川晃	奈緒美	兵庫医科大学	清水奈緒美	聖路加国際病院
増島麻里子	千春	千葉大学	濱本千春	湘南医療大学
小林京子	千春	聖路加国際大学	高屋敷麻理子	YMCA訪問看護ステーションピース
渡邊知映	明子	昭和大学	松本明子	岩手県立大学
綿貫成明	陽子	国立看護大学校	今津陽子	株式会社ガイアメディア
高橋奈津子	内直子	神奈川県立保健福祉大学	竹之内直子	東京科学大学
大城怜	美里	神戸医療産業都市推進機構	連阪美里	京都府立医科大学附属病院
上別府圭子	千裕	国際医療福祉大学	井関千裕	聖路加国際病院
首藤彦彰	宏	聖路加国際大学	山口宏	大阪府立病院
藤原保仁	保仁	大阪医科薬科大学		大阪医科薬科大学

主要目次

第I章	がん看護とは
第II章	がんおよびがん医療の理解
1.	がんの疫学とがん対策
2.	がんの病態と集学的治療
3.	がん医療における専門職連携
4.	がん医療における倫理
第III章	がんになった人とその家族の理解および看護
1.	がんの臨床経過におけるがん患者の特徴と援助
2.	発達段階におけるがん患者の特徴と援助
3.	がんサバイバーシップとソーシャルサポート
4.	がん患者の家族の特徴と支援
第IV章	がん患者に対する治療
1.	手術療法
2.	薬物療法
3.	放射線療法
4.	造血幹細胞移植
5.	免疫療法
第V章	がん治療を受ける患者の看護
1.	手術療法を受ける患者の看護
2.	がん薬物療法を受ける患者の看護
3.	放射線療法を受ける患者の看護
4.	造血幹細胞移植を受ける患者の看護
5.	免疫療法を受ける患者の看護
第VI章	緩和ケア
1.	緩和ケアとは
2.	症状マネジメントとは
3.	各症状のマネジメント
第VII章	がん患者の療養の場における看護
1.	外来における看護
2.	在宅における看護
3.	緩和ケア病棟/ホスピス病棟における看護
4.	がん患者の療養の場の移行支援
5.	災害時のがん患者への看護
第VIII章	事例で考えるがん看護
1.	小児がん患者への看護—急性性白血病の女性
2.	AYA世代(若年成人)のがん患者への看護—精巣がんの男性
3.	成人(壮年期)のがん患者への看護—乳がんの女性
4.	成人(壮年後期)のがん患者への看護—肺がんの男性
5.	高齢者のがん患者への看護—大腸がんの男性

緩和ケア

尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心

改訂第3版



監修 梅田 恵 ファミリー・ホスピス株式会社 射場典子 聖路加国際大学

編集 林糸り子 横浜市立大学 新幡智子 慶應義塾大学 酒井禎子 新潟薬科大学

B5判・330頁
2025.1. ISBN978-4-524-21002-2
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 緩和ケアの概念から実践的な知識までコンパクトにまとめたテキスト

- ▶ 緩和ケアの基盤となる考え方として、「緩和ケアにおけるコミュニケーション」「看護師のセルフケア」を追加しました(第II章)。
- ▶ 緩和ケアの実際の章(第III章)に、身体的苦痛、精神的苦痛、スピリチュアルペインへのケアに加え、新たに「社会的苦痛へのケア」の節を設けました。
- ▶ 事例をととして緩和ケアを学ぶ第VI章に「誤嚥性肺炎」と「ALS」の事例が新たに加わるなど、がん以外の疾患(非がん疾患)への緩和ケアの内容が充実しました。
- ▶ ささまざまな対象への緩和ケアとして、第IV章に「救急・集中治療領域における緩和ケア」を新設しました。

本書の特長

- ✓ 緩和ケアを、診断時からすべての病期にわたって治療と並行して行われるケアとして捉え、基本的な知識や実践方法について、初学者にもわかりやすく解説しました。
- ✓ 現在にいたる緩和ケアの発展の歴史を簡潔にまとめ、緩和ケアが行われるさまざまな場について紹介しました。
- ✓ 事例を通して、さまざまな対象・場面における緩和ケアの実際を学ぶことができます。

執筆

射場 典子	聖路加国際大学	澤口 宙人	札幌市立大学
梅田 恵	ファミリー・ホスピス株式会社	廣岡 佳代	東京科学大学
林 糸り子	横浜市立大学	井沢 知子	神戸看護大学
新幡 智子	慶應義塾大学	野村 優子	がん・感染症センター都立駒込病院
脇谷美由紀	昭和大学横浜北部病院	河野佐代子	慶應義塾大学病院
池亀 俊美	榊原記念病院	品田 雄市	東京医科大学八王子医療センター
平山さおり	KKR 札幌医療センター	田村 恵子	大阪歯科大学
宇野さつき	ファミリー・ホスピス株式会社	西山みどり	有馬温泉病院
竹之内紗弥香	京都大学	宇都宮明美	関西医科大学
小笠原利枝	ファミリー・ホスピス株式会社	柏崎 純子	共立女子大学
柏木 夕香	新潟県立新発田病院	中島 大地	ファミリー・ホスピス株式会社
岸野 恵	三愛会総合病院	前浦 栄子	京都大学医学部附属病院
森川 真理	横浜市立大学附属病院	本田 晶子	慶應義塾大学
小野若菜子	東京都立大学	中村喜美子	鈴鹿医療科学大学
矢ヶ崎 香	慶應義塾大学	村木 明美	済生会松阪総合病院
高橋 紀子	国立病院機構仙台医療センター	本間 織重	昭和大学病院/昭和大学
川村三希子	札幌市立大学		

主要目次

- ### 第I章 緩和ケアとは
1. 緩和ケアとは—尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐケア
 2. 緩和ケアの歴史と定義
 3. 緩和ケアをとりまく今日の状況
 4. 日本の緩和ケアに関する政策の変遷と動向
 5. さまざまな場における緩和ケア
 6. 諸外国における緩和ケアの体制
 7. 日本の緩和ケアに関する継続教育
- ### 第II章 緩和ケアの基盤となる考え方
1. 尊敬を支えるケア
 2. 症状マネジメント
 3. 日常生活を支えるケア
 4. 緩和ケアにおけるコミュニケーション
 5. 意思決定を支えるケア
 6. 家族ケア
 7. グリーフケア
 8. 緩和ケアにおける多職種チームアプローチ
 9. 看護師のセルフケア
- ### 第III章 全人的苦痛に対する緩和ケアの実際
1. 身体的苦痛へのケア
 2. 精神的苦痛へのケア
 3. 社会的苦痛へのケア
 4. スピリチュアルペインへのケア
- ### 第IV章 ささまざまな対象への緩和ケア
1. 認知症を有する人への緩和ケア
 2. 心不全を有する人への緩和ケア
 3. 慢性呼吸不全を有する人への緩和ケア
 4. 神経難病を有する人への緩和ケア
 5. 救急・集中治療領域における緩和ケア
- ### 第V章 臨死期のケア
1. 臨死期のケアとは
 2. 臨死期にある患者へのケア
 3. 臨死期にある患者の家族へのケア
 4. 死の迎え方の多様性
- ### 第VI章 事例で学ぶ緩和ケアの実際
1. 事例① 療養の場をつなぐ—肺がん多発骨転移により痛みを抱えて生活する患者への継続看護
 2. 事例② セルフケアを促す—患者が自分でも症状緩和を図れると感じられるようなかわり
 3. 事例③ 「食べたい」という希望を支える—誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者へのかわり
 4. 事例④ 進行する機能低下を支える—全人的苦痛を理解し、希望を支えるかわり
 5. 事例⑤ スピリチュアルケア—死に向き合うことを余儀なくされて苦悩する患者へのかわり
 6. 事例⑥ 家族のケア—終末期にある患者の妻の予期悲嘆に対する援助
 7. 事例⑦ チームによる緩和ケア—病棟・緩和ケアチーム・退院調整部門の看護師による協働
 8. 事例⑧ 在宅での看取り—痛みの強い終末期がん患者の在宅での看取り
 9. 事例⑨ 看護師が行うグリーフケア—妻を見送った夫の悲しみへのかわり



老年看護学概論

改訂第4版



「老いを生きる」を支えることは

編集 正木治恵 千葉大学名誉教授 真田弘美 石川県立看護大学

B5判・420頁 2023.3. ISBN978-4-524-23378-6 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

改訂のポイント 看護師として高齢者を支えるために必要な理論・考え方を全て学べるテキスト

- ▶ 超高齢社会、人生100年時代となった社会の変化に合わせ、新たな老年看護学の考え方を学べるよう構成・内容を大幅に見直しました。
- ▶ 高齢者の健康レベルが高まったことを背景に、「高齢者の労働」の項や「高齢者の健康の維持・回復への支援」の章を新たに設けました。
- ▶ 高齢者の療養・生活する場が多様なことから、医療施設における看護だけでなく、医療施設退院時の支援や、介護保険施設に入居する高齢者、居宅サービスを利用する高齢者への看護の項目を設けました。

本書の特長

- ✓ 老年看護学の基本を「対象理解」に置き、からだ、こころ、暮らし、かわり、生きがいの5つの側面からとらえられるよう記載しています。
- ✓ 老年看護に活用できる理論・アプローチをまとめ、具体的な事例を通してわかりやすく解説しています。
- ✓ 初版(2011年刊行)以来、地域で暮らす高齢者が安全に安心して希望を持って暮らせること、そのような地域づくりを看護職が支えるという視点を大切にしています。

執筆

正木 治恵	千葉大学名誉教授	谷本 真理子	東京医療保健大学
小野 幸子	日本医療大学	齋田 信子	信州大学
竹屋 泰子	大阪大学	小池 潤	静岡県立大学
瀬戸 奈津子	関西医科大学	石橋 みゆき	千葉大学
井出 訓子	放送大学	山下 裕紀	関西医科大学
辻村 真由子	滋賀医科大学	黒田 久美子	千葉大学
田所 良之	植草学園大学	高橋 弘美	船橋市立医療センター
坂井 志麻	上智大学	須藤 麻衣	武蔵野赤十字病院
野口 美和子	沖縄県立看護大学名誉教授	須藤 麻衣	順天堂大学医学部附属順天堂
鳥海 幸恵	川崎市立川崎病院	大久保みずす	東京江東高齢者医療センター
長畑 多代	大阪公立大学		済生会横浜市東部病院
河井 伸子	大手前大学		日本医科大学千葉北総病院
松本 啓子	香川大学		医療法人社団志生すずらんクリニック
征矢 野あや子	京都市立看護大学		元大島訪問看護ステーション
高橋 香代子	相澤病院		順天堂大学
島田 弘美	順天堂大学	丸山 理恵	順天堂大学
村角 直子	金沢医科大学	八木 範子	順天堂大学
近藤 絵美	福山女子学園大学	桑田 美代子	青梅慶友病院
井出 成美	東京情報大学	岡本 あゆみ	淑徳大学
今村 恵美子	元千葉大学	永田 文子	淑徳大学
山崎 由利亜	元千葉大学	記村 聡子	大手前大学
鳥田 美紀代	東邦大学	大湾 明美	沖縄県立看護大学名誉教授
佐々木 ちひろ	千葉大学	田場 由紀	沖縄県立看護大学
高橋 良幸	東邦大学	緒方 さやか	カリフォルニア州サンラファエル カイザー病院

主要目次

第I章 老年看護学を理解するための基盤

1. 人間の一生と発達
2. 人間発達論における老年期
3. 老いを生きることの意味
4. 加齢と健康
5. 高齢者をとりまく社会状況
6. 高齢者と家族
7. 高齢者の労働
8. 高齢者の暮らしの場

第II章 老年看護の理念と目標

1. 老年看護の理念
2. 老年看護の目標
3. 老年看護の倫理

第III章 老年看護に活用できる理論・概念

1. 健康の概念
2. セルフケア
3. サクセスフルエイジング
4. ウェルネスアプローチ
5. コンフォート
6. ライフストーリー
7. レジリエンス
8. ストレングス
9. エンパワメント
10. スピリチュアリティ

第IV章 老年看護の対象理解

1. 対象特性
2. 対象理解のための5つの側面
3. 歳月の積み重ね
4. 対象理解の深まりと広がり

第V章 対象把握のためのアセスメント

1. 対象理解のための5つの側面の把握
2. 高齢者の機能評価と指標
3. 高齢者の症状と検査・治療に伴う影響のアセスメント
4. 介護を必要とする高齢者の家族のアセスメント

第VI章 高齢者の健康の維持・回復への支援

1. 豊かな生の創出・支援
2. ADL機能の維持・回復への支援
4. 健康問題の予測と予防への支援

第VII章 高齢者の療養生活の支援

1. 外来を受診する高齢者の看護
2. 医療施設から退院する高齢者の看護
3. 医療施設から退院する高齢者の看護
4. 高齢者のリハビリテーション看護
5. 介護保険施設に入居している高齢者の看護
6. 居宅サービスを利用している高齢者と家族の暮らしと看護

第VIII章 認知症の高齢者の支援

1. 認知症の高齢者の理解と看護の基本
2. 認知症の高齢者の家族介護者の理解と支援
3. 認知症の高齢者が地域で安全に安心して暮らすための支援
4. 急性期治療を行う病院での認知症高齢者への看護

第IX章 高齢者のエンドオブライフケア

1. 高齢者のエンドオブライフケアに求められること
2. 意思決定支援とアドバンスケアプランニング
3. 高齢者の尊厳を支える看取り
4. 終末期の家族支援

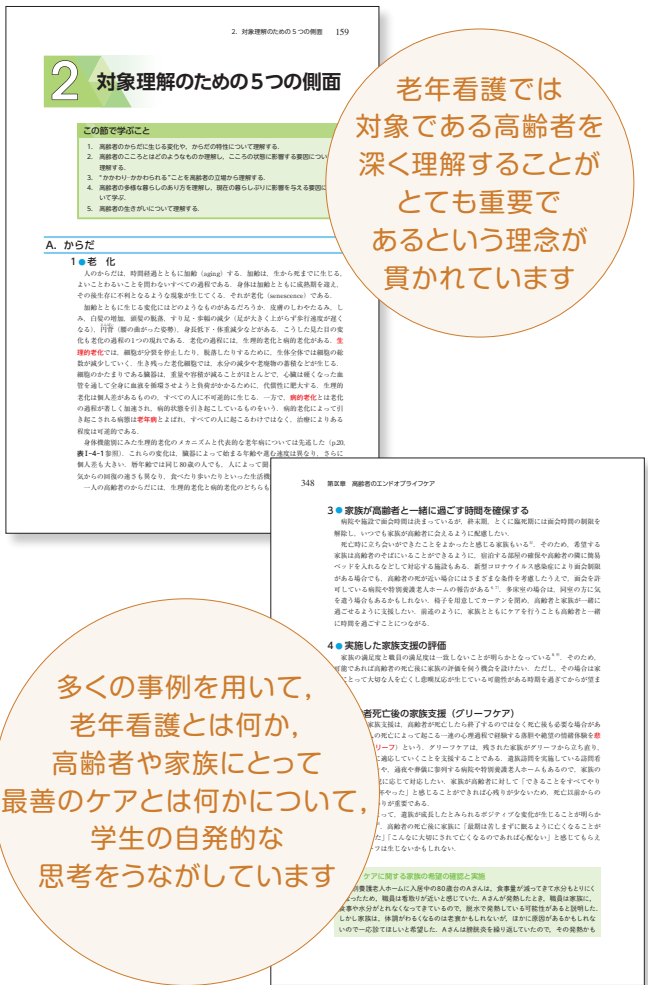
第X章 生かしながら生かされる地域づくり

1. 安全に安心して希望をもって暮らせる地域づくり
2. よりよい地域づくりのための多職種協働
3. 高齢者の地域づくりへの参画
4. 災害に備える

第XI章 老年看護学の課題

1. 米国のCNS・NPからみる今後の日本の看護師像
2. 老年看護学の教育・研究の発展

索引



多くの事例を用いて、
老年看護とは何か、
高齢者や家族にとって
最善のケアとは何かについて、
学生の自発的な
思考をうながしています

老年看護学技術

改訂第4版

最後までその人らしく生きることを支援する



編集 真田弘美 石川県立看護大学 正木治恵 千葉大学名誉教授

B5判・512頁 2023.3. ISBN978-4-524-23317-5 定価3,740円(本体3,400円+税10%)

改訂のポイント “看護の視点”を中心に据えた内容構成が好評のテキスト

- ▶ これからの老年看護においてますます重要になる「自立・自律に向けた支援」「セルフケア支援」に欠かせないウェルネスの視点の解説をいっそう充実させました。
- ▶ 高齢の心不全患者への支援の必要性が高まっていることから、第III章に「循環」の項目を、第V章に「慢性心不全」の事例を追加しました。

本書の特長

- ✓ 誰もが幸せに老いることのできる社会の実現を目指した老年看護のコンセプトをもとに、手技・手順よりも必要とされる視点に重点を置いています。
- ✓ 生活機能別(呼吸, 食事, 排泄など)に項目立てし、加齢に伴う変化や老年症候群を含めた障害を解剖・病態生理から学び、根拠をもってアセスメント・介入・予防・評価をする方法を解説しています。
- ✓ 代表的な疾患の事例を挙げ、機能障害だけでなく高齢者の潜在的な強みにも焦点をあて、“その人らしい生活”の実現・維持につなげる看護の展開を例示しています。

執筆

真田 弘美	石川県立看護大学	高井ゆかり	群馬県立県民健康科学大学
山本 則子	東京大学	仲上豪二郎	東京大学
卯野木 健	札幌市立大学	西山みどり	有馬温泉病院
貝谷 敏子	札幌市立大学	田高 悦子	北海道大学
田中 靖代	ナーシングホーム気の里	齋藤 君枝	千葉科学大学
東村 志保	湘南医療大学	谷口 好美	金沢大学
松本 勝	石川県立看護大学	平松 知子	金沢医科大学
大江 真琴	金沢大学	山田 正己	帝京科学大学
加藤真由美	金沢大学	正源寺美穂	金沢大学
勝野とわ子	岩手保健医療大学	糸井 和佳	帝京科学大学
須釜 淳子	藤田医科大学	吉田 俊子	聖路加国際大学
大桑麻由美	金沢大学	鈴木 峰子	群馬県立県民健康科学大学
川島 和代	石川県立看護大学	紺家千津子	石川県立看護大学
清水 詩子	新潟大学	赤瀬 智子	横浜市立大学
松本佐知子	日本赤十字看護大学	峰松 健夫	石川県立看護大学
田中 久美	筑波メディカルセンター病院	北村 言	石川県立看護大学
四谷 淳子	福井大学		

具体的な事例をもとに、“生きた看護”を学習することができます

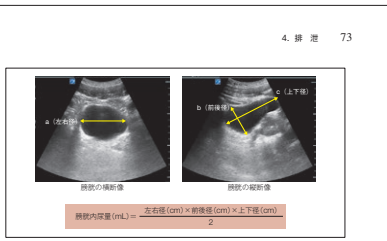


図4-6 エコーを用いた膀胱内容量の計測

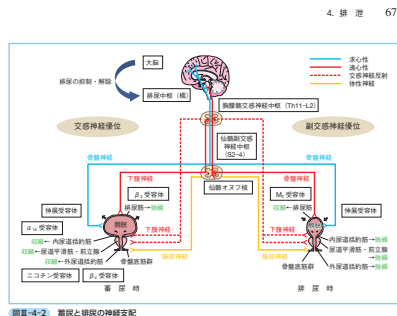


図4-2 膀胱と尿道の神経支配

2 ● 高齢者の下部尿路の特徴

a. 膀胱機能

老年期には、平滑筋細胞間の結合組織である膀胱筋線が増加し、膀胱筋の繊維化に伴う弾性の低下や萎縮によって、膀胱容量が減少する。高齢者の膀胱容量は250～400mLといわれる。また、膀胱収縮力の低下により、加齢に伴う膀胱容量の増加や最大膀胱容量の低下¹⁾が起こる(膀胱筋低活動, detrusor underactivity)。

b. 尿道機能

男性の場合は、加齢に伴い尿道が短縮し、最大尿道閉鎖圧²⁾が減少する。女性の場合は、加齢により横紋筋と血管成分が減少し、結合組織成分が増加するとともに尿管経路者において横紋筋線維の密度がより低下し、閉鎖後は尿道閉鎖圧が低下する。

c. 膀胱および尿道知覚

加齢に伴って膀胱尿路上皮における神経伝達物質の放出が増加し、膀胱の知覚過敏や排尿筋活動が生じる。これにより、排尿筋過活動 (detrusor overactivity) や過活動膀胱 (overactive bladder: OAB) が引き起こされる。

¹⁾ 膀胱容量は膀胱容量が50mL以上の場合は、膀胱収縮力の低下を示唆する。

²⁾ 最大尿道閉鎖圧は、尿道に閉鎖圧を及ぼす最大圧で、尿道の閉鎖圧を測定するための指標である。尿道の閉鎖圧は、尿道の閉鎖圧を測定するための指標である。

³⁾ 最大尿道閉鎖圧は、尿道に閉鎖圧を及ぼす最大圧で、尿道の閉鎖圧を測定するための指標である。尿道の閉鎖圧は、尿道の閉鎖圧を測定するための指標である。

主要目次

第I章 現代の高齢者とその理解

1. 高齢者の理解
2. 高齢者の看護

第II章 老年看護の基本技術——ヘルスアセスメント

1. ヘルスアセスメントとは
2. ヘルスアセスメントの実践

第III章 高齢者の生活と看護——加齢変化とフィジカルアセスメントの技術

1. 呼吸
2. 循環
3. 食事
4. 排泄
5. 動作と移動
6. 睡眠
7. 体温
8. 清潔
9. コミュニケーション
10. 性

第IV章 高齢者に特徴的な症状と看護——老年症候群

1. 起立・歩行障害
2. 感覚機能障害
3. 摂食・嚥下障害
4. 脱水
5. 低栄養
6. 皮膚掻痒感
7. 痛み
8. 褥瘡
9. 尿失禁
10. 便秘・下痢
11. 不眠
12. うつ
13. 寝たきり
14. せん妄
15. 転倒
16. 骨折
17. 感染症

第V章 高齢者に特徴的な疾患と看護——事例による展開

1. 急性期の看護(胃がん)
2. リハビリテーション看護(大腿骨頸部骨折)
3. 慢性期の看護(慢性閉塞性肺疾患)
4. 慢性期の看護(慢性心不全)
5. 認知機能障害の看護(アルツハイマー病)
6. 緩和ケア(大腸がん)
7. パーキンソン病の看護
8. 薬物療法を受ける高齢者の看護

第VI章 老年看護技術の新たな動向と課題

1. 感染症をめぐる新たな動向と課題
2. 老年看護の将来に向けた看護技術の動向

小児看護学 I 小児看護学概論

改訂第5版

子どもと家族に寄り添う援助

新刊



編集 二宮啓子 神戸市看護大学 今野美紀 札幌医科大学

B5判・424頁 2025.12. ISBN978-4-524-22332-9 定価3,850円(本体3,500円+税10%)

改訂のポイント 子どもの権利を尊重した看護実践能力を身につけるためのスタンダードなテキスト

- ▶ 前版『NiCe小児看護学 I 小児看護学概論・小児看護技術』を分冊化し、本書は「小児看護学概論」の巻として再編しました。
- ▶ 前版『NiCe小児看護学 II 小児看護支援論』にあった「状況別にみる子どもと家族の看護」を本書に移動し、子どもと家族を取り巻く状況から子どもの成長・発達・援助まで、小児看護の基礎知識を1冊にまとめました。
- ▶ 「小児医療における医療安全」を章立てし、充実させました。

本書の特長

- ✓ 小児を家族のなかの存在と位置づけ、小児と家族を中心とする看護を基本理念として、子どもの権利を尊重した援助が考えられるような内容としています。
- ✓ 小児をとり巻く社会や状況について最新の内容を盛り込んでいます。
- ✓ 「外来」「検査・処置」「在宅療養」など、小児看護を実践する13の状況を取り上げ、子ども・家族の特徴と看護について丁寧に解説しています。

執筆

二宮 啓子	神戸市看護大学	田畑 久江	札幌医科大学
今野 美紀	札幌医科大学	松森 直美	県立広島大学
岡田 弘美	東京医療保健大学	松岡 真里	三重大学
平田 美佳	順天堂大学	金泉志保美	群馬大学
佐藤 洋子	北海道文教大学	半田 浩美	周南公立大学
三國 久美	北海道医療大学	市原 真穂	千葉県立保健医療大学
福井 一之	前札幌大学	白石 裕子	東京工科大学
丸山 有希	関西福祉大学	萩岡あかね	ありず訪問看護神戸ステーション
廣瀬 幸美	三育学院大学	谷本 公重	香川大学
松浦 和代	札幌市立大学名誉教授	石島 詩保	千葉県こども病院
西野 郁子	千葉県立保健医療大学名誉教授	古谷佳由理	秀明大学
堀 妙子	京都橘大学	沢口 恵	和洋女子大学
服部 淳子	愛知県立大学	澤田いずみ	札幌医科大学
浅利 剛史	札幌医科大学	榎木野裕美	大阪信愛学院大学
横山 佳世	北海道文教大学	内 正子	神戸女子大学
横園 環	敦賀市立看護大学	間所 利恵	武蔵小杉森のこどもクリニック

主要目次

第 I 章 小児看護を実践するための基礎知識

- 1 小児看護とは 4
- 2 小児医療の変遷と現状 4
- 3 小児看護の変遷と現状 5

第 II 章 子どもの健康な生活を支える法・制度

- 1 子どもに関する保健統計 4
- 2 子どもと健康・福祉に関する政策と法・制度 5
- 3 子どもと健康増進のための社会資源の活用 5
- 4 子どもと教育と制度 5
- 5 学校保健 5

第 III 章 子どもの成長・発達の特徴と支援

- 1 子どもと成長・発達の基礎知識 4
- 2 新生児期の特徴と支援 4
- 3 乳児期の特徴と支援 5
- 4 幼児期の特徴と支援 6
- 5 学童期の特徴と支援 6
- 6 思春期の特徴と支援 6

第 IV 章 子どもに特徴的な症状と看護

- 1 いつもと違う 4
- 2 痛み 5
- 3 発熱 6
- 4 脱水 4
- 5 嘔吐 5
- 6 下痢 6
- 7 発疹 7
- 8 呼吸困難 8
- 9 けいれん 9

第 V 章 状況別にみる子どもと家族への看護

- 1 病気・障害のある子どもと家族への特徴 8
- 2 外来における子どもと家族への看護 9
- 3 検査・処置を受ける子どもと家族への看護 10
- 4 入院における子どもと家族への看護 11
- 5 手術を受ける子どもと家族への看護 12
- 6 薬物療法を受ける子どもと家族への看護 13
- 7 リハビリテーションにおける子どもと家族への看護 14
- 8 救急外来における子どもと家族への看護 8
- 9 集中治療を受ける子どもと家族への看護 9
- 10 活動制限が必要な子どもと家族への看護 10
- 11 隔離が必要な子どもと家族への看護 11
- 12 在宅療養する子どもと家族への看護 12
- 13 成人期に移行する子どもと家族への看護 13
- 14 終末期にある子どもと家族への看護 14

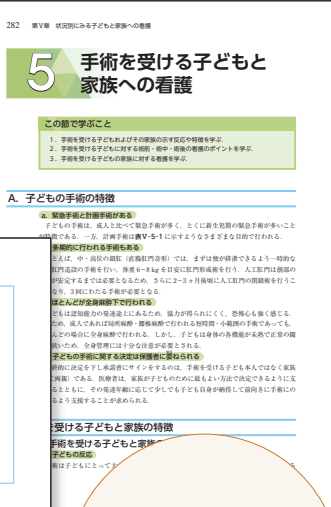
第 VI 章 健康問題を抱える子どもと家族への支援

- 1 身体障害のある子どもと家族への支援 4
- 2 発達障害のある子どもと家族への支援 4
- 3 心の問題を抱える子どもと家族への支援 4
- 4 虐待を受けた子どもと家族への支援 4
- 5 災害を受けた子どもと家族への支援 4

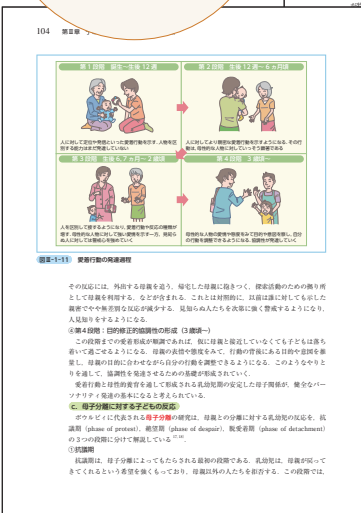
第 VII 章 小児医療における医療安全

- 1 子どもと成長・発達と事故 2
- 2 小児医療におけるインシデント 2
- 3 小児医療における感染管理 2

成長・発達の知識をわかりやすく解説



状況別の子どもと家族の特徴と援助を丁寧に解説



関連書籍のご紹介

病態・治療論 [14] 小児疾患 改訂第2版
 ISBN978-4-524-21024-4
 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

小児看護学Ⅱ 小児看護支援論

改訂第5版

病気・障害のある子どもと家族への看護

新刊



編集 今野美紀 札幌医科大学 二宮啓子 神戸市看護大学

B5判・472頁 2025.12. ISBN978-4-524-22334-3 定価3,960円(本体3,600円+税10%)

改訂のポイント 主な小児疾患を網羅しながら事例を通して小児看護を学べる実践的テキスト

- ▶ 発達段階別から器官・系統別の構成に再編し、疾患と看護をより体系的に学びやすくしました。
- ▶ 各章に第1節を新設し、当該章で扱う各器官・系統の主要疾患の病態および看護の全体像を概説しました。

本書の特長

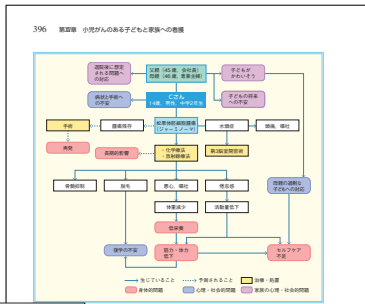
- ✓ 子どもに特徴的な疾患を器官・系統別にまとめ、主要な疾患を取り上げています。
- ✓ 疾患別の看護では、基本的な病態・治療の知識、看護の考え方を示したうえで、事例を挙げ、子どもと家族への看護を具体的に展開します。
- ✓ 治療・療養の経過と子ども・家族の課題をまとめた経過図や、事例の情報をもとめた情報関連図を用いて全体像をとらえます。

執筆

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 今野 美紀 札幌医科大学 | 二宮 啓子 神戸市看護大学 |
| 樋口伊佐子 大阪母子医療センター | 三上 孝洋 札幌医科大学附属病院 |
| 木下 笑香 広島市立広島市民病院 | 浅利 剛史 札幌医科大学 |
| 田畑 久江 札幌医科大学 | 薬師神裕子 愛媛大学 |
| 横山 佳世 北海道文教大学 | 松森 直美 県立広島大学 |
| 伊織 光恵 天徳大学 | 白岡 真里 三重大学 |
| 篠木 絵理 東京医療保健大学 | 松本 裕子 茨城キリスト教大学 |
| 森 浩美 緑が丘東保育園 | 倉田 慶子 湘南医療大学 |
| 廣瀬 幸美 三育学院大学 | 市原 真穂 千葉県立保健医療大学 |
| 倉科美穂子 長野県立こども病院 | 清水 千香 元神戸市看護大学 |
| 岡永真由美 岐阜県立看護大学 | 野村 佳代 防衛医科大学校 |
| 大森 裕子 岐阜県立看護大学 | 吉本 康子 札幌北楡病院 |
| 金泉志保美 群馬大学 | 澤田いずみ 札幌医科大学 |
| 志賀加奈子 日本赤十字北海道看護大学 | 野田 孝子 砂川市立病院附属看護専門学校 |
| 丸山 浩枝 神戸市立医療センター中央市民病院 | 白石 裕子 東京工科大学 |
| 山本 陽子 神戸市看護大学 | 楢木野裕美 大阪信愛学院大学 |

主要目次

- 序章 病気・障害のある子どもと家族への看護を学ぶにあたって
- 第1章 先天異常のある子どもと家族への看護
 - 1. 先天異常のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 口唇口蓋裂のある子どもと家族の看護
- 第2章 新生児疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 新生児疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 低出生体重児と家族への看護とは
 - 3. 呼吸窮迫症候群のある子どもと家族の看護
- 第3章 感染症にかかっている子どもと家族への看護
 - 1. 感染症にかかっている子どもと家族への看護とは
 - 2. 急性胃腸炎にかかっている子どもと家族の看護
- 第4章 呼吸器疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 呼吸器疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 肺炎のある子どもと家族の看護
 - 3. 声門下狭窄症、気管軟化症のある子どもと家族の看護
- 第5章 循環器疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 循環器疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 先天性心疾患のある子どもと家族の看護
 - 3. 川崎病のある子どもと家族の看護
- 第6章 消化器疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 消化器疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 直腸肛門奇形(鎖肛)のある子どもと家族の看護
 - 3. 食道閉鎖症のある子どもと家族の看護
 - 4. 腸重積症のある子どもと家族の看護
- 第7章 腎・泌尿器疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 腎・泌尿器疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 膀胱尿管逆流症のある子どもと家族の看護
 - 3. ネフローゼ症候群のある子どもと家族の看護
- 第8章 血液疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 血液疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 免疫性血小板減少症のある子どもと家族の看護
- 第9章 アレルギー疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. アレルギー疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 食物アレルギーのある子どもと家族の看護
 - 3. 気管支喘息のある子どもと家族の看護
 - 4. アトピー性皮膚炎のある子どもと家族の看護
- 第10章 免疫疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 免疫疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 若年性特発性関節炎のある子どもと家族の看護
- 第11章 内分泌・代謝性疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 内分泌疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 代謝性疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 3. 1型糖尿病のある子どもと家族の看護
- 第12章 脳・神経疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 脳・神経疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 二分脊椎(脊髄髄膜瘤)のある子どもと家族の看護
 - 3. 髄膜炎のある子どもと家族の看護
 - 4. 脳性麻痺のある子どもと家族の看護
 - 5. てんかんのある子どもと家族の看護
- 第13章 運動器疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 運動器疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 発育性股関節形成不全(股関節脱臼)のある子どもと家族の看護
 - 3. 骨折のある子どもと家族の看護
- 第14章 耳鼻咽喉疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 耳鼻咽喉疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 扁桃(咽頭扁桃、口蓋扁桃)肥大のある子どもと家族の看護
- 第15章 小児がんのある子どもと家族への看護
 - 1. 小児がんのある子どもと家族への看護とは
 - 2. 急性リンパ性白血病のある子どもと家族の看護
- 第16章 精神・行動・神経発達疾患のある子どもと家族への看護
 - 1. 精神・行動・神経発達疾患のある子どもと家族への看護とは
 - 2. 自閉スペクトラム症のある子どもと家族の看護
- 第17章 事故や虐待における子どもと家族への看護
 - 1. 事故で受診した子どもと家族への看護とは
 - 2. 熱傷を負った子どもと家族の看護
 - 3. 虐待を受けた子どもと家族の看護



具体的な事例を通して子どもの権利を尊重した看護実践能力が身につきます

人種・民族別	年齢・性別別	病態
● 先天性心疾患 ● 先天性胆道閉鎖症 ● 先天性腎不全 ● 先天性代謝異常(先天性代謝異常症、先天性免疫不全症、先天性免疫不全症、先天性免疫不全症)	● 小児がん ● 小児白血病 ● 小児淋巴瘤 ● 小児骨肉腫 ● 小児軟骨肉腫 ● 小児骨肉瘤 ● 小児軟骨肉瘤 ● 小児骨肉瘤 ● 小児軟骨肉瘤	● 呼吸器疾患 ● 循環器疾患 ● 消化器疾患 ● 泌尿器疾患 ● 血液疾患 ● アレルギー疾患 ● 免疫疾患 ● 内分泌・代謝性疾患 ● 脳・神経疾患 ● 運動器疾患

関連書籍のご紹介

病態・治療論 [14] 小児疾患 改訂第2版
ISBN978-4-524-21024-4
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

小児看護学Ⅲ 小児看護技術

改訂第5版

子どもと家族の力を引き出す技

新刊



監修 二宮啓子 神戸市看護大学

今野美紀 札幌医科大学

B5判・288頁

2025.12. ISBN978-4-524-22336-7

編集 田畑久江 札幌医科大学

金丸 友 千葉県立保健医療大学

定価3,300円(本体3,000円+税10%)

改訂のポイント 子どもの力を引き出し、処置やケアへの主体的参加に向けた看護を学べるテキスト

- ▶ 前版「NiCE小児看護学Ⅰ 小児看護学概論・小児看護技術」を分冊化し、本書は「小児看護技術」の巻として再編しました。
- ▶ 第Ⅲ章「子どもと家族のセルフマネジメントを促す技術」を新設しました。
- ▶ 新たに12本の動画を収載しました。

本書の特長

- 臨場で必要となる技術を精選し、それらの技術を安全で安楽に実施する方法、そのために必要な解剖・生理、成長・発達知識を項目ごとにまとめています。
- 各技術項目につき、Skill表を掲載。「アセスメント」「実施」「副作用・合併症と対応」「記録・報告」の各工程において、根拠やポイント、注意点を示しています。
- Skill表の末尾には「子どもの主体的参加を促す技術」「親の参加を促す技術」を盛り込み、子どもと家族を中心に据えた看護のポイントを学べます。

執筆

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 田畑 久江 札幌医科大学 | 金丸 友 千葉県立保健医療大学 |
| 松浦 和代 札幌市立大学名誉教授 | 湯口 梓 千葉大学医学部附属病院 |
| 吉川由希子 金沢医科大学 | 米山 雅子 杏林大学 |
| 岡崎 裕子 大阪信愛学院大学 | 丸山 浩枝 神戸市立医療センター中央市民病院 |
| 橋本ゆかり 三重県立看護大学 | 石川 紀子 和洋女子大学 |
| 橋爪 永子 元鈴鹿医療科学大学 | 長田 泉 大東文化大学 |
| 宮谷 恵 聖隷クリストファー大学 | 野中 淳子 神奈川県立保健福祉大学名誉教授 |
| 半田 浩美 周南公立大学 | 佐々木めぐみ 札幌保健医療大学 |
| 西田 志穂 共立女子大学 | 中田 諭 聖路加国際大学 |
| 西野 郁子 千葉県立保健医療大学名誉教授 | |
| 今野 美紀 札幌医科大学 | |
| 佐川 雅世 北海道立子ども総合医療・療育センター | |

主要目次

第Ⅰ章 コミュニケーション技術、アセスメント技術

1. コミュニケーション
2. 健康歴の聴取
3. 全身状態の把握
4. バイタルサイン
5. 身体計測
6. プレパレーション

第Ⅱ章 検査・処置技術

1. 採血
2. 採尿・導尿
3. 咽頭・鼻腔培養
4. 骨髄穿刺・腰椎穿刺
5. 与薬
6. 吸引
7. 酸素療法
8. 抑制

第Ⅲ章 子どもと家族のセルフマネジメントを促す技術

1. セルフモニタリング技術
2. セルフケア技術

第Ⅳ章 日常生活援助技術

1. 食事の援助技術①
2. 食事の援助技術②—経管栄養
3. 清潔・衣生活の援助技術
4. 排泄の援助技術
5. 呼吸の援助技術—先天的な障害や病気により特別なニーズのある子ども
6. 移動の援助技術
7. 環境調整の技術

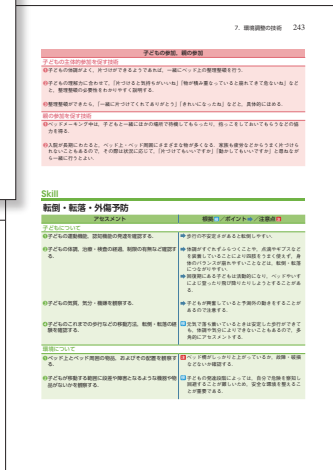
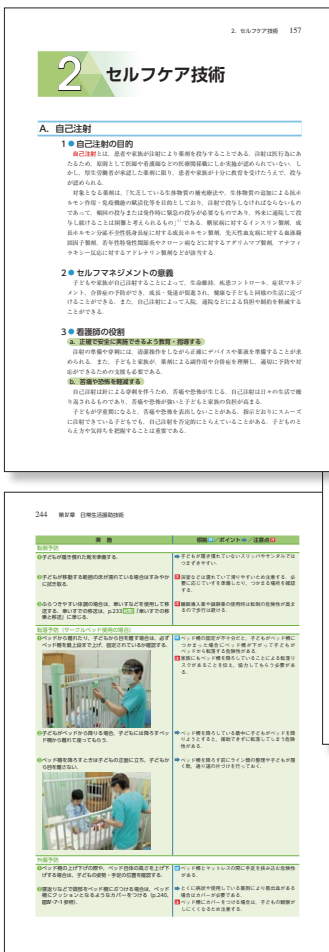
第Ⅴ章 救急救命処置技術

1. 一次救命処置
2. 二次救命処置

関連書籍のご紹介

病態・治療論 [14] 小児疾患 改訂第2版

ISBN978-4-524-21024-4 定価3,520円(本体3,200円+税10%)



母性看護学 I

概論・ライフサイクル



生涯を通じた性と生殖の健康を支える

新刊

改訂第4版

編集 齋藤いずみ 神戸大学名誉教授

長谷川ともみ 富山大学

三隅順子 秀明大学

B5判・328頁 2025.12. ISBN978-4-524-22338-1 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

改訂のポイント 生涯を通じた性と生殖の健康を支えるための看護の基盤をつくるテキスト

- ▶ 「ジェンダー」および「性自認と性的指向」について、第1章第3節「母性看護学の基盤となる理論と概念」に組み込み節を再構成しました。
- ▶ 第II章に第3節「性に関する教育の動向」を新設し、「包括的性教育」や「プレコンセプションケア」などを盛り込みました。
- ▶ 第III章では、「こども家庭庁の発足」「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行」「出生時育児休業(産後パパ育休)制度の創設」などの新たな情報を追加し、解説しました。

本書の特長

- ✓ 「生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護」を行うために必要な幅広い基礎知識が身につきます。
- ✓ 母子保健統計、社会資源、倫理、国際化から少子高齢化、女性の多様な生き方、不妊、DV、虐待まで、現代社会の課題にもふれ、母性看護を総合的にとらえる視点を育みます。
- ✓ 女性のライフサイクルのなかで発生しやすい性と生殖の健康問題を取りあげ、事例に盛り込み、ウェルネスの視点で看護過程を展開します。

執筆

齋藤いずみ 神戸大学名誉教授
長谷川ともみ 富山大学
三隅 順子 秀明大学
廣山奈津子 東京科学大学
家吉 望み 帝京大学
日高 庸晴 宝塚大学
齊藤佳余子 富山大学
大田えりか 聖路加国際大学
小林絵里子 富山県立大学

西川 美樹 鳥取看護大学
清水 清美 城西国際大学
齋藤 真希 名古屋大学
岩崎 三佳 神戸大学
大滝 千文 京都大学
中根 直子 日本赤十字社医療センター
本岡 夏子 神戸大学
二宮 早苗 大阪医科大学
三川 香里 富山大学

主要目次

第1部 母性看護学の基盤

第1章 母性看護学の概念

1. 母性看護学とは
2. 家族とは
3. 母性看護学の基盤となる理論と概念
4. 根拠に基づく母性看護の実践
5. 母性看護にかかわる主な職種と連携

第II章 性をとりまく社会と現状

1. 社会的・心理的特性からみた性
2. 統計からみる性をとりまく社会の現状
3. 性に関する教育の動向

第III章 母子保健統計と母子保健施策

1. 母子保健統計の理解
2. 母子にかかわる法律と母子保健施策
3. 周産期医療体制

第IV章 生殖に関する形態機能とライフサイクル

1. 性周期と生命のはじまり
2. 遺伝
3. 性分化のメカニズム
4. 生殖器の形態と機能

第V章 性と生殖をめぐる倫理的課題

1. 性と生殖をめぐる倫理的課題とは
2. 専門職として高い倫理性を育成する

第VI章 国際化の中での母性看護の役割

1. 異なる文化的背景をもつ女性・妊娠産婦への看護
2. 母子保健における国際協力

第2部 生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護

第VII章 女性のライフサイクルと健康支援

1. 女性のライフサイクルの全体像
2. 思春期
3. 成熟期
4. 更年期
5. 老年期

第VIII章 性と生殖の健康を支える看護技術

1. 情報収集・ヘルスアセスメントの技術
2. 母性看護における看護過程

第IX章 事例で学ぶウェルネス・アプローチでの看護の実践

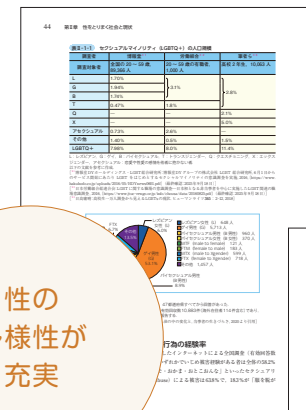
1. 女性のライフサイクルの事例
- A. 思春期の事例 B. 成熟期の事例 C. 更年期の事例 D. 老年期の事例

関連書籍のご紹介

病態・治療論 [13] 産科婦人科疾患 改訂第2版
ISBN978-4-524-21038-1 定価3,630円(本体3,300円+税10%)

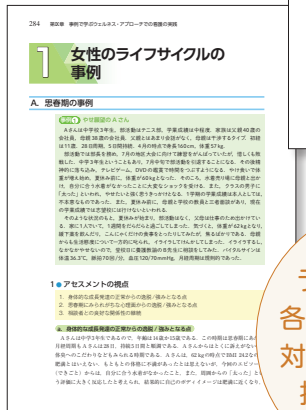
根拠がわかる母性看護過程
根拠がわかる母性看護技術

P45に詳細情報がございます。詳しくはそちらをご確認ください。



対象者の強みを
引き出す
ウェルネスな
思考を重視

性の
多様性が
充実



ライフサイクル
各期に多い課題に
対する看護過程を
掲載し、実践的

精神看護学Ⅰ

こころの健康と地域包括ケア

現代に生きる人々のこころの健康を支える



改訂第3版

編集 萱間真美 国立看護大学校 稲垣 中 青山学院大学

B5判・254頁 2022.1. ISBN978-4-524-22781-5 定価2,640円(本体2,400円+税10%)

！ 改訂のポイント 精神看護学を学ぶ上で基盤となる知識をまとめたテキスト

- ▶ 先生方から多くのご要望をいただいた「精神保健」(第Ⅲ章3), 「心の発達」(第Ⅲ章1, 2)の記述を強化しました。
- ▶ 「地域」の視点や「多職種連携」の記述を充実させました(第Ⅰ章4)

🔍 本書の特長

- ✔ 精神看護学Ⅰは、精神看護の基礎を学ぶ内容となっています。
- ✔ 現代に生きる人々を支える看護職として、人々の精神の健康に影響を及ぼす現代の社会状況や社会病理について知り、精神看護の目標や看護職の役割を学びます。
- ✔ 一般病棟における精神看護の対象者への看護実践について、「バイオ(生物学的)・サイコ(心理学的)・ソーシャル(社会的)」モデルを活用して事例展開しています。

✍ 執筆

稲垣 中	青山学院大学	吉浜 文洋	元佛科大学
萱間 真美	国立看護大学校	牛島 定信	市ヶ谷ひもろぎクリニック/ 東京慈恵会医科大学
西 大輔	東京大学	村方多鶴子	福岡県立大学
吉田 光爾	東洋大学	長谷川雅美	富山福祉短期大学
澤野 文彦	公益財団法人復康会沼津中央病院	馬場 香里	東京都医学総合研究所
渡邊 忠義	社会医療法人あさかホスピタル	三森 寧子	千葉大学
津川 律子	日本大学	小高 恵実	上智大学
吉尾 隆	公益財団法人住吉偕成会住吉 病院/昭和大大学附属鳥山病院	小山 達也	聖路加国際大学
寒河江豊昭	山形県立米沢栄養大学	神 美樹	聖路加国際大学
相川 章子	聖学院大学	青木 裕見	聖路加国際大学
鷹尾 和顕	前社会福祉法人 つばめ福祉会	山本 朝美	公益財団法人 浅香山病院
麻場 英聖	公益財団法人復康会沼津中央病院	瀬戸屋 希	聖路加国際大学
増子 徳幸	一般社団法人てとて リンク よこはま訪問看護ステーション	白井 教子	北里大学病院
		高橋 恵子	埼玉県立大学
福嶋 好重	横浜市立市民病院	福宮 智子	昭和大大学病院/昭和大大学
野田 文隆	大正大学名誉教授	綿谷 恵子	筑波大学附属病院
吉川 隆博	東海大学	瀬尾 智美	千葉大学医学部附属病院
宮本 有紀	東京大学	二宮 未稀	千葉大学医学部附属病院

📖 主要目次

第Ⅰ章 精神看護はどんな活動か

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 1. こころの健康と必要な支援 | 5. 社会とのかかわりを理解する |
| 2. 現代社会とこころの健康 | 6. 精神医療の歴史的変遷 |
| 3. 看護師は何をするのか—精神看護の目標と役割 | 7. 人権を守るために—精神看護における
基本的人権と倫理的配慮 |
| 4. 地域包括ケアと多職種連携 | |

第Ⅱ章 精神保健医療福祉と制度

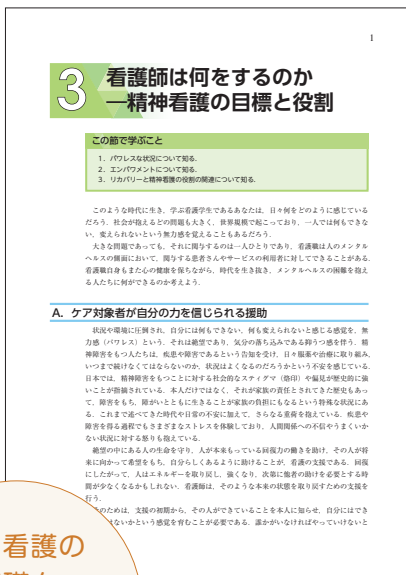
- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 精神保健医療福祉に関する法と制度 | |
| 1-1. 精神科医療にかかわる法律 | 1-4. 社会病理にかかわる法律 |
| 1-2. 精神障害者の福祉にかかわる法律 | 1-5. その他の法律 |
| 1-3. 精神保健にかかわる法律 | |
| 2. 精神医療福祉の現状と課題 | 3. 精神の健康に関する普及啓発活動 |

第Ⅲ章 こころの発達と精神保健

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. こころのなりたち | 2. 対象関係論からみたこころの発達 |
| 3. 発達段階別にみる発達課題と精神の健康 | |
| 3-1. 発達理論と発達課題 | 3-4. 思春期から青年期の精神の健康 |
| 3-2. 周産期の精神の健康 | 3-5. 成人期の精神の健康 |
| 3-3. 乳幼児期から学童期の精神の健康 | 3-6. 老年期の精神の健康 |

第Ⅳ章 一般病棟における精神看護

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 事例から学ぶ一般病棟での精神看護 | |
| 1-1. 身体症状症、病気不安症 | 1-6. 拒否・拒絶 |
| 1-2. 睡眠障害・不眠 | 1-7. 幻覚妄想 |
| 1-3. 不安 | 1-8. せん妄 |
| 1-4. 抑うつ | 1-9. 拘禁反応・症状 |
| 1-5. 怒り | 1-10. 看護師のメンタルヘルス |
| 2. リエソン精神看護とは | |



精神看護の
基礎を
わかりやすく
学べます

📖 関連書籍のご紹介

病態・治療論 [12] 精神疾患 改訂第2版
ISBN978-4-524-20469-4
定価2,530円(本体2,300円+税10%)

精神看護学Ⅱ

地域・臨床で活かすケア

対象者の力を引き出し支える



改訂第3版

編集 萱間真美 国立看護大学校 稲垣 中 青山学院大学

B5判・382頁 2022.1. ISBN978-4-524-22782-2 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

改訂のポイント 豊富な具体例とともに精神看護学の実習で活用できる内容をまとめたテキスト

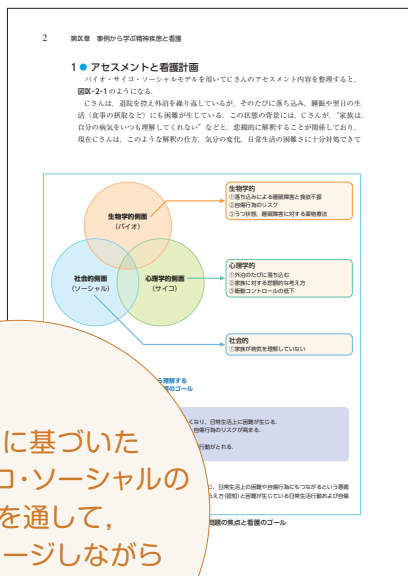
- ▶「地域」の視点の強化として、「精神科訪問看護」(第VIII章4-4)を充実させ、地域における精神看護実践の事例(第IX章8, 9)を追加しました。
- ▶対象者のアセスメントに用いられる理論・概念(第VI章5)に「レジリエンス」を追加しました。

本書の特長

- 精神看護学Ⅱは、精神看護の実践を学ぶ内容となっています。
- 「バイオ(生物学的)・サイコ(心理学的)・ソーシャル(社会的)」の視点を軸に、精神看護の対象者にトータルにアプローチしています。
- 精神疾患患者への看護実践について、「バイオ・サイコ・ソーシャル」モデルを活用して事例展開しています。

執筆

稲垣 中	青山学院大学	菊地 俊暁	慶應義塾大学
滝上 紘之	慶應義塾大学	宮本 有紀	東京大学
山本 暢朋	国立病院機構 榊原病院	野田 賀大	慶應義塾大学
久保健一郎	東京慈恵会医科大学	木村 沙織	NTT東日本関東病院
加藤 英生	慶應義塾大学	大竹真裕美	社会医療法人一陽会一陽会病院
尾久 守侑	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	田村 法子	慶應義塾大学
野崎 昭子	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	藤澤 大介	国立がん研究センターがん対策 研究所/慶應義塾大学
中川 敦夫	聖マリアンナ医科大学	岡田 佳詠	国際医療福祉大学
天野 瑞紀	慶應義塾大学	根本 友見	国際医療福祉大学
野上 和香	慶應義塾大学	船越 明子	神戸市看護大学
西 大輔	東京大学	藤井 千代	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
阿部 晃子	慶應義塾大学	林 亜希子	訪問看護ステーションメンタル名古屋
片山奈理子	慶應義塾大学	半澤 節子	元自治医科大学
宗 未来	東京歯科大学市川総合病院	遠藤 直子	国立看護大学校
大橋 明子	元聖路加国際大学	木戸 芳史	浜松医科大学
石井 歩	医療法人社団助会吉祥寺病院	渡邊 忠義	社会医療法人あさかホスピタル
福島 鏡	元聖路加国際大学	永井真理子	東京大学医学部附属病院
後藤 優子	医療法人社団君水会長谷川病院	米倉 一磨	NPO法人 相対に新しい精神科医療 保健福祉システムをつくる会 相馬 広域こころのケアセンターなごみ
岡本 典子	医療法人社団リリア訪問看護 ステーション スマイルリラ	角田 秋	東京有明医療大学
大熊 恵子	東京医療保健大学	河野 伸子	横須賀共済病院
秋山 美紀	武蔵野大学	寺岡征太郎	帝京大学
長田 洋和	帝京平成大学	笹井 美香	日黒区健康推進部
瀬戸屋 希	聖路加国際大学		



臨床事例に基づいた
バイオ・サイコ・ソーシャルの
関連図を通して、
概念をイメージしながら
理解できます

主要目次

第V章 精神を病む人はどんな状態を示すのか

1. 精神症状とはなんだろう
2. 現症・状態像を理解しよう

第VI章 対象を理解するための考え方

1. 生物学的側面から理解する一脳の構造・機能
2. 生物学的側面からアプローチする検査
3. 生物学的側面から理解する一精神疾患と診断基準
 - 3-1. 精神疾患と診断基準
 - 3-2. 主な精神疾患
4. 精神看護におけるアセスメントの特徴
5. アセスメントに用いられる主な理論

第VII章 心理・社会的側面の検査

1. 心理学的側面からアプローチする検査
2. 社会機能・家族機能を測る尺度

第VIII章 治療・ケア・支援の方法

1. 生物学的側面からアプローチする治療・ケア・支援
2. 心理学的側面からアプローチする治療・ケア・支援
3. 精神看護におけるさまざまな技法
4. 社会的側面からアプローチする治療・ケア・支援
 - 4-1. 当事者のリカバリーに向けた社会復帰・社会参加の基本と働きかけ
 - 4-2. 地域での自立・統合への支援
 - 4-3. 地域における精神障害者のニーズと行政等との協働
 - 4-4. 精神科訪問看護
 - 4-5. 多職種によるアウトリーチ(訪問支援)
5. 安全管理(セーフティマネジメント)

第IX章 事例から学ぶ精神疾患と看護

1. 統合失調症
 - 1-1. 急性期の統合失調症
 - 1-2. 在宅における慢性期の統合失調症
2. 気分障害
 - 2-1. うつ病
 - 2-2. 双極性障害
3. 強迫症/強迫性障害
4. パニック症/パニック障害
5. アルコール使用障害(アルコール依存)
6. 摂食障害
7. パーソナリティ障害
8. ひきこもり
9. 児童虐待

関連書籍のご紹介

病態・治療論 [12] 精神疾患 改訂第2版
ISBN978-4-524-20469-4
定価2,530円(本体2,300円+税10%)

災害看護

改訂第4版

看護の専門知識を統合して実践につなげる



編集 酒井 明子 福井大学名誉教授/日本災害看護学会副理事長 増野 園恵 兵庫県立大学教授

B5判・408頁 2023.2. ISBN978-4-524-23165-2 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

改訂のポイント 災害看護の基礎を学ぶ「総論」と看護専門領域別に学ぶ「各論」の2部構成が好評のテキスト

- ▶ 近年の災害状況も踏まえ、災害対策・法制度、災害看護の考え方など全面的にアップデートしました。
- ▶ 災害時の在宅療養者への支援の必要性が高まっていることから、第VIII章に「在宅看護と災害」の節を新設しました。

本書の特長

- ✓ 第1部 総論では、災害の種類・疾病構造や災害サイクル、また災害サイクル別の実践的看護が体系的に理解できます。
- ✓ 第2部 各論は、教育で活用しやすいよう領域別に解説しています。
- ✓ 応用的な考えを育むよう、オリジナルの演習問題も掲載しています。

執筆

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 山本 捷子
酒井 明子
野口真智子
奥寺 敬
橋本真由美
高田 明也
千葉 真也
上田 耕蔵
清水 蒼子
湯井恵美子
増野 園恵
小原真理子
丸谷 浩明
木村 拓郎
酒井 彰久
高以良 仁
今井 家子
後藤由美子
村井 雅清
鈴木智恵子
前田 潤
小野村順子
竹原 歩
山崎 達枝
三浦 京子
西村美喜子
窪田 直美
南利 孝文 | 元福岡女学院看護大学
福井大学名誉教授/日本災害看護学会副理事長
元宮崎県小林保健所
富山大学附属病院
福島県立医科大学
南相馬市立総合病院附属小高診療所
神奈川県中央児童相談所
神戸協同病院
福井大学
一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
兵庫県立大学地域ケア開発研究所
京都看護大学
東北大学災害科学国際研究所
一般社団法人被災復興支援機構
福井大学
国立病院機構災害医療センター
今井災害看護研究所
国立病院機構災害医療センター
被災地NGO協働センター
佐賀大学
室蘭工業大学
元つくば市役所
兵庫県立はりま姫路総合医療センター
四天王寺大学
元国立病院機構災害医療センター
元医療法人社団坂梨会阿蘇温泉病院
公立丹南病院
西原村役場 | 江上 純子
中川 美樹
本間 正人
永井 幸寿
千島佳也子
小笠原智子
福田 淑江
江津 繁
野原 正美
及川 節子
宮崎美砂子
佐藤 咲恵
三澤 寿美
松岡 幸代
茅野 幸給
高橋 由美
菅間 真美
尾山とし子
川田 美和
川見 智恵
繁田 里美
佐久間由美
大野かおり
宇田 優子
三橋 睦子
大迫ひとみ
夢田 文子
中村 明世 | 熊本市教育委員会
熊本市立熊本市市民病院
鳥取大学
アンサー法律事務所
国立病院機構本郷厚生労働省DMAT事務局
令和がわ病院/日本医科大学付属病院
日本看護連盟
国立病院機構埼玉病院
東北福祉大学
イムス明理会山台総合病院
元千葉大学
陸前高田市
元東北福祉大学
甲南女子大学
元兵庫県立大学
山台青葉学院短期大学
国立看護大学校
日本赤十字北海道看護大学
兵庫県立大学
福井大学
元福井大学
聖隷三方原病院
兵庫県立大学
新潟医療福祉大学
国際医療福祉大学
兵庫県立尼崎総合医療センター
福井県
奈良県立医科大学附属病院 |
|---|--|---|---|

実践を意識しながら学習を進めることができます

1. 災害サイクル各期における看護活動

2. 災害看護の実際を写真とともに伝えるコラム「現場発」

主要目次

第1部 総論

第1章 災害および災害看護に関する基礎的知識

1. 災害・災害看護の歴史
2. 災害・災害看護の定義
3. 災害の種類、疾病構造、災害サイクル、災害関連死
4. 要配慮者
5. 災害における連携

第2章 災害発生時の社会的対応やくみ

1. 災害に関する制度—災害対策基本法・災害救助法・防災計画など
2. 災害情報と伝達のしくみ
3. 災害関係各機関の支援体制
4. 災害時のボランティア活動

第3章 災害時の被災者および援助者の心理

1. 被災者および援助者が抱えるストレスとその過程
2. 被災者および援助者のこころのケア

第4章 災害各期における看護活動

1. 災害サイクル各期における看護活動
2. 避難所・応急仮設住宅・災害公営住宅における看護

第5章 災害時に必要な技術

1. トリアージ
2. 治療・搬送

第6章 病院における災害看護

1. 病院における災害への備え、災害訓練
2. 病院における災害時の初動体制

第7章 災害看護における倫理・教育・理論

1. 災害看護における倫理原則
2. 災害看護における教育
3. 災害看護における理論

第2部 各論

第VIII章 対象別にみた災害看護の実践

1. 地域看護と災害
2. 母性看護と災害
3. 小児看護と災害
4. 高齢者看護と災害
5. 精神看護と災害
6. 慢性看護と災害
7. 在宅看護と災害
8. 感染看護と災害

先生のおこえ

- ➡ 災害が生命や生活に及ぼす影響、災害時に必要な技術について、写真や図をまじえてわかりやすく解説されている。
- ➡ 事例やコラムなどで看護師の具体的な実践活動が紹介されているので、学習意欲や関心を高めることができる。

新版 看護管理学

一人ひとりが拓く看護のリーダーシップ



編集 秋山智弥 日本看護協会／名古屋大学 奥 裕美 聖路加国際大学
B5判・252頁 2026.1. ISBN978-4-524-21564-5 定価3,300円(本体3,000円+税10%)

本書の特長

- ✓ 「リーダーシップ」の概念を中心に据え、編集しています。
- ✓ “看護管理者としての”リーダーシップにとどまらず、組織における一人ひとりの役割と相互支援の力としてリーダーシップをとらせ、その育成と実践への応用を目指す内容となっています。
- ✓ 各項目の冒頭に事例を提示し、エピソードをもとに学生が看護管理学をより身近に感じられ、学習の動機づけにつながるよう工夫しました。
- ✓ 第1～II章ではリーダーシップとマネジメントの基本的な考え方や、その基盤となる制度・概念を解説しています。
- ✓ 第III～VI章では、看護を提供するための仕組みや組織づくり、そして組織形成後に人材を配置・育成し、機能を活性化させるまでの流れにおいて、看護管理者だけでなく組織のメンバーとしてどうかかわるかを学びます。
- ✓ 第七章では、目標管理や危機時の対応など、看護の質向上・維持に必要な手段や考え方について、豊富な事例をもとに解説しました。

執筆

秋山 智弥	日本看護協会／名古屋大学	藤井 晃子	名古屋大学医学部附属病院
奥 裕美	聖路加国際大学	吉江 悟	一般社団法人
藤野 泰平	株式会社デザインケア／みんなのかりつけ訪問看護ステーション	佐々木菜名代	Neighborhood Care
別府 千恵	北里大学病院	三谷千代子	浜松医科大学医学部附属病院
友納 理緒	参議院議員／土肥法律事務所	村岡 修子	虎の門病院
前田 哲兵	前田・鶴之沢法律事務所	西田 和美	NTT東日本関東病院
加藤 明子	加藤看護師社労士事務所	松浦 正子	国立循環器病研究センター
伊藤 智美	名桜大学	浅田 美和	大阪信愛学院大学
林田 賢史	東京大学	秋山 直美	聖路加国際病院
西田 朋子	日本赤十字看護大学	内海 桃絵	名古屋市立大学
川添 高志	ケアプロ株式会社	美代 賢吾	京都府立医科大学
小玉 淑巨	北里大学	吉田 るみ	国立健康危機管理研究機構
梶山 早苗	名古屋大学医学部附属病院	高井今日子	システム基盤整備局
			石巻赤十字病院
			町田市民病院

主要目次

序章 看護管理を学ぶ

第1章 看護におけるリーダーシップとマネジメント

- 1 クリティカルシンキングと意思決定・問題解決する力
- 2 リーダーシップとマネジメント
- 3 地域包括ケア時代に求められる現代のリーダーシップ

第II章 リーダーシップとマネジメントの基盤となる倫理・法律・権利擁護

- 1 臨床の倫理と組織の倫理
- 2 看護にかかわる法制度
- 3 権利擁護

第III章 看護を届けるための仕組みを作る

- 1 看護を提供する組織の目的・目標を明確にする
- 2 組織としての看護提供を計画する
- 3 時間を計画的に使う(タイムマネジメント)
- 4 財政の計画と診療報酬・介護報酬
- 5 キャリアの計画と発達

第IV章 看護を届ける組織を作り、動かす

- 1 組織の構造を理解する
- 2 看護管理者の役割と責任
- 3 ケアの組織化

第V章 看護を届ける人材を配置し育成する

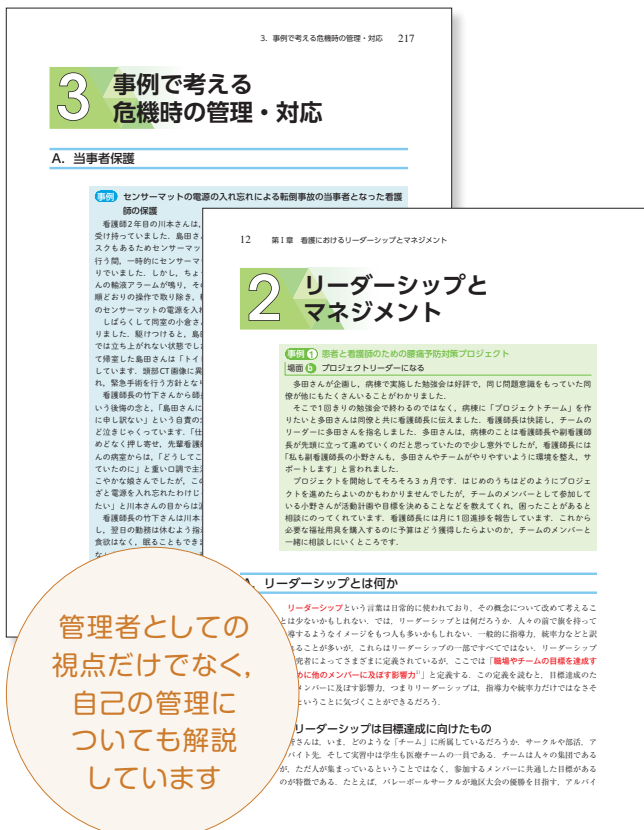
- 1 看護職の採用
- 2 勤務計画、労務管理、配置管理
- 3 スタッフの教育

第VI章 看護を届ける組織・チームの機能を引き出す

- 1 働きたくなる職場環境
- 2 効果的なコミュニケーション
- 3 権限委譲
- 4 コンフリクトマネジメント、ネゴシエーション

第VII章 医療・看護の質を維持・向上させる

- 1 看護における質の保証と改善
- 2 業績評価
- 3 事例で考える危機時の管理・対応



医療安全

改訂第2版

多職種でつくる患者安全をめざして



編集 山内豊明 放送大学/名古屋大学名誉教授 荒井有美 北里大学病院/北里大学
B5判・248頁 2024.3. ISBN978-4-524-20434-2 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

改訂のポイント 49の事例をとおり、臨床で起こりやすいエラーと医療安全の取り組みを実践的に学べるテキスト

- ▶ 全国的な医療安全の取り組みとして「医療事故調査制度」について新たに項目を設けました。
- ▶ 「心理的安全性」や「レジリエンス」など近年のトピックスを盛り込みました。
- ▶ 事故・ヒヤリハット事例は最新の医療安全情報を参考に追加・差し替えを行いました。

本書の特長

- ✓ インシデントやアクシデントにつながる根本原因とその対策について、基本的な知識が身に付くよう編集しています。
- ✓ 医療安全はチームや組織として取り組むことが大事であるという考えのもと、第III章の節立てを工夫しました。
- ✓ 第IV章の事例は、「医療安全情報(日本医療評価機構)」で発信されている医療事故情報やヒヤリ・ハット事例を参考にしています。

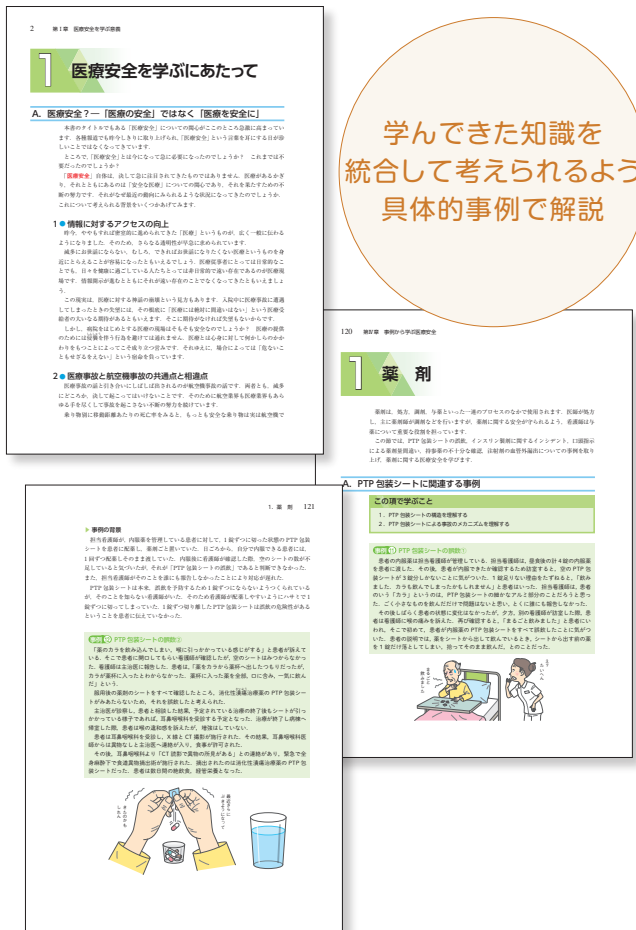
執筆

山内 豊明	放送大学/ 名古屋大学名誉教授	坂口 美佐	公益財団法人 日本医療機能評価機構
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院	荒井 有美	北里大学病院/北里大学
小松 康宏	板橋中央総合病院	長嶋 光樹	今金町国保病院
河野龍太郎	自治医科大学名誉教授/ (株)安全推進研究所	今泉 和子	東京都済生会向島病院
種田憲一郎	国立保健医療科学院	佐々木久美子	医療法人社団 直和会・ 社会医療法人社団 正志会本部
春田 良雄	公立陶生病院	綿引 哲夫	東海大学
山元 恵子	富山福祉短期大学	力石 陽子	日本赤十字看護大学
島山 和人	金城学院大学	武 俊夫	昭和大学病院
小池 朋孝	北里大学病院	東條 圭一	北里大学病院
森安 恵実	北里大学病院	寺井美峰子	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院	筒井 和恵	名古屋大学医学部附属病院
住谷 剛博	日本福祉大学		

主要目次

- 第I章 医療安全を学ぶ意義
 - 1. 医療安全を学ぶにあたって
- 第II章 医療安全の基本
 - 1. 医療安全の基本
- 第III章 個人・チーム・組織としての医療安全
 - 1. 個人としての医療安全への取り組み
 - 2. 多職種連携およびチームによる医療安全への取り組み
 - 3. チームのなかの医療安全 ①呼吸療法サポートチーム(RST)
 - 4. チームのなかの医療安全 ②栄養サポートチーム(NST)
 - 5. チームのなかの医療安全 ③感染対策チーム(ICT)
 - 6. チームのなかの医療安全 ④ラビッドレスポンスチーム(RRT)
 - 7. 医療機関における医療安全への取り組み
 - 8. 地域における医療安全への取り組み
 - 9. 全国的な医療安全への取り組み
- 第IV章 事例から学ぶ医療安全
 - 1. 薬剤
 - 2. 輸血
 - 3. 治療・処置
 - 4. 医療機器・医療材料の使用・管理
 - 5. ドレーン・チューブ類の使用・管理
 - 6. 検査
 - 7. 療養上の世話
 - 8. 誤認

学んできた知識を統合して考えられるよう 具体的事例で解説



感染看護学

患者の健康と権利を守り安全に看護を実践する



編集 操 華子 静岡県立大学 川上和美 川崎市立看護大学

B5判・276頁 2022.1. ISBN978-4-524-22978-9 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- すべての看護実践の基盤となる「感染予防」の視点で、看護実践の考え方を学ぶテキストです。感染予防策をなぜ、どのように、いつ講じるのかなど、状況に応じて根拠を踏まえながら考える力を養うことを意識して編集しています。
- 第1～V章では、基礎看護学や専門基礎科目(微生物学、感染症学、免疫学)の既習知識をおさらいします。
- 第VI章では、新型コロナウイルス感染症においてフォーカスされた、感染症に伴って生じる倫理的課題について考えます。
- 第VII章では、さまざまな病棟・領域・状況における特徴的な感染予防上の問題・課題を整理したうえで、具体的な事例をふまえた感染看護の実際を展開しています。
- 第VIII～IX章で、ベッドサイドでの“個”に対する感染看護にとどまらず、病棟や施設単位での感染管理についても学ぶことができます。

執筆

- 操 華子 静岡県立大学
前田ひとみ 熊本保健科学大学
Judith F. English Certified in Infection Control emeritus
石松 伸一 聖路加国際病院
府川真理子 医療法人勝又高台病院
菅原真優美 新潟青陵大学
青山 恵美 愛知医科大学
齋藤 潤栄 医療法人隆仁会 納病院
杉村きよ美 静岡済生会総合病院
今西 亮 丸子中央病院
川上 和美 川崎市立看護大学
- 菊地 義弘 宮城県立がんセンター
小野 和代 東京科学大学病院
石田恵充佳 東京科学大学病院
石橋 理絵 愛育病院
田中 範佳 川崎市立看護大学
久保田早苗 順天堂大学医学部附属順天堂医院
光延 智美 静岡県立こども病院
楳信 憲明 広島国際大学
横山 久美 順天堂大学
西條 美恵 石巻赤十字病院
鍋谷 佳子 大阪大学

主要目次

- 序章 感染看護学を学ぶにあたって
- 第I章 感染症をめぐる歴史と現状
1. 感染症と人類の歩み
 2. 現代社会における感染症をめぐる課題
- 第II章 感染の基礎知識と感染症
1. 感染とは
 2. 現代における主な感染症
- 第III章 感染症と法制度
1. 感染症に関する法の変遷と感染症法
 2. 日本における感染症にかかわる医療体制
 3. 公衆衛生と感染症
- 第IV章 感染予防策の実施における考え方
1. 感染予防のための基本的な考え方
 2. 感染予防のための基本技術
- 第V章 感染予防における多職種連携
1. 施設内での多職種連携
 2. 地域との連携
- 第VI章 感染看護と倫理
1. 倫理と人権
 2. 感染症に伴う倫理的課題
- 第VII章 さまざまな状況における感染看護の実際
1. 一般病棟における感染看護の実際
 - 1-1 一般入院患者
 - 1-2 易感染状態の患者
 - 1-3 隔離予防策実施中の患者
 2. 外来における感染看護の実際
 3. 救急外来における感染看護の実際
 4. 集中治療領域における感染看護の実際
 5. 周産期領域・NICUにおける感染看護の実際
 6. 手術室における感染看護の実際
 7. 人工透析室における感染看護の実際
 8. リハビリテーション室における感染看護の実際
 9. 小児科病棟における感染看護の実際
 10. 精神科病棟における感染看護の実際
 11. 在宅(訪問看護)における感染看護の実際
 12. 高齢者介護施設における感染看護の実際
 13. 災害時の感染看護の実際
 14. 感染症患者が亡くなったとき
- 第VIII章 感染管理と看護
1. 感染管理プログラム(感染管理活動)とは
 2. 感染管理はどのように行われるか
- 第IX章 感染管理プログラム展開の実際
1. 院内の感染管理体制の構築・維持のための活動(サーベイランス)
 2. エビデンスに基づく実践(EBP)
 3. アウトブレイク時の感染管理

関連書籍のご紹介

新刊

基礎から学ぶ医療関連感染対策(改訂第4版)

P47に詳細情報がございます。詳しくはそちらをご確認ください。



家族看護学

臨床場面と事例から考える

改訂第3版



編集 山崎あけみ 大阪大学 原 礼子 慶應義塾大学名誉教授

B5判・316頁 2022.3. ISBN978-4-524-22929-1 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 「家族」を分析の単位として理解できるよう、理論や技法を事例を用いて解説したテキスト

- ▶ 今版よりオールカラー化し、視覚的にもよりわかりやすく見やすい紙面となりました。
- ▶ 初学者がより理解しやすいよう、家族看護実践のための理論や考え方(第1章～第3章)の構成・内容を見直しました。
- ▶ 家族看護過程の展開(第V章)は、事例数を10に増やして充実させました。

本書の特長

- ✓ 「家族」を分析の単位として理解し看護実践ができるよう、具体的な臨床場面を多数例示しながら、家族看護に関するさまざまな理論や概念をわかりやすく解説しています。
- ✓ 「家族の全体像」「目標とする健康な家族像に向けての看護方針」を整理・理解しやすいよう、ジェノグラム・エコマップを多数掲載しています。
- ✓ 豊富なコラムをとおり、多様な家族をさまざまな側面から見つめる視点を養います。

事例による家族看護実践の展開をとおり、理論や概念をどのように活用してどのように介入するのかを学ぶことができます。

執筆

新垣ナジルタミエ 長野県伊那市役所	原 礼子 慶應義塾大学名誉教授
安藤 藍 千葉大学	針金佳代子 札幌保健医療大学
池田 真理 東京大学	引地 充 希望ヶ丘ホスピタル
石川ふみよ 上智大学	武用 百子 大阪大学
伊藤 正俊 NPO法人から・ころセンター	本間 裕子 武庫川女子大学
緒倉 珠巳 ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン	真継 和子 大阪医科薬科大学
川原 妙 大阪大学	松村ちづか 前武蔵野大学
菊池 良太 大阪大学	松本 和史 東京医療保健大学
北 素子 東京慈恵会医科大学	松本 啓子 香川大学
後藤 佳苗 一般社団法人あたご研究所	三隅 順子 秀明大学
近藤 真理 With ゆう 流産・死産・新生児死等子どもを亡くした家族の会	矢田 浩明 NPO法人コレクティブハウジング社
澤田いずみ 札幌医科大学	山崎あけみ 大阪大学
田代麻里江 日本福音自由教会クライストコミュニティ	山本 則子 東京大学
田中 宝紀 NPO法人青少年自立援助センター	吉江 悟 Neighborhood Care
津村 明美 横浜子どもホスピスプロジェクト	吉田 滋子 東京大学
中村 伸一 中村心理療法研究室	Laurel L. Northouse ミシガン大学
	Lixin Song ノースカロライナ大学
	Marsha Aizumi Our Family Coalition

主要目次

序章 家族看護をはじめて学ぶ

第1章 家族看護学における対象理解

1. 発達する家族
2. システムとしての家族
3. 家族を理解するポイント
4. 家族像の形成

第2章 家族看護過程に用いる考え方(理論, モデル, 概念)

1. 健康な家族についての考え方
2. 家族の力を引き出すのに役立つ考え方
3. 代表的な家族アセスメントモデル

第3章 家族看護過程: 家族の健康を引き出す看護過程

1. 家族看護過程とは
2. 家族看護過程の展開

第4章 家族を取り巻く社会的・文化的背景

1. 日本人と家族
2. 現代日本の家族
3. 在宅療養者と家族

第5章 事例で学ぶ家族看護過程の実践

1. 配偶者からの暴力被害者と家族の看護: DVのスクリーニングと被害者の支援
2. 医療的ケア児を在宅に迎える家族への看護: 社会資源を取り入れた家族資源の再構築を目指す
3. 小児生体肝移植における患者と家族への看護: 家族の凝集性を回復する
4. 教育期にあるうつ病患者と家族の看護: 家族システムの再構築を支える
5. 教育期にある脳腫瘍患者と家族の看護: 家族の生活の構造に変容を促す
6. がん治療のため入院している在留外国人と家族の看護: 文化の違いを理解して信頼関係を構築し、支える
7. 高次脳機能障害と共に生きる患者・家族の看護: 外来において家族の適応を促す
8. 意思決定過程にあるがん患者と家族の看護: 意思決定の葛藤を支える
9. 認知症高齢者を介護する家族の看護: 家族内二一歩の競合調整と生活リズムの安定化を促す
10. 完結期にある虚弱高齢者と家族の看護: 在宅での看取りにおける意思の揺れを支える

第6章 家族看護実践に役立つ研究

1. 家族看護における研究の特徴・課題
2. 研究計画の方法
3. 家族看護における研究の実例



多くの関連図を掲載

「家族」単位で看護する視点を養います

先生のこえ

- ➔ 家族の関係を表した図、家族と地域社会の関係を表した図などが随所に掲載されていて、学生の「家族看護」についての理解に役立っている。
- ➔ さまざまな理論が具体的な事例を通して解説されている。理論と実践のつながりが学生にもわかりやすい構成となっている。

看護教育学

看護を学ぶ自分と向き合う

改訂第3版



編集 グレグ美鈴 名城大学

池西悦子 大阪医科薬科大学

B5判・324頁 2024.2. ISBN978-4-524-20424-3 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護教育全般をわかりやすくコンパクトにまとめたテキスト

- ▶ 「ダイバーシティとインクルージョン」の節を新設。学習者の視点から多様性や包摂について理解が深められます。
- ▶ 時勢をふまえ、看護教育における「ICTを活用した学習」について解説した節を新設。
- ▶ 全面カラー化により、より見やすい紙面になりました。

本書の特長

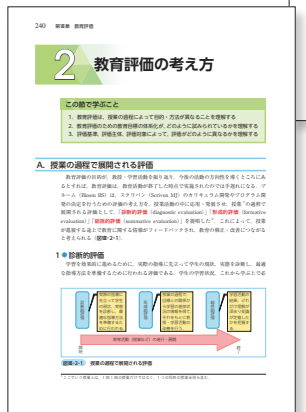
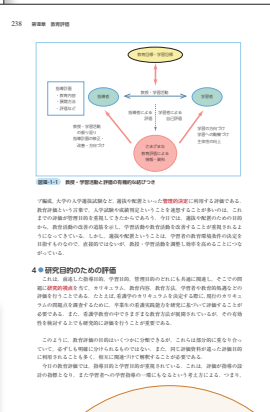
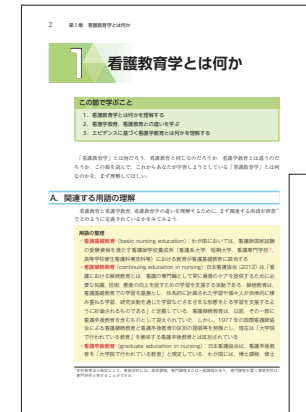
- ✓ “看護を学ぶ自分と向き合い、看護師として、また一社会人として、自ら生涯にわたって成長できる素地を培う”という方針で編集。第IV章「看護学教育の基盤」にはそのエッセンスが詰まっています。
- ✓ 看護師になるにあたり、看護職の専門職性や、看護職がどのような制度・教育の基に成り立っているか理解できるよう構成。
- ✓ 看護学生や看護師が学習する者として「教育」について知っておくという観点から、カリキュラムや学習理論・学習方法、教育評価等についても解説しています。

執筆

グレグ美鈴	名城大学	安酸 史子	日本赤十字北海道看護大学
奥井 幸子	岡山県立大学名誉教授	塚本 友栄	自治医科大学
橋本麻由里	岐阜県立看護大学	佐々木幾美	日本赤十字看護大学
田村 由美	日本赤十字広島看護大学	朝倉ストレンベック由紀	
高橋みや子	元宮城大学		アドベントヘルス・パーカー病院
田中 響	鳥取看護大学	Joan Kathy Magilvy	コロラド大学名誉教授
近田 敬子	鳥取看護大学名誉学長	Vicki Erickson	コロラド大学名誉教授
林 千冬	神戸市看護大学		竹熊カツマタ麻子
牧本 清子	大阪大学名誉教授		静岡県立大学
中岡亜希子	神戸女子大学		聖アンソニー看護大学
池西 悦子	大阪医科薬科大学		松谷美和子
北川 明	順天堂大学		聖路加国際大学名誉教授
和賀 徳子	元東京医療学院大学		
北得美佐子	東京医療保健大学		

主要目次

- 第I章 看護教育学とは何か
 - 1. 看護教育学とは何か
- 第II章 専門職としての看護
 - 1. 専門職とは何か
 - 2. 実践の学問としての看護学
 - 3. 多職種連携教育 (IPE)
- 第III章 看護教育制度
 - 1. 看護制度・看護教育制度の歴史の変遷
 - 2. 看護教育制度の現状
 - 3. 准看護師制度問題
- 第IV章 看護学教育の基盤
 - 1. アイデンティティ
 - 2. クリティカルシンキング
 - 3. リフレクション
 - 4. キャリアマネジメント
 - 5. 自己主導型学習
 - 6. ダイバーシティとインクルージョン
- 第V章 カリキュラム
 - 1. カリキュラム開発
 - 2. カリキュラムデザイン
 - 3. カリキュラム評価
- 第VI章 学習理論と学習方法
 - 1. 学習理論
 - 2. 学習方法
 - 3. ICTを活用した学習
- 第VII章 臨地実習における教育と学習
 - 1. 教育的ケアリングモデル・経験型実習教育
 - 2. 看護学生が直面しやすい問題：臨地実習を通して
- 第VIII章 教育評価
 - 1. 教育評価とは何か
 - 2. 教育評価の考え方
 - 3. 看護学教育での評価の実際
- 第IX章 欧米における看護学教育
 - 1. 米国における看護学教育
 - 2. 英国における看護学教育



難しい
教育的概念には
本文を補足する図を
適宜掲載しました

看護関係法規

改訂第3版

新刊



看護職の責任と法的根拠を学ぶ

編集 田中幸子 東京慈恵会医科大学 野村陽子 名寄市立大学名誉教授/新見公立大学

B5判・342頁 2025.12. ISBN978-4-524-27388-1 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

改訂のポイント 看護業務にかかわりの深い法・制度を網羅し、「看護の視点」から解説したテキスト

- ▶ ヤングケアラーに関する支援の法制化や、「薬機法」「自殺対策基本法」など、法・制度の改正・改定について最新の情報に基づきアップデートを行いました。
- ▶ 「子ども性暴力防止法」など、ここ数年で新たに施行された法・制度について項目を新設しました。
- ▶ 「インフォームド・コンセント」について新たに項目を設け、その成り立ちや看護とのかかわりについて解説しました。
- ▶ 全面カラー化により、より見やすい紙面になりました。

本書の特長

- ✓ 看護師免許をもつ看護系大学の教員が中心となり編集・執筆し、「看護師に必要な関係法規」を看護の視点から解説しています。
- ✓ 法や制度の成立過程やその意義、看護職や看護実践にどのようにかかわるのかを解説した、「看護職のための」関係法規の教科書です。

執筆

野村 陽子 名寄市立大学名誉教授 朝居 朋子 藤田医科大学
/新見公立大学 亀井美和子 帝京平成大学
宮坂果麻理 朝日大学 加藤 典子 獨協医科大学
酒井美絵子 武蔵野大学 池田 真理 東京大学
田中 幸子 東京慈恵会医科大学 大野 正博 朝日大学
小澤 隆一 東京慈恵会医科大学名誉教授 田中 淳子 愛知学院大学

主要目次

第1章 看護関係法規を学ぶにあたって

- 1 なぜ看護に関する法規を学ぶのか
- 2 法および関連する規範の概念
- 3 社会の基盤にある法・制度

第2章 医療提供体制の基本となる法・制度を理解する

- 1 医療提供体制に関する法・制度を理解する
- 2 医療従事者の資格・業務に関する法・制度を理解する
- 3 社会保険制度に関する法・制度を理解する
- 4 臓器移植法および人の死に関する法・制度を理解する

第3章 薬剤に関する法・制度を理解する

- 1 医薬品の取り扱いに関する法・制度を理解する
- 2 薬害被害者の救済に関する法・制度を理解する

第4章 地域で看護を提供する際に必要な法・制度を理解する

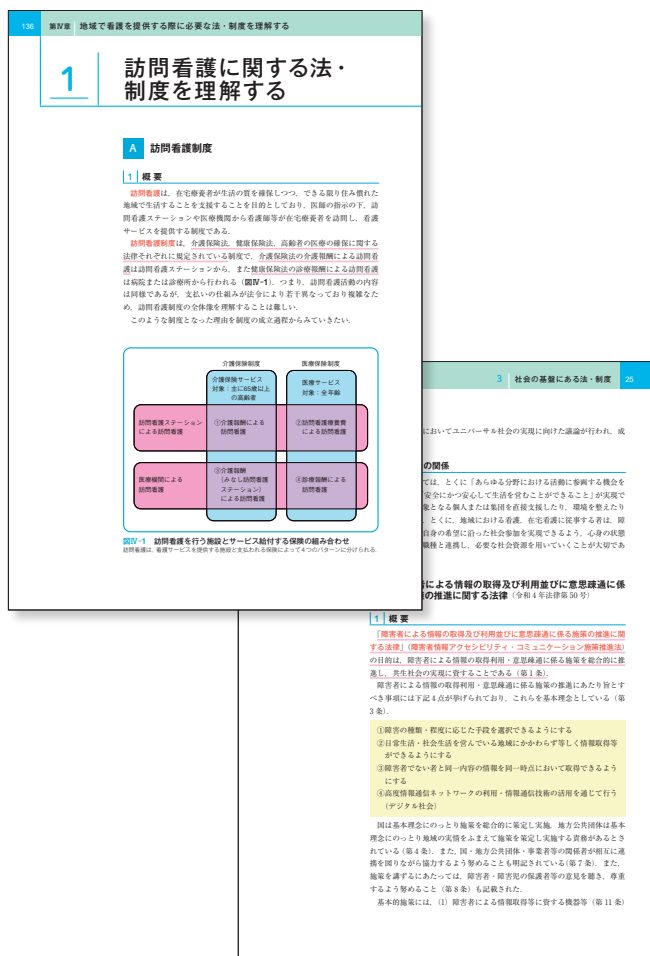
- 1 訪問看護に関する法・制度を理解する
- 2 健康の保持・増進に関する法・制度を理解する
- 3 疾病対策に関する法・制度を理解する
- 4 社会保障・社会福祉制度を理解する
- 5 災害時の医療に関する法・制度を理解する

第5章 労働者として労働に関する法・制度を理解する

第6章 政策と立法を理解する

第7章 看護業務と法・制度のかかわりを知る

- 1 看護業務に係る法的責任を理解する
- 2 臨床で重要となる法判断—判例を通して考える



看護と研究 根拠に基づいた実践

Evidence-based Practice(EBP)



編集 西垣昌和 国際医療福祉大学

B5判・176頁 2023.8. ISBN978-4-524-24864-3 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

本書の特長

- ✓ 根拠に基づいた看護実践(EBP)のために必要な考え方と思考スキルを身に付けることができる、まったく新しい教科書。
- ✓ 第II章でEBPのステップを丁寧に解説し、第III章では実際の研究論文を題材に臨床疑問から文献探索、研究結果の解釈・吟味、臨床実践への適用までの流れを例示しています。
- ✓ 第IV章には、EBPに必要とされる情報リテラシーや、論文を読み解くために必要となる基礎的な統計知識、研究デザインの解説を掲載。

執筆

西垣 昌和 国際医療福祉大学
山川みやえ 大阪大学
矢山 壮 関西医科大学
徳永 友里 杏林大学
三條真紀子 国際医療福祉大学
白石 三恵 大阪大学
落合 亮太 横浜市立大学

主要目次

第I章 根拠に基づいた実践(EBP)の概要を知る

1. 根拠に基づいた実践(EBP)とは

第II章 根拠に基づいた実践(EBP)の5つのステップを学ぶ

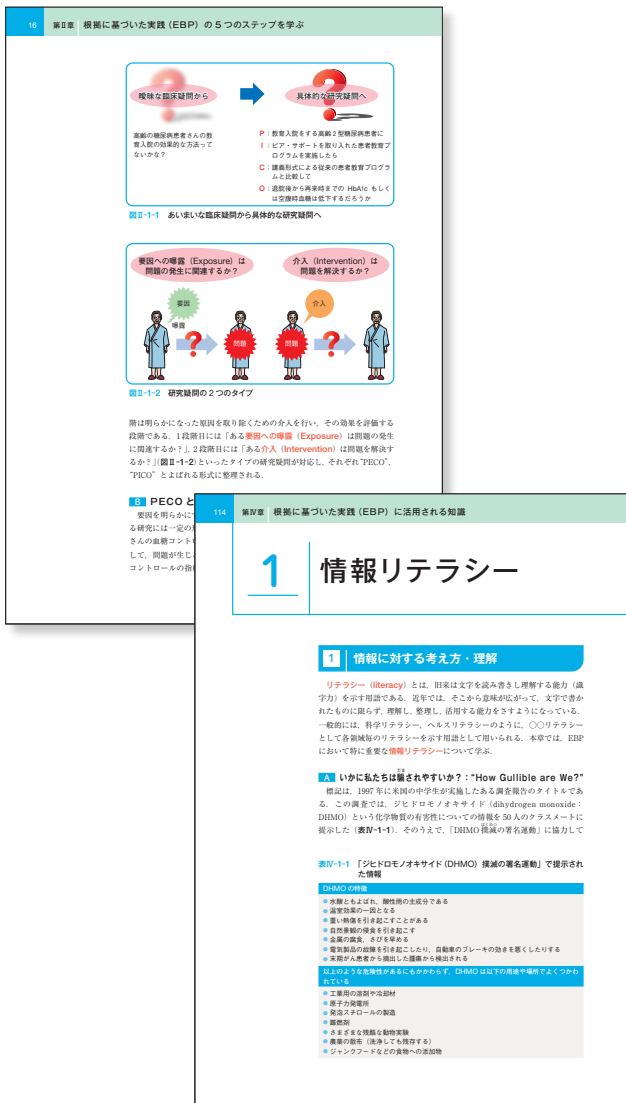
1. 課題・疑問を形式化する
2. エビデンスを入手する
3. 文献を吟味する
4. 研究結果を適用し実施する
5. 実施結果(アウトカム)を評価する
6. 研究をする:エビデンスを「つくる」

第III章 さまざまな研究方法の文献(論文)を読む

1. 横断研究
2. ケースコントロール研究
3. 後ろ向きコホート研究
4. 前後比較研究
5. ランダム化比較試験(RCT)
6. システマティックレビュー
7. ケーススタディ
8. 内容分析
9. グラウンデッド・セオリー・アプローチ
10. 現象学的研究

第IV章 根拠に基づいた実践(EBP)に活用される知識

1. 情報リテラシー
2. 基本的な統計の知識
3. 研究デザイン・研究方法の紹介



NiCE病態・治療論 シリーズ

■シリーズの紹介

- 「NiCE病態・治療論」シリーズは、**専門基礎分野**において疾病の**病態・診断・治療を学ぶ**ための教科書です(全14巻、ラインナップは次頁参照)。
- 医師と看護師が共同で編集**することで、**看護学生に必要な知識**という視点で編集されています(※第11巻除く)。
- 各巻は「第1章 機能と障害」「第2章 診断・治療」「第3章 疾患各論」を基本構成としています。
- 看護師国家試験出題基準**に記載の疾病や検査・治療方法について**網羅**しています。

■シリーズの特長

- 単に病態・治療の知識を学ぶだけの教科書ではなく、その後に学ぶ看護学や実習につながる学びとなるよう、次の3点を重視して構成しています。

- ①**機能・構造の障害から症状を理解**できる
- ②**診断・治療の進め方・考え方がわかる**
- ③**病態に伴う合併症や治療の副作用、治療経過や予後、退院支援・患者教育の知識**が得られる

[7] 腎・泌尿器疾患より

8 診断

どのような症状から疑われるか
前述のとおり、古典的3主徴が知られる
で発見されることが多い。

診断の進め方・確定診断の方法
腎がんの場合、特異的な血液検査はない。エコー検査やCT検査などの画像検査を行い診断する。

どのような症状からその疾患が疑われるのか、患者をアセスメントする際の視点が得られます。

[6] 血液・造血器疾患より

治療効果・予後

約2年の治療期間を要し、その内約6~8ヵ月は入院治療となる。急性Eに影響を与える因子を表III-2~3に示す。最も予後に影響を与えるのはM3となる。M3以外の若年成人AML症例全体の5年無再発生存率は、約40%は、70~80%以上と良好である。一方、若年成人ALLでは造血幹細胞移植例を含め、約30%である。Ph染色体陽性ALLでは、チロシンキナーゼ阻害剤を組み合わせることで、近年、予後の改善が得られてきている。

治療経過や予後は、看護計画や患者への説明のための重要な情報です。

- 学生の興味関心を引く**囲み記事**として、「臨床で役立つ知識」、知識を掘り下げる「もう少しくわしく」、その他のさまざまな情報をまとめた「コラム」を豊富に掲載しています。

■シリーズの改訂を進めています

- 改訂第2版では、「**看護**」を学ぶ節を新たに設けます(一部の巻を除く)。臨床看護への橋渡しとして、各巻で学ぶ病態・治療に特徴的な看護をテーマごとに概説します。

改訂済み

- | | | |
|-------------|-------------------|----------------------|
| 【1】病態・治療総論 | 【6】血液・造血器疾患 | 【12】精神疾患 |
| 【2】呼吸器疾患 | 【7】腎・泌尿器疾患 | 【13】産科婦人科疾患 |
| 【3】循環器疾患 | 【8】脳・神経疾患 | 【14】小児疾患 |
| 【4】消化器疾患 | 【9】運動器疾患 | 2026年秋改訂予定 |
| 【5】内分泌・代謝疾患 | 【10】感染症/アレルギー/膠原病 | 【11】皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患 |

【1】病態・治療総論 改訂第2版

編集 石松 伸一(聖路加国際病院)
林 直子(聖路加国際大学)
鈴木 久美(大阪医科薬科大学)

B5判・328頁 2025.3. ISBN978-4-524-21139-5
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【2】呼吸器疾患 改訂第2版

編集 石原 英樹(八尾徳洲会総合病院)
竹川 幸恵(大阪はびきの医療センター)

B5判・260頁 2024.2. ISBN978-4-524-20479-3
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【3】循環器疾患 改訂第2版

編集 八尾 厚史(東京大学)
落合 亮太(筑波大学)

B5判・352頁 2024.12. ISBN978-4-524-21023-7
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【4】消化器疾患 改訂第2版

編集 津田 泰宏(大阪医科薬科大学)
鈴木 久美(大阪医科薬科大学)

B5判・352頁 2025.1. ISBN978-4-524-21091-6
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【5】内分泌・代謝疾患 改訂第2版

編集 能登 洋(聖路加国際病院)
林 直子(聖路加国際大学教授)

B5判・264頁 2025.2. ISBN978-4-524-21195-1
定価2,860円(本体2,600円+税10%)

【6】血液・造血器疾患 改訂第2版

編集 小川 吉明(東海大学)
横田 弘子(東海大学医学部付属病院)

B5判・240頁 2025.7. ISBN978-4-524-21397-9
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【7】腎・泌尿器疾患 改訂第2版

編集 竹田 徹朗(獨協医科大学埼玉医療センター)
鈴木 和浩(群馬大学)
岡 美智代(群馬大学)

B5判・276頁 2024.2. ISBN978-4-524-20478-6
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【8】脳・神経疾患 改訂第2版 新刊

編集 川上 徳昭(川上脳神経外科クリニック)
綿貫 成明(国立看護大学校)

B5判・352頁 2025.11. ISBN978-4-524-21854-7
定価3,300円(本体3,000円+税10%)

【9】運動器疾患 改訂第2版

編集 土井田 稔(岩手医科大学)
秋山 智弥(名古屋大学医学部附属病院)

B5判・264頁 2025.2. ISBN978-4-524-21399-3
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【10】感染症/アレルギー/膠原病 改訂第2版 新刊

編集 竹末 芳生(知多半島りんくう病院) 佐野 統(医仁会武田総合病院)
一木 薫(兵庫医科大学病院) 東 直人(兵庫医科大学)

B5判・352頁 2026.3. ISBN978-4-524-21463-1
定価3,300円(本体3,000円+税10%)

【11】皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患

編集 片山 一朗(大阪市立大学) 阪上 雅史(兵庫医科大学)
五味 文(兵庫医科大学) 岸本 裕充(兵庫医科大学)

B5判・382頁 2019.8. ISBN978-4-524-23752-4
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【12】精神疾患 改訂第2版

編集 加藤 温(国立国際医療研究センター病院)
森 真喜子(国立看護大学校)

B5判・240頁 2024.1. ISBN978-4-524-20469-4
定価2,530円(本体2,300円+税10%)

【13】産科婦人科疾患 改訂第2版

編集 百枝 幹雄(愛育病院)
山中美智子(聖路加国際病院)
森 明子(湘南鎌倉医療大学)

B5判・456頁 2025.1. ISBN978-4-524-21038-1
定価3,630円(本体3,300円+税10%)

【14】小児疾患 改訂第2版

編集 真部 淳(北海道大学) 小澤 美和(聖路加国際病院)
松藤 凡(三井物産株式会社) 小林 京子(聖路加国際大学)

B5判・444頁 2024.11. ISBN978-4-524-21024-4
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

生化学



著 石堂一巳 徳島文理大学

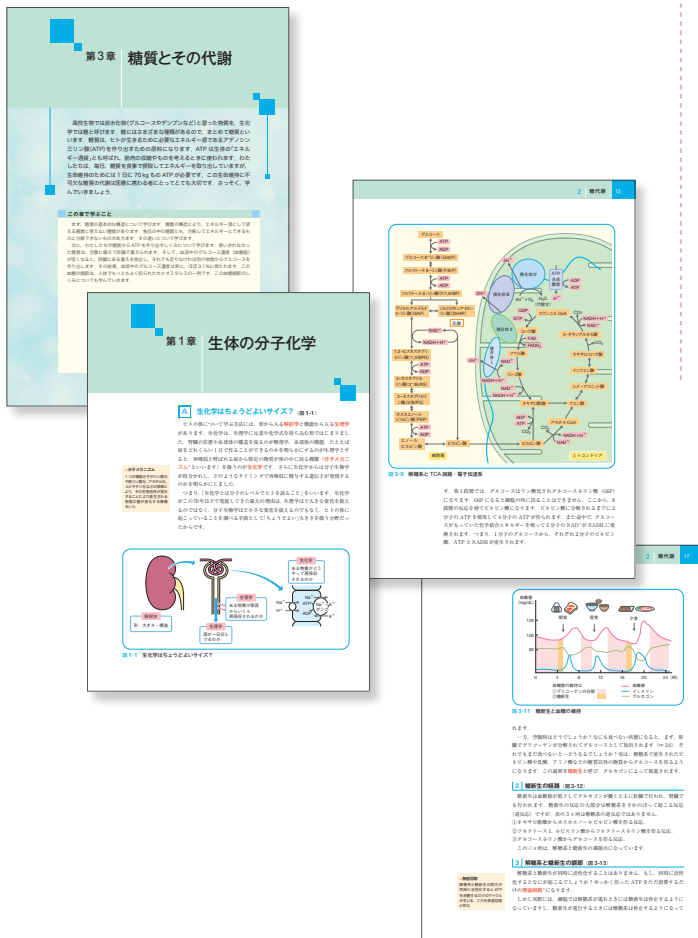
B5判・168頁 2022.1. ISBN978-4-524-22839-3 定価2,420円(本体2,200円+税10%)

本書の特長

- ✓ 看護学生にとって“難しい”イメージのある生化学を、わかりやすく、興味をもって学べるよう、様々な工夫をしています。
- ✓ 各章の冒頭に「導入」を設けています。高校までの知識の振り返りや、身近な題材とのつながりから、学習内容への関心を引き出します。
- ✓ 「導入」の後に「この章で学ぶこと」を設けています。章全体のストーリーを知ることができ、全体像をイメージしながら読むことができます。
- ✓ 視覚的に理解できるよう、わかりやすく工夫された図を数多く掲載しています。
- ✓ 学生の興味・関心を惹くコラムを随所に挿入しています。健康に関すること、栄養学に関すること、病気や治療に関することなど、生化学が身近な生活や、これから学ぶ多くの医学に関係していることが感じられます。

主要目次

- 第1章 生体の分子化学
- 第2章 代謝の基礎と酵素・ビタミン・ミネラル
 - 1 代謝の基礎
 - 2 酵素
 - 3 ビタミン
 - 4 ミネラル
- 第3章 糖質とその代謝
 - 1 糖質の構造
 - 2 糖質代謝
- 第4章 脂質とその代謝
 - 1 脂質の構造
 - 2 脂質代謝
- 第5章 タンパク質とその代謝
 - 1 アミノ酸とタンパク質の構造
 - 2 アミノ酸とタンパク質の代謝
- 第6章 核酸・ヌクレオチド・遺伝
 - 1 核酸の構造と機能
 - 2 ヌクレオチドの代謝
 - 3 遺伝
- 第7章 ホメオスタシスを維持するための情報伝達
 - 1 細胞間情報伝達
 - 2 細胞内情報伝達
- 第8章 水・電解質のホメオスタシスの維持
 - 1 体中の水分
 - 2 酸塩基平衡
- 第9章 生体防御(免疫)
 - 1 血液
 - 2 免疫のしくみ
 - 3 自己免疫疾患
- 第10章 疾患の生化学
 - 1 生化学の発展により病気の診断が変わった
 - 2 感染症と予防
 - 3 生活習慣病と生化学
 - 4 がんと生化学



編集 荻田喜代一 摂南大学名誉教授
田中 雅幸 摂南大学
首藤 誠 摂南大学

編集協力 摂南大学看護学部

B5判・336頁
2026.3. ISBN978-4-524-26853-5
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 薬物療法を行う患者を支援するために必要な知識を学べる薬理学のテキスト

- ▶ 最新情報に基づき、各薬剤に関する知識を全面的にアップデートしました。
- ▶ 各章の冒頭に、「LEARNING OUTCOMES」として学びの導入を新設しました。当該章において看護学生に何を学んでほしいか、なぜ学ぶのかをやさしく示しています。
- ▶ 第1章「総論」および第20章「薬物療法における看護のポイント」を見直し、看護実践に生きる薬理学の教科書としてより充実させました。

🔍 本書の特長

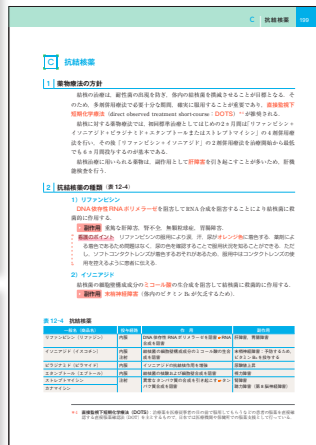
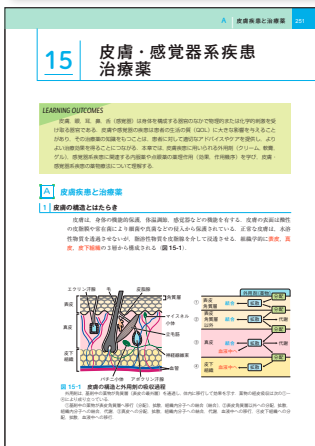
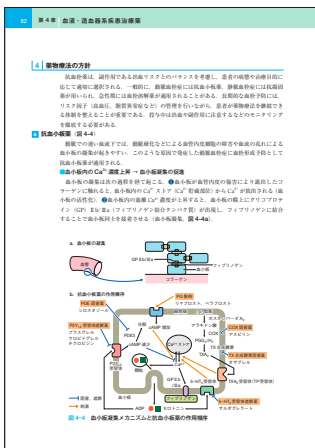
- ✔ 第2～19章では、各章で必要な解剖生理の知識を確認したうえで、それぞれの薬剤が関連する疾患の病態、主な薬剤の一覧表、薬物療法の方針、薬理作用の解説という流れで構成しています。
- ✔ 患者へのケアにおいて看護師にとって重要な情報となる「副作用」「禁忌」については、薬理作用と結びつけて解説し、「なぜか」を理解します。
- ✔ 第20章のほか、「看護のポイント」を各所に挿入。薬理学の知識と看護実践とをつなぎます。

✍️ 執筆

荻田喜代一 摂南大学名誉教授
米山 雅紀 摂南大学
田中 雅幸 摂南大学
首藤 誠 摂南大学
菊田 真穂 摂南大学
小森 浩二 摂南大学
小川 宣子 摂南大学
中山 由美 四天王寺大学
竹中 泉 大阪信愛学院大学

📖 主要目次

- 第1章 総論
- 第2章 自律神経系に作用する薬
- 第3章 心臓・血管系疾患治療薬
- 第4章 血液・造血管系疾患治療薬
- 第5章 消化器系疾患治療薬
- 第6章 呼吸器系疾患治療薬
- 第7章 腎臓・尿路・生殖器系疾患治療薬
- 第8章 ホルモン関連薬
- 第9章 代謝系疾患治療薬
- 第10章 抗炎症薬、鎮痛薬
- 第11章 免疫・アレルギー系疾患治療薬
- 第12章 感染症治療薬
- 第13章 抗がん薬
- 第14章 中枢神経系疾患治療薬
- 第15章 皮膚・感覚器系疾患治療薬
- 第16章 外科手術で用いられる薬物
- 第17章 救急の際に用いられる薬物
- 第18章 中毒と解毒薬
- 第19章 漢方薬
- 第20章 薬物療法における看護のポイント



病理学



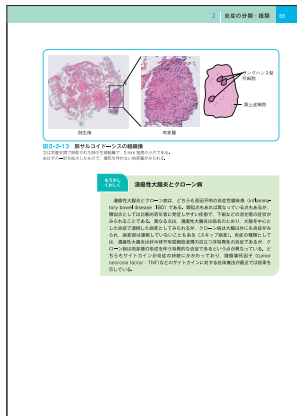
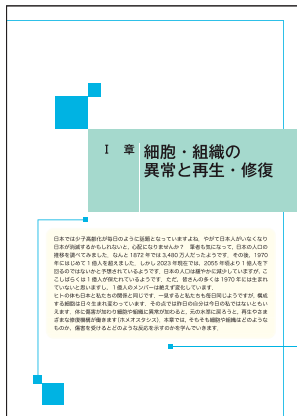
編集 鈴木 貴 東北大学

菅野恵美 東北大学

B5判・272頁 2025.8. ISBN978-4-524-21025-1 定価3,300円(本体3,000円+税10%)

本書の特長

- 病理医と看護師との共同編集により、看護学生にとって難解なイメージのある病理学を丁寧にわかりやすく、臨床業務との関連性を意識して解説した教科書です。
- 臓器の違いを越えて共通にみられる病因や疾患の成り立ちに関する知識(総論)を軸に章立てし、個別の疾患に関する解説も適宜盛り込み構成しています。
- 各章冒頭の導入文では、病理学の知識を身近な医学・医療の題材にからめて解説しています。
- 看護教員をはじめ各分野の専門家が執筆した「看護の視点から」「トピックス」では、病理学の知識が臨床現場にどう活かせるかを知ることができます。
- ビジュアルな図を豊富に盛り込んだほか、組織写真や病理画像には適宜補助イラストを設け、一目で内容がわかる工夫をしています。



執筆

鈴木 貴	東北大学	菅原 準一	スズキ記念病院/ 東北大学名誉教授
菅野 恵美	東北大学	虫明 元	東北大学名誉教授/ 八戸看護専門学校
丹野 寛大	東北大学	三木 康宏	東北大学
宇月 美和	福島県立医科大学	津幡 真理	東北大学病院
佐藤 佑樹	東北大学	齋木由利子	東北大学
佐藤 光	東北大学	吉田 詩織	東北大学
高木 清司	東北大学	宮下 光令	東北大学
藤島 史喜	東北医科薬科大学		
吉田美香子	東北大学		
山崎 有人	東北大学病院		

主要目次

序章 病理学を学ぶにあたって	
1 病理学とは	3 職業病、医原病、公害病
2 病気とその原因	
I 章 細胞・組織の異常と再生・修復	
1 細胞とは	5 細胞死
2 組織	6 傷害に対する適応現象
3 細胞の増殖	7 再生と修復
4 細胞の傷害	8 DNAの傷害と修復
II 章 炎症	
1 炎症とは	3 さまざまな器官の炎症
2 炎症の分類・種類	
III 章 免疫のしくみと異常	
1 免疫のしくみと種類	2 免疫機能の障害
IV 章 感染症	
1 感染/感染症	4 感染に対する生体防御機構
2 感染の成立にかかわる要因	5 感染症の現状
3 感染の発生、経過のメカニズム	
V 章 循環障害	
1 循環/循環障害とは	5 血栓・塞栓
2 充血とうっ血	6 虚血・梗塞
3 浮腫	7 血圧の異常
4 出血と凝固	
VI 章 代謝異常・栄養障害	
1 代謝および代謝異常・栄養障害とは	
2 各種の代謝異常と疾患	
3 代表的な栄養障害	
VII 章 生活習慣および外的要因による生体への影響	
1 外因とは	
2 日常生活・生活習慣が生体に及ぼす影響	
3 外的要因が生体に及ぼす影響	
VIII 章 先天異常	
1 遺伝の働き	2 先天異常とは
IX 章 腫瘍	
1 腫瘍とは	3 腫瘍の臨床病理
2 腫瘍の生物学	4 腫瘍の治療戦略
X 章 老化と死	
1 老化とは、死とは	
2 老化のメカニズム	
3 老化に伴う細胞・組織・臓器・機能の変化	

微生物学・感染症学

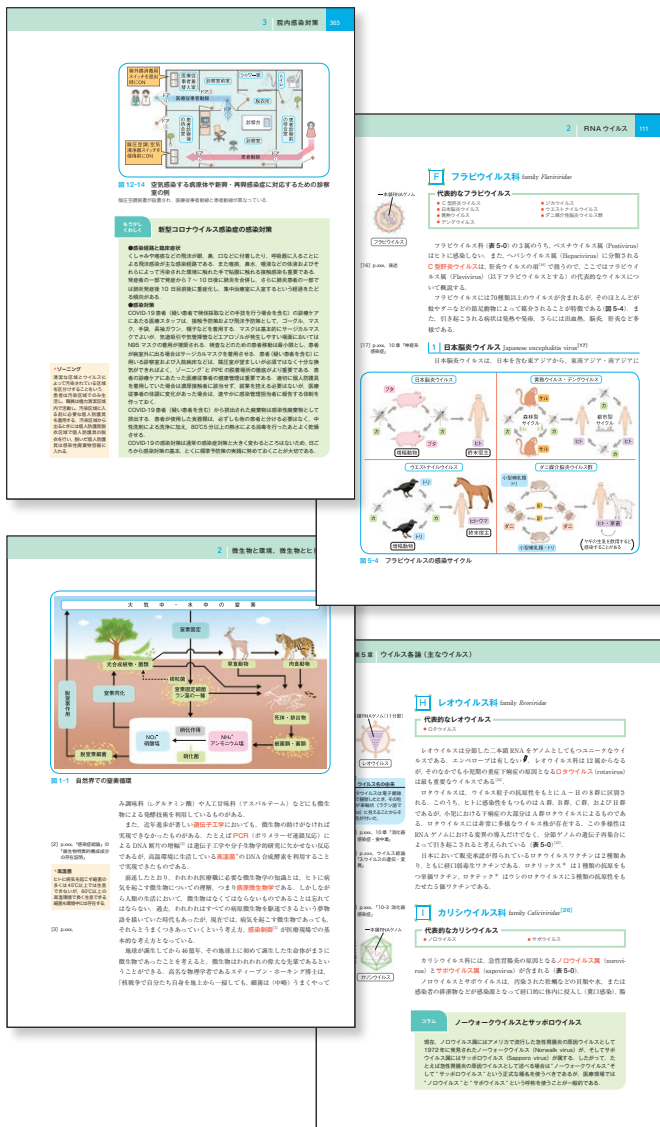


編集 中野隆史 大阪医科薬科大学

B5判・396頁 2020.11. ISBN978-4-524-23798-2 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

本書の特長

- 微生物に重点を置いた講義、感染や感染対策に重点を置いた講義、どちらにも対応できるよう、微生物学編と感染症学編の2本立てとしています。
- 老年看護学、母性看護学、小児看護学につながる・そこから振り返る際に用いられることを意識し、「性感染症と母子感染」、「高齢者の感染症」、「ワクチン・血清療法」を項目立てしています。
- 臨床的な内容も重要な領域であるため、感染制御についても充実しています。



執筆

- | | | | |
|-------|------------|-------|------------|
| 中野 隆史 | 大阪医科薬科大学 | 川村 尚久 | 大阪労災病院 |
| 中田 裕二 | 藍野大学 | 森松 伸一 | 大阪医科薬科大学 |
| 呉 紅 | 大阪医科薬科大学 | 河野 武弘 | 大阪医科薬科大学病院 |
| 鈴木 陽一 | 大阪医科薬科大学 | 高崎 智彦 | BML総合研究所 |
| 金子 幸弘 | 大阪市立大学 | 上田英一郎 | 大阪医科薬科大学病院 |
| 太田 伸生 | 鈴鹿医療科学大学 | 浮村 聡 | 大阪医科薬科大学病院 |
| 武内 徹 | 大阪医科薬科大学病院 | | |

主要目次

- 1 微生物学・免疫学
 - 第1章 微生物学総論
 - 1 微生物学を学ぶ意味
 - 2 微生物と環境, 微生物とヒト
 - 3 微生物学の歴史
 - 4 微生物の種類と特徴
 - 第2章 細菌総論(細菌の性質)
 - 1 細菌の形態・構造と機能
 - 2 細菌の生育環境・増殖と遺伝・変異
 - 3 細菌の病原性
 - 4 常在細菌叢
 - 第3章 細菌各論(主な細菌)
 - 1 細菌の分類
 - 2 グラム陽性球菌
 - 3 グラム陰性球菌
 - 4 グラム陰性好気性桿菌
 - 5 グラム陰性通性嫌気性桿菌
 - 6 グラム陽性桿菌
 - 7 抗酸菌
 - 8 嫌気性菌
 - 9 らせん菌
 - 10 特殊な細菌
 - 第4章 ウイルス総論(ウイルスの性質)
 - 1 ウイルスの形態・構造
 - 2 ウイルスの増殖
 - 3 ウイルスの遺伝・変異
 - 4 ウイルスの病原性
 - 5 ウイルスによる発がん
 - 第5章 ウイルス各論(主なウイルス)
 - 1 DNAウイルス
 - 2 RNAウイルス
 - 3 肝炎ウイルス
 - 4 プリオン
 - 第6章 真菌
 - 1 真菌
 - 2 蠕虫
 - 第7章 原虫・蠕虫
 - 1 原虫の性質
 - 2 自然免疫系
 - 3 獲得免疫系
 - 4 アレルギー
 - 5 自己免疫疾患
 - 6 感染防御免疫
 - 7 ワクチンと血清療法
 - 2 感染症学
 - 第9章 感染症総論
 - 1 感染症とは
 - 2 感染症の検査・診断と治療
 - 第10章 感染症各論1 全身性および器別感染症
 - 1 全身性ウイルス感染症
 - 2 発熱性感染症
 - 3 呼吸器感染症
 - 4 消化器感染症・食中毒
 - 5 血液媒介感染症とウイルス性肝炎
 - 6 尿路感染症
 - 7 神経系感染症
 - 8 皮膚・創傷感染症
 - 9 眼感染症
 - 第11章 感染症各論2 その他の感染症
 - 1 性感染症と母子感染
 - 2 高齢者の感染症
 - 3 日和見感染症
 - 4 多剤耐性菌による感染症・菌交代症
 - 5 敗血症
 - 6 人獣共通感染症
 - 7 新興・再興感染症
 - 第12章 感染制御
 - 1 感染対策総論
 - 2 消毒と滅菌
 - 3 院内感染対策

根拠がわかる疾患別看護過程



改訂第3版

編集 新見 明子 (川崎医療短期大学)

B5判・1,256頁 2021.9. ISBN978-4-524-24839-1
定価6,820円(本体6,200円+税10%)

大好評参考書がオールカラーになって大改訂! 実習でよく出合う78疾患について、看護過程の展開に必要な医学的知識、病期・治療に沿ったアセスメント、看護計画とケアの「根拠」「留意点」がますます充実。好評の「関連図」では発症から病態生理学的変化、治療経過、看護問題の抽出までを図式化し、患者の経過が一目でわかる。さらに第2部以降で「治療別看護」「経過別看護」「感染症看護」「臨床検査値一覧」を掲載し、患者の状況に応じたアセスメントと臨床判断ができる。看護学生や新人看護師の「なぜ・どうして」に応える、実習で役立つ頼れる味方!



根拠がわかる症状別看護過程 こことからだの69症状・事例展開と関連図



改訂第4版

編集 百瀬 千尋 (JCHO横浜中央病院附属看護専門学校)
井澤 晴美 (前倭成看護専門学校)

B5判・896頁 2023.11. ISBN978-4-524-22537-8
定価5,940円(本体5,400円+税10%)

身体症状に加え心理・社会的症状を含む69の症状について、モデル的な看護診断と、事例に基づく具体的な看護過程について関連図を交えて解説。今改訂では新たな編集体制のもと、看護計画を見やすい表形式としてより多くの根拠・留意点などを示すようにしたほか、イラスト多く用いてよりビジュアルにわかりやすい紙面とした。看護の視点から人間を捉えた「症状別看護」の決定版。



根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画



改訂第2版

編集 中村 幸代 (横浜市立大学)

B5判・288頁 2025.9. ISBN978-4-524-27024-8
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

母性看護学実習で必要となる知識や、学生がよく受け持つ事例を厳選し、コンパクトにまとめた好評書。ウェルネス志向型でのアセスメント、関連図、看護計画の立案、評価といった看護過程の一連を解説し、具体的なケアの解説では根拠を併記。どのように看護過程を展開していくかを理解できる内容となっている。改訂にあたり、無痛分娩の事例を追加したほか、全体をアップデートした。実習で困った学生の強い味方になる一冊。



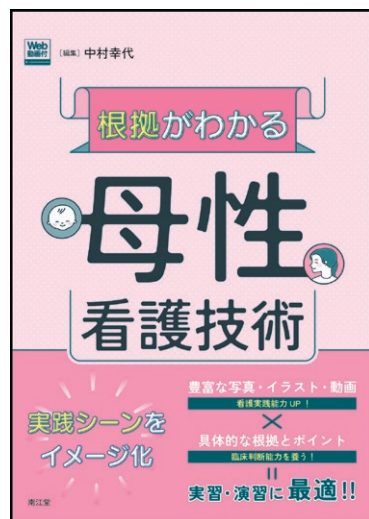
根拠がわかる母性看護技術



編集 中村 幸代 (横浜市立大学)

B5判・216頁 2024.7. ISBN978-4-524-23026-6
定価3,300円(本体3,000円+税10%)

母性看護学の実習・学内演習のための技術参考書。実習の機会が限られる学生の看護実践力育成を助けるため、「妊娠期」「分娩期」「産褥期」「新生児期」の実践場面を想定し目次を構成。技術の要点・根拠を充実し、技術のイメージがより図れるよう図・写真を多用した。ケアの前・中・後の患者への声かけ例も紹介。主要な技術には動画もついて、学生の事前学習に適した1冊。



根拠がわかる小児看護過程

事例で学ぶ発達段階別目標志向型ケア計画



編集 市原 真穂 (千葉県立保健医療大学)
久木元理恵 (帝京平成大学)
金丸 友 (千葉県立保健医療大学)

B5判・368頁 2026年6月発売予定 ISBN978-4-524-20407-6 定価3,850円(本体3,500円+税10%)

小児看護学実習時の看護記録等をサポートする学習参考書。「乳児期」「幼児期」「学童期・思春期」等の発達段階ごとに頻度の高い疾患・症状を取り上げ、事例ベースで看護過程を展開。①「疾患・検査・治療」による影響のほか、②「子どもの発達」や③「家族」に対する影響も紹介し、問題解決志向型(いかに悪影響を解消するか)よりも目標志向型(個々の強みに着目して、いかに良い状態を維持し、またより良い状態に高めるか)の視点を重視して構成した。

執筆

- | | | |
|------------------|--------------------------|----------------|
| 市原 真穂 千葉県立保健医療大学 | 佐川 雅世 北海道立子ども総合医療・療育センター | 西田 紀子 大阪青山大学 |
| 久木元理恵 帝京平成大学 | 中山 静和 千葉県立保健医療大学 | 吉村由美香 筑波大学附属病院 |
| 高木 典子 千葉科学大学 | 斉藤 千晶 岩田こどもクリニック | 亀山 千里 土浦協同病院 |
| 染谷奈々子 横浜創英大学 | 金丸 友 千葉県立保健医療大学 | 鈴木ミナ子 沖縄県立看護大学 |
| 藤沼小智子 東京医科大学 | 石川 紀子 和洋女子大学 | |
| 田畑 久江 札幌医科大学 | 河上 智香 東邦大学 | |

主要目次

第1部 小児看護の特徴

本書の使いかた

- 小児看護の基本的な考え方
- 成長・発達過程により生じやすい健康問題の特徴
 - 子どもの成長・発達の捉え方
 - 乳児期
 - 幼児期
 - 学童期・思春期
 - 特別な健康上の配慮が必要な子ども
- 目標志向型看護過程の解説

第2部 事例でみる看護過程の展開

1章 乳児期の健康問題と看護過程

- 嘔吐、下痢のある乳幼児嘔吐下痢症(ロタウイルス)の子どもと家族の看護
- 発熱、咳がある細気管支炎(RSウイルス感染症)子どもと家族の看護
- 脱水症状、体重増加不良で受診した子どもと家族の看護
- 計画手術を受ける先天性心疾患(心室中隔欠損症)のある子どもと家族の看護

2章 幼児期の健康問題と看護過程

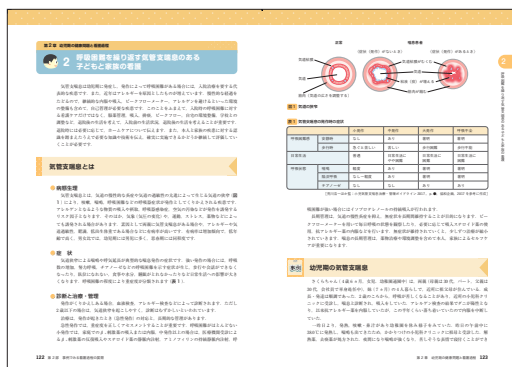
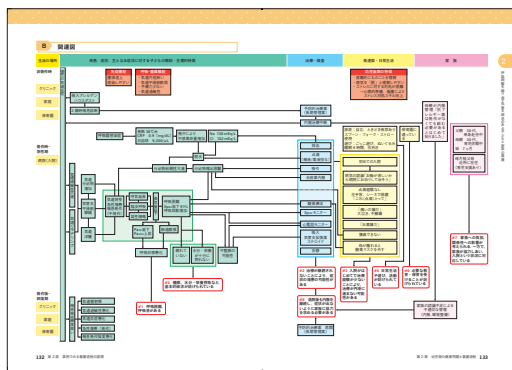
- 内服を嫌がる入院中の川崎病の子どもと家族の看護
- 呼吸困難を繰り返す気管支喘息のある子どもと家族の看護 [見本原稿]
- 乾癬、皮膚掻痒感強いアトピー性皮膚炎のある子どもと家族の看護
- 自己注射等の療養行動が必要な1型糖尿病の子どもと家族の看護
- 検査・処置や入院を怖がっている小手術を受ける子どもと家族への看護

3章 学童期・思春期の健康問題と看護過程

- 浮腫、塩制限食を摂取している入院中のネフローゼ症候群の子どもと家族の看護
- アナフィラキシーショックのリスクの高い食物アレルギーの子どもと家族の看護
- 交通事故による外傷で入院中の子どもと家族の看護

4章 特別な健康上な配慮が必要な場合の看護過程

- 低出生体重で生まれた子どもと家族の看護
- 肺炎で入院する重症心身障害のある子どもと家族の看護
- 小手術で入院予定の神経発達症のある子どもと家族の看護



※サンプルページは制作中のものです。

基礎から学ぶ医療関連感染対策

標準予防策からサーベイランスまで

改訂第4版

新刊



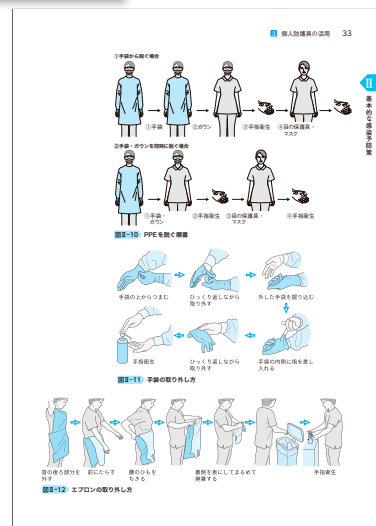
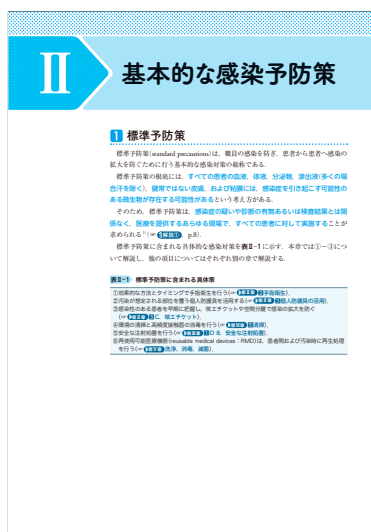
著 坂本 史衣 (板橋中央総合病院院長補佐／感染対策相談支援事務所所長)

B5判・272頁 2026.3. ISBN978-4-524-22188-2 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

感染対策を“しっかり学べる”テキストの改訂版。感染対策の基礎知識から臨床において議論の分かれる点まで網羅。こまかい予備知識がないビギナーはもちろん、専門看護師、認定看護師をめざしている方にも有用。今改訂では、関連するガイドラインに基づく記述のアップデートに加え、新型コロナウイルス感染症の流行に伴って変化した感染経路の考え方、換気の評価と改善、新興感染症への備えと対応などについて大幅に加筆。臨床での具体的な感染対策に活用できるチェック項目一覧も充実。部門別感染対策では、内視鏡室と透析室を追加した。患者の安全を守る医療者として必須の知識がこの一冊に。

主要目次

- 第I章 感染の成立と予防に関する考え方
- 第II章 基本的な感染予防
 - 1 標準予防策
 - 2 手指衛生
 - 3 個人防護具の活用
 - 4 感染経路別予防策
 - 5 新興感染症パンデミックへの備えと対応
- 第III章 医療器具・手技関連感染対策
 - 1 血管内留置カテーテル関連由来感染
 - 2 膀胱留置カテーテル関連尿路感染
 - 3 人工呼吸器関連肺炎
 - 4 手術部位感染
- 第IV章 職業感染予防
 - 1 針刺し・切創・皮膚/粘膜汚染
 - 2 職員の予防接種
- 第V章 洗浄、消毒、滅菌
- 第VI章 医療環境管理
 - 1 医療環境管理の概要
 - 2 建築・改築・解体工事におけるリスク評価と管理
 - 3 水質管理
 - 4 空調管理
 - 5 清掃
 - 6 洗濯
 - 7 感染性廃棄物の管理
 - 8 給食
- 第VII章 部門別感染対策
 - 1 検体検査業務に関連する感染対策
 - 2 内視鏡室における感染対策
 - 3 透析室における感染対策
 - 4 NICUにおける感染対策
- 第VIII章 医療関連感染サーベイランス
 - 1 医療関連感染サーベイランスの定義と意義
 - 2 アウトカムサーベイランス
 - 3 プロセスサーベイランス
 - 4 サーベイランスデータのフィードバック



かんたん看護研究 (改訂第2版)

さがす・つくる・仕上げる

編集 桂 敏樹(明治国際医療大学) 星野 明子(大阪成蹊大学)

どこから取り組めばよいかわからない、難しくてうまく進められない「看護研究」をやさしく導き、本書どおりに進めれば効率よく仕上がる、看護研究のガイドブック。ポイントをおさえたやさしい解説で、苦手意識を取り除き、「あなた」の看護研究が上手に仕上がるようになる最適な一冊。今改訂では文献の検索方法や倫理審査に関する項目をアップデート、現代に即した使いやすい参考書となった。

定価 2,640 円(本体 2,400 円+税 10%) B5判・232頁 2020.3. ISBN978-4-524-22507-1



基礎看護学テキスト (改訂第3版)

EBN志向の看護実践

編集 深井喜代子(岡山大学名誉教授/東京慈恵会医科大学) 前田ひとみ(熊本大学)

研究データに裏付けされた看護実践の実現を目指し、可能な限りの根拠を示しながら基礎看護学の広範で多様な内容をまとめた好評テキストの改訂版。今版では、新しいエビデンスをもとに全体の記述を見直し、新項目としてゲノム医療、排便障害とケアなどの内容を追加した。看護の科学性を希求する志の高い看護学系教員、次代の看護界を支える看護大学生に必携の書。

定価 5,940 円(本体 5,400 円+税 10%) B5判・528頁 2023.12. ISBN978-4-524-23495-0



今日の助産 (改訂第5版)

マタニティサイクルの助産診断・実践過程

編集 北川眞理子(名古屋市立大学名誉教授) 医学監修 生田 克夫(前名古屋大学)
眞鍋えみ子(同志社女子大学)

マタニティサイクルの助産診断と実践過程に焦点をあてた助産学の標準テキスト。(1)どのようなデータ・情報をとるか、(2)アセスメントのポイントやコツや根拠、(3)それらから導き出される助産診断の例、(4)助産診断に基づく助産ケアの例とそのポイント、(5)助産ケアの評価など、一連の助産診断・実践の過程が一目でわかる構成。いつの時代も変わることのない助産の技・コツを学ぶ学生にも、最新の情報を効率良く収集しアップデートしたい臨床助産師にもおすすめの1冊。改訂第5版では最新のガイドラインやコアカリキュラムを反映し、また災害時の母子支援、高齢妊婦の記載を充実。

定価 10,560 円(本体 9,600 円+税 10%) A5判・1,344頁 2026.4. ISBN978-4-524-20471-7



みえる生命誕生 (改訂新版)

受胎・妊娠・出産

監訳 鮫島 浩(宮崎大学医学部附属病院) 大月恵理子(順天堂大学)

助産学・母性看護学・産科学に関連した目を見はる美しさのビジュアル図鑑。手に取りやすいサイズになってリニューアル! 生殖器の解剖から、遺伝、周産期(生殖・妊娠・分娩・産後)の正常過程と異常過程、不妊治療や生殖医療まで—豊富なイラスト・写真・超音波像・X線像にコンパクトな解説がつき、“教科書”だけではイメージできなかった知識を視覚的に理解できる。参考書や臨床で使える資料としてはもちろん、妊娠・出産に興味をもつ一般読者にも有用な1冊。

定価 6,160 円(本体 5,600 円+税 10%) AB判・256頁 2022.9. ISBN978-4-524-23437-0



今日の治療薬2026 解説と便覧

新刊

編集 伊豆津宏二(国立がん研究センター中央病院)
今井 靖(自治医科大学教授)
桑名 正隆(日本医科大学教授)
寺田 智祐(京都大学医学部附属病院)

現在使用されているほぼすべての医療薬剤について、その効能・使用法・有害事象などを網羅。薬効群ごとに解説と便覧とした構成が使いやすく圧倒的な支持を得ている。将来の現場ですぐに活用できるように、実習時から使い慣れておきたいベストセラー。

定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税 10%)

B6判・1,440頁 2026.1. ISBN978-4-524-27338-6



わかりやすい病理学 (改訂第7版)



監修 恒吉正澄(九州大学名誉教授/国際医療福祉大学特任教授)
編集 小田義直(九州大学教授)
相島慎一(九州大学教授)

視覚的に理解することが容易なシェーマ図を豊富に盛り込んだ病理学の教科書。通読のしやすさに優れ、アドバンスな内容な臨床的知識、コラム的な解説は文字の大きさと本文とは区別しており、レベルに応じた学習が可能。今版では、難易度が高い章における構成変更のほか、医療系国家試験に対応する図の追加や文字の大きさの差別化を徹底するなど、さらに「わかりやすさ」を追求した。

定価 2,970 円 (本体 2,700 円+税 10%)

B5判・364頁 2021.3. ISBN978-4-524-22654-2



入門人体解剖学 (改訂第6版)



著 藤田恒夫(新潟大学名誉教授)
改訂 藤田信也(長岡赤十字病院院長)

刊行以来定評を得ている初学者のための解剖学書。今改訂では紙面デザインを一新し、さらに見やすくなった。全章にわたり臨床に必要な解剖学の記述を補完したうえで、3章に「細胞と細胞小器官」の項を追加し、「13章 神経系」を大幅に加筆した。また、臨床に関する内容を新設の「コラム」や「臨床ノート」にまとめ、臨床画像を多数追加した。

定価 5,940 円 (本体 5,400 円+税 10%)

B5判・436頁 2024.1. ISBN978-4-524-23072-3



はじめて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト (改訂第4版)



監修 日本疫学会

医療・保健従事者にとって必須の基礎科学でありながら、理解するのが難しいといわれている疫学について、初学者を対象にわかりやすく解説した好評テキスト。内容は基本的事項にしぼり、簡潔な文章とともに図表、イラストによって視覚的な理解をたすけ、実践的な流れを習得できる構成とした。

定価 2,750 円 (本体 2,500 円+税 10%)

B5判・232頁 2024.3. ISBN978-4-524-20448-9



入門組織学 (改訂第2版)

著 牛木辰男(新潟大学学長)

初版から20年以上、医学部・コメディカル学生に採用、支持されている初学者向け組織学の教科書。定評のある美しい図版とわかりやすい文章で解説する編集方針を踏襲し、この間の学問領域の進展による新しい知見を盛り込む改訂を行った。また巻末に標本作製法と顕微鏡についての章を設け、より深い知識を得られる充実した一冊となっている。

定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税 10%)

B5判・400頁 2013.4. ISBN978-4-524-21617-8



やさしい保健統計学 (改訂第5版増補)

著 縣 俊彦(元国際医療福祉大学教授)

看護師・保健師養成校の学生が、保健統計学の基礎的な概念と手法を理解できるよう、身近な例題で解説したテキスト。数式や代数・記号の使用を厳選し、学習の目安となる項目の難易度とキーワードを明示するなど、初学者でもわかりやすい内容になっている。増補版では、国民保健の現状にあわせ、各種統計データの更新を行った。

定価 1,980 円 (本体 1,800 円+税 10%)

B5判・206頁 2019.3. ISBN978-4-524-24124-8



やさしい生理学 (改訂第7版)



編集 彼末一之(早稲田大学名誉教授/大阪大学名誉教授)
能勢 博(信州大学特任教授)

医療系学生のために生理学の基本的な内容について、文献的考察は極力省略し、一般的に認められていることを分かりやすく、かつ簡単に解説したテキスト。改訂第7版では半分以上の章を全面改訂し、とくに運動療法にかかわる「代謝」「体温」「筋」の章をアップデート。また全ページフルカラーとし、視覚的理解を促進する紙面構成とするとともに、各章冒頭に「Starter Question」を設けて学習内容を俯瞰できるよう工夫している。

定価 2,860 円 (本体 2,600 円+税 10%)

B5判・342頁 2017.12. ISBN978-4-524-25417-0



医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて



編集 北島政樹(国際医療福祉大学名誉学長)

急性期から回復期・維持期にかけての様々な職種間連携、病院間連携、医療-福祉連携を、豊富な事例とともに学べる、チーム医療・関連職種連携を一から学ぶ学生必携のテキスト。関連職種連携が必要となった背景やその理論等を学ぶ講義編と、知識を実践に活かすPBL形式の演習・実習編という構成で、医療・福祉の現場で行われる様々な連携の基礎知識を身に付けることができる。

定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税 10%)

A4判・220頁 2013.4. ISBN978-4-524-26802-3



minimum essentialを
わかりやすくまとめた 南江堂シンプルシリーズ

シンプル解剖生理学

著 河田 光博 (京都府立医科大学名誉教授)
樋口 隆 (福井大学名誉教授)

人体の構造(解剖)と機能(生理)を関連づけ、ビジュアルな図を多用して平易に解説。知識の整理に役立つ紙面構成。



定価3,520円(本体3,200円+税10%)
B5判・368頁 2004.1. ISBN978-4-524-22054-0

シンプル生理学

(改訂第8版)

著 貴邑 富久子 (横浜市立大学名誉教授)
根来 英雄 (福井医科大学名誉教授)

医療系学部学生対象の生理学の定番教科書。初学者でも通読しやすい内容で、読者の興味を惹く生理学の実験やエピソードも多数紹介。



定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・384頁 2021.3. ISBN978-4-524-22655-9

シンプル生化学

(改訂第7版)

監修 林 典夫 (東北大学名誉教授)
廣野 治子 (前東北大学医歯技術短期大学部教授)
編集 野口 正人 (久留米大学名誉教授)
五十嵐 和彦 (東北大学大学院教授)

基本事項の解説に最新の知見を盛り込んだ好評テキスト。この一冊で膨大な生化学の全体像がつかめる。コンパクトながら充実した記述内容。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・458頁 2020.3. ISBN978-4-524-24659-5

シンプル薬理学

(改訂第6版)

編集 野村 隆英 (藤田医科大学名誉教授)
石川 直久 (愛知医科大学名誉教授)
梅村 和夫 (浜松医科大学教授)

進歩が早く膨大な内容を含む薬理学の全体像と最新情報を、わかりやすい記述と豊富な図表によって解説した好評テキスト。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・368頁 2020.1. ISBN978-4-524-24658-8

シンプル病理学

(改訂第8版)

編集 笹野 公伸 (仙台市門野高等学校/東北大学名誉教授)
岡田 保典 (順天宮大学教授/慶應義塾大学名誉教授)
安井 弥 (広島大学名誉教授)

今改訂では、新知見の追加・内容の更新と共に、画像所見の理解が肝要となる病理学においてより効率的な理解ができるよう、画像加工の追加やシマ併載といった工夫を計った。



定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・428頁 2020.7. ISBN978-4-524-24934-3

シンプル微生物学

(改訂第6版)

編集 小熊 恵二 (岡山大学名誉教授)
堀田 博 (神戸大学名誉教授)
若宮 伸隆 (旭川医科大学名誉教授)

ミニマムな解説を骨子としつつ、新知見、展望などのAdvanceまでをしっかりとおさえている内容が、コメディカルから医学部生までの幅広い学生に好評のテキスト。



定価3,520円(本体3,200円+税10%)
B5判・474頁 2018.3. ISBN978-4-524-25483-5

シンプル免疫学

(改訂第5版)

共著 中島 泉 (中部大学学事顧問/名古屋大学名誉教授)
高橋 利忠 (愛知県がんセンター名誉教授)
吉岡 泰信 (九州大学名誉教授)

免疫学の重要なポイントをコンパクトにまとめつつ、最新の研究もカバーしたコメディカル学生のための教科書。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・310頁 2017.9. ISBN978-4-524-25446-0

シンプル衛生公衆衛生学

2026

監修 辻 一郎 (東北大学名誉教授)
編集 上島 通浩 (名古屋市立大学教授)
大久保孝義 (南大大学教授)

“精選された内容をわかりやすく伝える”をコンセプトにした衛生学・公衆衛生学の定本。



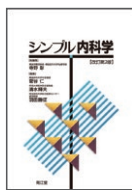
定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・424頁 2026.2. ISBN978-4-524-27424-6

シンプル内科学

(改訂第2版)

総編集 寺野 彰 (獨協学長兼理事長/獨協医科大学名誉学長)
編集 菅谷 仁 (獨協医科大学名誉教授)
清水 輝夫 (南大医学部名誉教授)
羽田 勝征 (一般財団法人健康医学協会附属東都クリニック)

最新かつ重要な知識が整理されたスタンダードなテキストの改訂版。初版同様、基礎から臨床まで、習得すべき必須の内容が十分に解説されている。



定価7,150円(本体6,500円+税10%)
B5判・736頁 2017.9. ISBN978-4-524-26658-6

南江堂コンパクトシリーズ

コンパクト微生物学

(改訂第5版)

編集 小熊 恵二 (岡山大学名誉教授)
堀田 博 (神戸大学名誉教授)
編集 林 俊治 (北里大学教授)
石戸 聡 (兵庫医科大学教授)

微生物学のミニマムエッセンスをまとめたテキスト。総論、各論に加えて臓器別感染症の章を設け、基礎から臨床まで総合的に理解することが可能。



定価2,530円(本体2,300円+税10%)
B5判・304頁 2021.3. ISBN978-4-524-22636-8

コンパクト生化学

(改訂第4版)

編集 大久保岩男 (滋賀医科大学名誉教授)
賀佐 伸省 (札幌医科大学名誉教授)

生化学の基礎を限られた時間内で身に付けることを目指して編集された、コンパクトで分かりやすい教科書。



定価2,420円(本体2,200円+税10%)
B5判・242頁 2017.2. ISBN978-4-524-25946-5

コンパクト栄養学

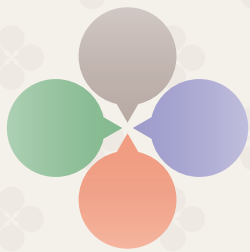
(改訂第4版)

監修 脊山 洋右 (東京大学名誉教授/お茶の水女子大学名誉教授)
廣野 治子 (前東北大学医歯技術短期大学部教授)
編集 久保田 俊一郎 (東京大学名誉教授/南科学大学特任教授)
寺本 房子 (川崎医療福祉大学特任教授)

看護系を中心としたコメディカル学生のための栄養学テキスト。必要な内容をコンパクトにまとめながら、重要な生化学的内容はしっかりと解説。



定価2,420円(本体2,200円+税10%)
B5判・230頁 2017.9. ISBN978-4-524-25945-8



看護教育のための情報サイト

NurSHARE

つながる・はじまる・ひろがる

看護教員の“したい！”に応える 新メディア&プラットフォーム

What's
NurSHARE?

世の中の大きな変化に伴い、看護教育の現場も新たな時代を迎えています。

看護教育の情報を一早くキャッチしたい、自校の教育実践を発信したい、他校の教育方法を知りたい……
そんな看護教員のみなさまの“したい！”を実現できるのが「NurSHARE(ナースシェア)」です。

ご利用いただけるコンテンツの一部をご紹介します

すべて
無料



特集・コラム

月替わりの「企画」や定期更新の「連載」など、看護教育に関する記事をお読み頂けます。ご自身の看護実践を記事として発信頂くことも可能です。



教材シェア

ご自身が作成した教材を投稿したり、他のユーザーが作成した教材や、NurSHARE オリジナルのフリーイラストをダウンロードしたりして、講義資料などにご利用頂けます。



掲示板

学会や勉強会、セミナーなどの開催情報を投稿し、参加者を募ることができます。イベントの告知はもちろん、共同研究者の募集などにもご活用頂けます。



★その他、豊富な看護教育コンテンツをご用意しています。

日頃の教育やご業務にお役立ていただける無料イベントやオンラインイベントも随時開催中！ぜひご参加ください。

ロゴマークに込めた思い



TALK
交流

+



BLOOM
開花

+



COLORFUL
個性

=



NurSHARE
ナースシェア

看護教員が集い会話に花が咲くイメージを
ロゴマーク化しました。
カラフルな配色は教員一人ひとりの
幅広い個性をあらわしています。
外側に向かって明るくなるグラデーションには、
看護教育が未来へとひろがっていくことへの
願いが込められています。

●ご登録はこちらから

<https://www.nurshare.jp/user/register>

上記の URL を直接入力するか右の二次元コードを読み取り、NurSHARE サイトへとアクセスしてください。その後は、サイトの表示に従ってお手続きをお願いいたします。



ご採用特典 教科書データサービスのご案内

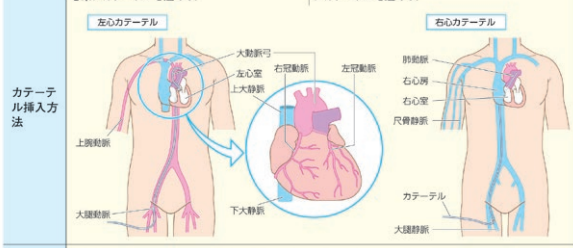
当社では**教科書ご採用特典**として、

教育場面（投影・学生へ配布する印刷物）でご利用可能な、書籍掲載の図表データ（JPEG）などをダウンロードできるサービスを行っております。

ご採用の折にはぜひご利用ください。

【ご利用いただけるデータ例】

	左心カテーテル法	右心カテーテル法
検査の内容	左心系形態学的検査（造影検査）が主である。	右心系形態学的検査（造影検査）、血行動態検査、電気生理学的検査（不整脈の診断）、病理検査（生検）
造影部位	冠動脈、大動脈、左心室	右心房、右心室、肺動脈
穿刺部位	大腿動脈（鼠径部）、上腕動脈（肘窩）、橈骨動脈	大腿静脈（鼠径部）、尺側皮静脈（肘窩）など
カテーテル挿入方法	動脈からカテーテルを挿入して、血流に逆行して左心系にカテーテルを進める。	静脈からカテーテルを挿入して、血流に順行して右心系にカテーテルを進める。
その他	左心カテーテルは逆行性にカテーテルを進めるため、右心カテーテルに比べて侵襲が大きく、検査手技も難しい。	



(NICC 成人看護学 成人看護技術 改訂第3版 南江堂、2022)



【お申し込み】

- 本サービスのお申し込みは下記 URL よりお願いいたします。
<https://www.nankodo.co.jp/customer/textbookapplyentry.aspx>
- 以前に本サービスをご利用いただいたことがある（本サービス ID・パスワードを取得済である）場合は、下記 URL よりログインのうえお申し込みください。
<https://www.nankodo.co.jp/customer/textbookapplycontinue.aspx>



申し込みページ二次元コード



ログインページ二次元コード

【ご利用における注意事項】

- 本サービスは、**大学、短期大学、専門学校等において対象書籍を 20 冊以上ご採用いただいている先生限定のサービスとなります。**
- **教科書採用が確認できない場合、ご利用登録をお断りさせていただきます。**
(お取引書店から当社への書籍発注を確認したのちに ID・パスワードをお届けいたします。)
- 本サービスのご利用には、**毎年の利用申請**が必要となります。
- 本サービスのご利用には、**利用規約への同意**（Web 上に記載）が必要となります。
- 本サービス提供データは、**教育場面（投影・学生へ配布する印刷物）**に限りご利用いただけます。
- 書籍によっては、一部提供できない図表がございます。
- **本サービスを受ける権利を他者に譲渡または貸与することはできません。**
(複数名で該当書籍を使用している場合は、利用者ごとに申請が必要となります。)

ご不明の点は nkdtext@nankodo.co.jp (株式会社 南江堂営業部販売 2 課) までお問い合わせください。

※お問い合わせの際には、お名前・ご所属を明記くださいますようお願い申し上げます。

◎個人情報保護の目的

ご登録された個人情報は、お客様本人のお問合せの処理、本サービスの維持向上のほか、当社の取扱い商品の案内等に使わせていただくこともございます。

◎個人情報保護方針

弊社ホームページをご覧ください。